

(表)

地域医療支援病院業務報告書

令和 3 年 9 月 28 日

(宛先) 川崎市長

住 所 川崎市川崎区宮本町1番地

氏 名 川 崎 市

川 崎 市 長 福 田 紀 彦

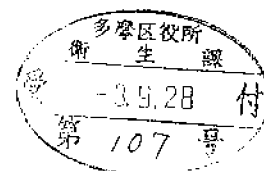
(公印省略)

〔法人にあっては、主たる事務所の所在地、  
名称及び代表者の氏名〕  
電話番号 044-200-2111 (代)

令和2年度の業務に関して報告します。

名 称	川崎市立多摩病院	電話	044-933-8111			
所 在 地	川崎市多摩区宿河原1丁目30番37号					
病 床 数	376 床					
病 床 種 別	精神病床	床	感染症病床	床	結核病床	床
	療養病床	床	一般病床	376 床		
施設の構造設備の概要						
集中治療室	(主な設備) 名 称:集中治療室 ※ベッドサイドモニタ10台、セントラルモニター式、除細動装置1台、人工呼吸器2台、スポット型パルスオキシメーター式、ベッド10台ほか ※病床数 ICU 7床、CCU 3床 計 10床					
化学検査室	(主な設備) 名 称:検体検査室 ※生化学自動分析装置2台、浸透圧測定装置1台、血液ガス分析装置2台ほか					
細菌検査室	(主な設備) 名 称:細菌検査室 ※微生物感受性分析装置1台、全自動血液培養装置2台、光学顕微鏡1台ほか					
病理診断科	(主な設備) 名 称:病理診断科 ※病理診断支援システム一式、自動免疫染色装置1台、全自動染色装置・封入装置、顕微鏡ほか					
病理解剖室	(主な設備) 名 称:剖検室 ※埋込型遗体冷蔵庫1台、昇降式解剖台1台、密閉式自動固定包埋装置1台、オートクレーブ1台、ジェット式器具洗浄機1台、真空包装機1台ほか					

27-3



(裏)

研 究 室	(主な設備及び施設) 許可名称: 研究室 ※室数 1室 収容定員 6~10人 ※プロジェクター1台、パーソナルコンピュータ1台ほか
講 義 室	(主な設備及び施設) 許可名称: 講堂 ※講 堂 室数 1室 収容定員 120人 ※プロジェクター1台、パーソナルコンピュータ1台、放送設備ほか
図 書 室	(主な設備及び施設) 許可名称: 図書室 ※室数 1室 ※パーソナルコンピュータ 検索用2台 蔵書数 320冊 雑誌タイトル数 68 タイトル ・電子ジャーナル: 洋和雑誌 1誌契約・和雑誌 1誌契約 (文献検索システム 医中誌Web版・Up to Date・メイカオンライン・ 医療情報データベースMICROMEDEX・DynaMed・CINAHL Plusほか)
救急用又は 患者搬送用 自 動 車	(主な設備) ※普通、トヨタ、TC-VCH32S 保有台数 1台 ※緊急自動車使用届出確認書・自動車検査証あり
医 薬 品 情 報 管 理 室	(専用室の場合) 許可名称: DI・TDM室(共用室の場合) ※施設 床面積 24.89㎡ (共有室の場合) TDM(薬物治療モニタリング)室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

- 添付書類
- 1 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績に関する書類
  - 2 地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)の実績に関する書類
  - 3 救急医療の提供の実績に関する書類
  - 4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績に関する書類
  - 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類
  - 6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績に関する書類
  - 7 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績に関する書類
  - 8 患者相談の実績に関する書類
  - 9 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている  
 ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	71.9%	算定 期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	65.9%		
算出 根拠	A：紹介患者の数		11,557人
	B：初診患者の数		16,081人
	C：逆紹介患者の数		10,593人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

## (様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

## 1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
1	医師		常勤	専従	8:30~17:00 17:00~8:30ローテーション	救急総合診療
2	医師		常勤	専従	〃	救急総合診療
3	医師		常勤	専従	〃	救急総合診療
4	医師		常勤	専従	〃	救急総合診療
5	医師		常勤	専従	〃	救急総合診療
6	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
7	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
8	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
9	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
10	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
11	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
12	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
13	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
14	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
15	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
16	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
17	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
18	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
19	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
20	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
21	医師		常勤	非専従	〃	総合診療内科
22	医師		常勤	非専従	〃	呼吸器内科
23	医師		常勤	非専従	〃	呼吸器内科
24	医師		常勤	非専従	〃	呼吸器内科
25	医師		常勤	非専従	〃	循環器内科
26	医師		常勤	非専従	〃	循環器内科

## (様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

## 1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
27	医師		常勤	非専従	〃	循環器内科
28	医師		常勤	非専従	〃	循環器内科
29	医師		常勤	非専従	〃	循環器内科
30	医師		常勤	非専従	〃	消化器・肝臓内科
31	医師		常勤	非専従	〃	消化器・肝臓内科
32	医師		常勤	非専従	〃	消化器・肝臓内科
33	医師		常勤	非専従	〃	消化器・肝臓内科
34	医師		常勤	非専従	〃	消化器・肝臓内科
35	医師		常勤	非専従	〃	消化器・肝臓内科
36	医師		常勤	非専従	〃	消化器・肝臓内科
37	医師		常勤	非専従	〃	腎臓・高血圧内科
38	医師		常勤	非専従	〃	腎臓・高血圧内科
39	医師		常勤	非専従	〃	腎臓・高血圧内科
40	医師		常勤	非専従	〃	腎臓・高血圧内科
41	医師		常勤	非専従	〃	腎臓・高血圧内科
42	医師		常勤	非専従	〃	腎臓・高血圧内科
43	医師		常勤	非専従	〃	代謝・内分泌内科
44	医師		常勤	非専従	〃	代謝・内分泌内科
45	医師		常勤	非専従	〃	脳神経内科
46	医師		常勤	非専従	〃	脳神経内科
47	医師		常勤	非専従	〃	脳神経内科
48	医師		常勤	非専従	〃	脳神経内科
49	医師		常勤	非専従	〃	脳神経内科
50	医師		常勤	非専従	〃	血液・腫瘍内科
51	医師		常勤	非専従	〃	小児科
52	医師		常勤	非専従	〃	小児科

## (様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

## 1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
53	医師		常勤	非専従	"	小児科
54	医師		常勤	非専従	"	小児科
55	医師		常勤	非専従	"	小児科
56	医師		常勤	非専従	"	小児科
57	医師		常勤	非専従	"	小児科
58	医師		常勤	非専従	"	小児科
59	医師		常勤	非専従	"	小児科
60	医師		常勤	非専従	"	放射線科
61	医師		常勤	非専従	"	放射線科
62	医師		常勤	非専従	"	放射線科
63	医師		常勤	非専従	"	放射線科
64	医師		常勤	非専従	"	放射線科
65	医師		常勤	非専従	"	消化器・一般外科
66	医師		常勤	非専従	"	消化器・一般外科
67	医師		常勤	非専従	"	消化器・一般外科
68	医師		常勤	非専従	"	消化器・一般外科
69	医師		常勤	非専従	"	消化器・一般外科
70	医師		常勤	非専従	"	消化器・一般外科
71	医師		常勤	非専従	"	乳腺・内分泌外科
72	医師		常勤	非専従	"	脳神経外科一般
73	医師		常勤	非専従	"	脳神経外科一般
74	医師		常勤	非専従	"	脳神経外科一般
75	医師		常勤	非専従	"	脳神経外科一般
76	医師		常勤	非専従	"	脳神経外科一般
77	医師		常勤	非専従	"	整形外科学
78	医師		常勤	非専従	"	整形外科学

## (様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

## 1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
79	医師		常勤	非専従	〃	整形外科
80	医師		常勤	非専従	〃	整形外科
81	医師		常勤	非専従	〃	整形外科
82	医師		常勤	非専従	〃	整形外科
83	医師		常勤	非専従	〃	整形外科
84	医師		常勤	非専従	〃	産婦人科
85	医師		常勤	非専従	〃	産婦人科
86	医師		常勤	非専従	〃	産婦人科
87	医師		常勤	非専従	〃	産婦人科
88	医師		常勤	非専従	〃	麻酔学
89	医師		常勤	非専従	〃	麻酔学
90	医師		常勤	非専従	〃	麻酔学
91	医師		常勤	非専従	〃	麻酔学
92	医師		常勤	非専従	〃	麻酔学
93	医師		常勤	非専従	〃	麻酔学
94	医師		常勤	非専従	〃	麻酔学
95	医師		常勤	非専従	〃	研修医
96	医師		常勤	非専従	〃	研修医
97	医師		常勤	非専従	〃	研修医
98	医師		常勤	非専従	〃	研修医
99	医師		常勤	非専従	〃	研修医
100	医師		常勤	非専従	〃	研修医
101	医師		常勤	非専従	〃	研修医
102	医師		常勤	非専従	〃	研修医
103	医師		常勤	非専従	〃	研修医
104	医師		常勤	非専従	〃	研修医

(様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
105	医師		常勤	非専従	〃	研修医
106	医師		常勤	非専従	〃	研修医
107	医師		常勤	非専従	〃	研修医
108	医師		常勤	非専従	〃	研修医
109	医師		常勤	非専従	〃	研修医
110	医師		常勤	非専従	〃	研修医
111	医師		常勤	非専従	〃	研修医
112	医師		常勤	非専従	〃	研修医
113	医師		常勤	非専従	〃	研修医



## (様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

## 1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
			常勤	専従		
1	看護師		常勤	専従	8:30~17:00・16:30~9:00 2交代・ローテーション	救急災害医療センター
2	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
3	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
4	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
5	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
6	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
7	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
8	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
9	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
10	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
11	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
12	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
13	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
14	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
15	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
16	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
17	保健師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
18	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
19	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
20	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
21	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
22	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
23	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
24	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
25	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
26	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター

(様式例第13)救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入に対応できる医療従事者の確保状況

NO.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
27	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
28	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
29	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
30	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
31	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
32	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
33	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
34	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
35	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
36	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
37	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
38	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
39	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
40	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
41	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
42	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
43	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター
44	看護師		常勤	専従	〃	救急災害医療センター

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	
専用病床	病院1階集中治療室 ICU 7床 CCU 3床 病院3階西病棟 NCU 4床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

### 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
内視鏡センター	231.33 m <sup>2</sup>	別紙-1 参照	可
救急災害医療センター	1,064.49 m <sup>2</sup>	別紙-2 参照	可
一般撮影室	29.88 m <sup>2</sup>	別紙-3 参照	可
CT撮影室	25.37 m <sup>2</sup>	別紙-4 参照	可
MR検査室	26.00 m <sup>2</sup>	別紙-5 参照	可
血管撮影室	84.02 m <sup>2</sup>	別紙-6 参照	可
生理検査室	26.12 m <sup>2</sup>	別紙-7 参照	可
超音波室	36.39 m <sup>2</sup>	別紙-8 参照	可
検体検査室・細菌検査室	110.89 m <sup>2</sup>	別紙-9 参照	可
手術室(6室)	1,099.75 m <sup>2</sup>	別紙-10 参照	可
腎センター(透析室)	480.15 m <sup>2</sup>	別紙-11 参照	可
輸血室	28.49 m <sup>2</sup>	別紙-12 参照	可
ヘリポート	440.67 m <sup>2</sup>	別紙-13 参照	可

### 4 備考

- ・救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院認定  
救急病院認定

「救急病院の認定について(通知) 平成18年1月25日(医第688号)」  
平成18年2月1日 から 平成21年1月31日まで  
神奈川県告示第31号 平成18年1月31日

#### 現認定有効期間

「救急病院の認定について(通知) 令和3年2月4日(医第521号)」  
令和3年2月1日 から 令和6年1月31日まで  
神奈川県告示第182号 令和3年2月19日

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について、(昭和52年7月6日付け医発第693号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院に会っては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した 救急患者の数	3,578 人 ( 1,180 人 )
上記以外の救急患者の数	4,242 人 ( 1,327 人 )
合計	7,820 人 ( 2,507 人 )

(注) それぞれの患者数については、前年度の述べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

## 内視鏡センター 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-H260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-XP260	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-Q240Z	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-Q260J	内視鏡センター
上部消化管ビデオスコープ	オリンパス	GIF-2TQ260M	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-H260AZI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-H260AZI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-H260AZI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-H260AZI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-Q260AI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	PCF-Q260AI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-Q240ZI	内視鏡センター
大腸ビデオスコープ	オリンパス	CF-Q240ZI	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(気管支ビデオスコープ)	オリンパス	BF-1T260	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(気管支ビデオスコープ)	オリンパス	BF-260	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(気管支ビデオスコープ)	オリンパス	BF-260	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(十二指腸ビデオスコープ)	オリンパス	JF-260V	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(十二指腸ビデオスコープ)	オリンパス	JF-260V	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(十二指腸ビデオスコープ)	オリンパス	TJF-240	内視鏡センター
透視下電子内視鏡システム(多用途細経ビデオスコープ)	オリンパス	CHF-B260	内視鏡センター
高周波手術装置(APC付)	アムコ	VIO300D、APC2 他	内視鏡センター
高周波手術装置(APC付)	アムコ	VIO300D、APC2 他	内視鏡センター
高周波手術装置(イントカット機能付)	アムコ	VIO300DイントカットIQ、APC2 他	内視鏡センター
高周波手術装置(イントカット機能付)	アムコ	VIO300DイントカットIQ、APC2 他	内視鏡センター
高周波手術装置(イントカット機能付)	アムコ	VIO300DイントカットIQ、APC2 他	内視鏡センター
薬用保冷庫	サンヨー電機	MPR-214F	内視鏡センター
超音波洗浄器	オリンパス	ENDSONIC	内視鏡センター
超音波洗浄器	オリンパス	ENDSONIC	内視鏡センター
カセット式卓上型高圧蒸気滅菌器	サクラ精機	STAITIM S-5000	内視鏡センター
内視鏡用診察台	タカラヘルモント	EX-SP33N+DB-EX-L	内視鏡センター
内視鏡用診察台	タカラヘルモント	EX-SP33N+DB-EX-L	内視鏡センター
内視鏡用診察台	タカラヘルモント	EX-SP33N+DB-EX-L	内視鏡センター
内視鏡用診察台	タカラヘルモント	EX-SP33N+DB-EX-L	内視鏡センター
リクライニングベッド	パラマウントベッド	KA-823、KC-56	内視鏡センター

リクライニングベッド	パラマウントベッド	KA-823、KC-56	内視鏡センター
リクライニングベッド	パラマウントベッド	KA-823、KC-56	内視鏡センター
喉頭ファイバースコープ	オリンパス	LF-TP	内視鏡センター
内視鏡保管庫4本掛け	ゼンシンメディカル	EN-A-2	内視鏡センター
超低温フリーザ	サンヨー	MDF-U32V	内視鏡センター
処置・包交カート	サカセ化学	C34-A1011HMKY2	内視鏡センター
リカバリーベッド	パラマウントベッド	KA-830A、KE-525、KA-0271	内視鏡センター
EVIS LUCERA大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	PCF-Q260AL/1	内視鏡センター
EVIS LUCERA大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	PCF-Q260AZI	内視鏡センター
EVIS LUCERA上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	GIF-H260Z	内視鏡センター
内視鏡検査モニタリングシステム	(株)朋栄	MVA-400他	内視鏡センター
高周波手術装置	(株)アムコ	VIO300D	内視鏡センター
内視鏡部門システム	富士フィルムメディカル(株)		内視鏡センター
内視鏡システム一式	オリンパスメディカルシステムズ(株)	CV-290他	内視鏡センター
内視鏡用超音波観測装置	オリンパスメディカルシステムズ(株)	EU-ME2 PREMIER PLUS 他	内視鏡センター
小腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	SIF-H290S	内視鏡センター
EVIS LUCERA ELITE 気管支ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	BF-XP290	内視鏡センター
物質併用電気手術器 エルベVIO300D エンドカットモデル	(株)アムコ	E120700	内視鏡センター
十二指腸ビデオスコープ	オリンパス	TJF-Q290V	内視鏡センター
ESDスコープ ESG-300セット	オリンパス	GIF-H290T/ESG-300	内視鏡センター

## 救急災害医療センター 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
アーム式シーリングペンダント(救急処置室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Life	救急災害医療センター
アーム式シーリングペンダント(救急処置室用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Life	救急災害医療センター
薬用保冷庫	サンヨー電機	MPR-214F	救急災害医療センター
薬用保冷庫	サンヨー電機	MPR-214F	救急災害医療センター
薬用保冷庫	サンヨー電機	MPR-214F	救急災害医療センター
VVI体外式ベースメーカー	日本光電工業	VVI EDP-20A	救急災害医療センター
ギブスカッター	日本スライカー	OR-940-S	救急災害医療センター
ギブスカッター吸引器	日本スライカー	OR-986	救急災害医療センター
無影灯(スタンド式移動型)	東機質	4003US	救急災害医療センター
血液凝固計(ACT測定装置)	平和物産	ヘクロン401	救急災害医療センター
検診台(救命婦人科)	アトムメディカル	CM-6920(ET-8500Ⅱ)	救急災害医療センター
製氷機	ホシザキ電機	IM-55L-1	救急災害医療センター
低圧持続吸引器	泉工医科工業	マサキーム MS-008	救急災害医療センター
別注壁取付棚	センシブメディカル	No509097	救急災害医療センター
別注ステンレスシンク	センシブメディカル	No509096	救急災害医療センター
アーム式シーリングペンダント(CCU用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Warm+Warm	ICU
アーム式シーリングペンダント(CCU用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Warm+Warm	ICU
アーム式シーリングペンダント(CCU用)	ドレーゲルメディカルジャパン	Movita Warm+Warm	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ビーム式シーリングペンダント	ドレーゲルメディカルジャパン	Ponta E/S	ICU
ICUベッド	パラマウント	KA-8701、KE-807	ICU
ICUベッド	パラマウント	KA-8701、KE-808	ICU
ICUベッド	パラマウント	KA-8701、KE-809	ICU
ICUベッド	パラマウント	KA-8701、KE-810	ICU
ICUベッド	パラマウント	KA-8701、KE-811	ICU
デジタル体重計付ICUベッド	パラマウント	KA-8530A、KE-803	ICU
ICU用人工呼吸器	東機質	ニューポートe500Wave、加温加湿器、呼吸回路	ICU
ICU用人工呼吸器	東機質	ニューポートe500Wave、加温加湿器、呼吸回路	ICU
ICU用人工呼吸器	東機質	ニューポートe500Wave、加温加湿器、呼吸回路	ICU
ICU用人工呼吸器	東機質	ニューポートe500Wave、加温加湿器、呼吸回路	ICU
ICU用人工呼吸器	東機質	ニューポートe500Wave、加温加湿器、呼吸回路	ICU
経皮的心肺補助装置	テルモ	キャピオクスEBS	ICU
連続心肺出量測定装置	イトワースライフサイエンス	CEDVモニター-VGSVSSYS VIG2	ICU
連続心肺出量測定装置	イトワースライフサイエンス	CEDVモニター-VGSVSSYS VIG2	ICU
連続心肺出量測定装置	イトワースライフサイエンス	CEDVモニター-VGSVSSYS VIG2	ICU
プラム スライディングストレッチャー(車椅子タイプ)	村中	SR-500N(260-003-02)	救急観察室
超音波診断装置Viamo	東芝メディカルシステムズ(株)	SSA-640A/JI	救急観察室
ナースングストレッチャー	村中	NST-2	救急観察室
エマージェンシーストレッチャー	パラマウントベッド(株)	KK-8120B	救急観察室
汎用超音波画像診断装置 Venus	GEヘルスケア・ジャパン(株)	Venus R2 他	救急観察室
無侵襲混合血酸素飽和度監視システム	コヴィディエンジャパン(株)	INVOS 5100C	救急処置室

血液浄化用装置	東レ・メディカル㈱	TR55X-II	救急処置室
血液浄化用装置	東レ・メディカル㈱	TR65X-II	救急処置室
CVC穿刺挿入シミュレーターⅡ	桐京都科学	M93B(11347-300)	救急災害医療センター
CVC穿刺挿入シミュレーターⅡ	桐京都科学	M93B(11347-300)	救急災害医療センター
ベッドサイドモニタ BSM-6701	日本光電工業株	MU-671R-Q20 他	救急処置室
与薬カート 20床用 YI-9セット ストップバーカギ付	村中	GUA4-AL21020	ICU
BISモニタ Vista	日本光電工業株	A-3000	ICU
ビジレオモニター	エドワーズライフサイエンス㈱	MHM1	ICU
中心静脈留置型経皮的体温調節装置システム(サーモガードシステム)	旭化成ゾールメディカル㈱	8700-0650-03	ICU
生体情報管理システム	日本光電南関東(株)		ICU
汎用超音波画像診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Vscan Dual Probe	ICU
汎用超音波画像診断装置 SonoSite iViz	富士フィルムメディカル㈱	タブレット型超音波診断装置 iViz	ICU
スマートリフトスケールZ	㈱エー・アンド・ティ	AD-6082	ICU
アトム HL洗髪車	アトム	52004	ICU
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド(株)	KA-H7210A	ICU
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド(株)	KA-H7210A	ICU
エマージェンシーストレッチャー	パラマウントベッド(株)	KK-8120B	救急観察室
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド(株)	KA-H7210A	ICU
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド(株)	KA-H7210A	ICU
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド(株)	KA-H7210A	ICU
ビデオ喉頭鏡セット	カールストルツ	8403KXC	救急災害医療センター
遠隔ICUシステム一式	日本光電工業	ネットワークカメラ一式	ICU



## 一般撮影室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
X線TV装置	東芝メディカル	Winscope6000/FPD	一般・X線TV室
X線TV装置	東芝メディカル	Ultimax/FPD	一般・X線TV室
一般撮影装置	東芝メディカル	KXO-50R/DST-3000A	一般・X線TV室
一般撮影装置	東芝メディカル	KXO-50R/DST-3000A	一般・X線TV室
一般撮影装置	東芝メディカル	KXO-50R/DST-3000A	一般・X線TV室
デジタル式乳房X線撮影装置(Tomosynthesis)	(株)日立製作所	SELENIA Dimensions	一般・X線TV室
ドライイメージャ	ケアストリームヘルス(株)	DV5950	一般・X線TV室
CD/DVDデュプリケータシステム	アレイ(株)	PP-100システム	一般・X線TV室
EIZOディスプレイ及び検像システム	(株)ナナオ	RadiForce GS521-GLG 他	一般・X線TV室
デジタル式乳房X線撮影装置(Tomosynthesis)	(株)日立製作所	SELENIA Dimensions	一般・X線TV室
ドライイメージャ	ケアストリームヘルス(株)	DV5950	一般・X線TV室
骨密度測定装置	東洋メディック	Horizon Wi型	一般・X線TV室
X線ポータブル・FPD撮影システム	富士フィルムメディカル	MobileArtEvolution・CALEO	一般・X線TV室

## CT室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
コンピュータ断層撮影装置(64列)(CT)	東芝メディカル	Aquilion64	CT室
デュアルショットGX用圧力監視モニター	デュアルショットGX用	(株)根本杏林堂	CT室
デュアルショットGX用圧力監視モニター	デュアルショットGX用	(株)根本杏林堂	CT室
多相電動式造影剤注入装置 プロトCO2L	ES390005	エーディア(株)	CT室

## MR検査室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
超電導磁気共鳴断層撮影システム(MRI)(循環器用)	フィリップス	1.5T Achiva NOVA	MRI室
超電導磁気共鳴断層撮影システム(MRI)(脳神経外科用)	フィリップス	1.5T Achiva NOVA	MRI室
MRI用磁性体検知器 MAGGUARD-H(マグガードハンディ)	フジデノロ(株)	DH-MH101	MRI室
MRI室用パルスオキシメータ及び外部監視システム	スター・プロダクト(株)	7500FO	MRI室

## 血管撮影室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
血管撮影装置(IVR-CT)	ジーイー横河メディカルシステム(株)	ACT3100 MD 16	血管撮影室
ベッドサイドモニター一式	日本光電工業株	BSM-6301	血管撮影室
血液凝固計 ヘモクロン401	平和物産	401	血管撮影室
除細動器(デフibrilレータ)	日本光電工業株	TEC-5531	血管撮影室
放射線防護用固定式バリア・アンギオカーテン	(株)保科製作所	AP-2B(特注)	血管撮影室
大動脈内バルーンポンプ	マツケ・ジャパン(株)	GS300	血管撮影室
ANGIO CT装置 テーブルエクステンダー(多目的台座型マウント含む)	GEヘルスケア・ジャパン	Endrail	血管撮影室
非目視下非鏡視下処置用電気手術器 RF-Generator	日本ライフライン	RFP-100-115	血管撮影室
超音波診断装置	シーメンス・ジャパン	ACUSON X300PE	血管撮影室
体外式ペースメーカー 3077	セント・ジュード・メディカル(株)	EXT3077	血管撮影室
体外式ペースメーカー 3077	セント・ジュード・メディカル(株)	EXT3077	血管撮影室
Prucka心臓カテーテルモニタリングシステム	GEヘルスケア・ジャパン	ComboLab XT128ch Ver.6.9.5	血管撮影室
血管撮影装置	シーメンスヘルスケア(株)	Artis zee BA Twin PURE	血管撮影室

## 生理検査室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FCP-7431	生理検査
心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FCP-7431	生理検査
心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FCP-7431	生理検査
心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FCP-7431	生理検査
自動心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FDX-6531	生理検査
トレッドミル心電計(血圧付)(生理検査システム)	フクダ電子	ML-9000、MAT-2700、FB-300	生理検査
ホルター心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FM-120	生理検査
ホルター心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FM-120	生理検査
ホルター心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FM-120	生理検査
ホルター心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FM-120	生理検査
ホルター心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FM-120	生理検査
ホルター心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FM-120	生理検査
脳波システム(生理検査システム)	フクダ電子	コメットCMXL-E、コメットCMP-E、HP DC5100 他	生理検査
電子スパイロメーター(生理検査システム)	フクダ電子	SP-770	生理検査
誘発電位・筋電図検査装置	日本光電工業	MEB-9104	生理検査
デジタルホルタ記録器	フクダ電子	FM-800	生理検査
デジタルホルタ記録器	フクダ電子	FM-800	生理検査
デジタルホルタ記録器	フクダ電子	FM-800	生理検査
総合呼吸機能自動解析装置	フクダ電子	FUDAC-77	生理検査
血管内皮機能検査装置 ユネクスイーエフ ー式	樹ユネクス	シリーズIIタイプPro	生理検査
ホルター自動連続血圧計	フクダ電子(株)	FB-270	生理検査
ホルター自動連続血圧計	フクダ電子(株)	FB-270	生理検査
血圧脈波検査装置 VaSera	フクダ電子(株)	VS-3000TN	生理検査
生理検査部門システム	富士フィルムメディカル(株)		生理検査
脳波計判読用PCの増設および脳波システムPCソフトウェアバージョンアップ実施	フクダ電子	HP ProiDesk 600 G1 SFF	生理検査
聴力検査管理システム	リオン(株)	リオンシステム	生理検査
デジタルホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-190	生理検査
デジタルホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-190	生理検査
ホルター心電図解析装置	フクダ電子(株)	SCM-800他	生理検査
筋電図・誘発電位検査装置	日本光電工業株	MEB-2312	生理検査
電動リモートコントロールベッド他	パラマウントベッド(株)	KA-8332	生理検査
重心動揺計グラビコーダ		GW-31他	生理検査
ホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-190	生理検査
ホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-190	生理検査
ホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-190	生理検査
ホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-980他	生理検査
ホルタ記録器	フクダ電子(株)	FM-980他	生理検査

解析付心電計	フクダ電子(株)	FCP-8800	生理検査
睡眠評価装置 パルスリープ	フクダ電子(株)	LS-140他	生理検査
鼻腔通気度計	日本光電工業株	MPR-3100	生理検査
無散瞳眼底カメラ	株式会社プロンメディカルジャパン	TRC-NW400	生理検査
睡眠評価装置 パルスリープ	フクダ電子(株)	LS-120S	生理検査
心電計(生理検査システム)	フクダ電子	FCP-7431	生理検査

## 超音波室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設置場所
超音波診断装置 Aplio400	TUS-A400/W1	東芝メディカルシステムズ(株)	超音波検査室
電動診察台 EX-SD8	EX-SD8	タカラベルモント	超音波検査室
電動診察台	EX-SD6	タカラベルモント	超音波検査室
超音波診断装置	EPIQ7	フィリップス・レスピロニクス合同会社	超音波検査室
超音波診断装置 EPIQ7	EPIQ7他	フィリップス・レスピロニクス合同会社	超音波検査室
超音波診断装置	Aplio a450	キャノンメディカルシステムズ(株)	超音波検査室

## 検体検査室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
ディスクッション装置	オリンパス	BX2N-SDO	検体検査室
顕微鏡	オリンパス	BX51N-34	検体検査室
顕微鏡	オリンパス	CX-41	検体検査室
生物顕微鏡	オリンパス	CX41N-11	検体検査室
写真撮影装置	オリンパス	PM10SP-1	検体検査室
電気味覚計	リオン	TR-06	検体検査室
卓上低速遠心機	久保田商事	2420	検体検査室
試験管ヒータ	東機貿	K-FHT-1012	検体検査室
小型卓上遠心機	日立工機	CT4D	検体検査室
小型卓上遠心機	日立工機	CT4D	検体検査室
総合呼吸機能自動解析装置	フクダ電子横浜販売(株)	FUDAC-77	検体検査室
超音波骨密度測定装置	(株)エルクコーポレーション	CM-200	検体検査室

## 細菌検査室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
細菌検査システム	A&T	CLINILAN MB2	細菌検査
自動細菌検査装置	シーメンス	Walk Away 40SI	細菌検査
微生物感受性分析装置	デイドベアリング	Auto SCAN-4	細菌検査
全自動血液培養装置	日本ビオメリュー	バクテアラート3D	細菌検査
全自動血液培養装置	シスメックス	バクテアラート3D	細菌検査
光学顕微鏡	オリンパス	BX-41	細菌検査
インキュベーター	旭テクノグラス	NIB-11	細菌検査
インキュベーター	旭テクノグラス	NIB-11	細菌検査
CO2インキュベーター	サンヨー	MCO-5AC	細菌検査
インキュベーター	サンヨー	MIR-553	細菌検査



オートクレーブ	トミー精工	SX-500	細菌検査
安全キャビネット	サンヨー	MHE-91AB3	細菌検査
冷蔵ショーケース	サンヨー	MPR-311D	細菌検査
冷蔵ショーケース	サンヨー	MPR-311D	細菌検査
冷蔵ショーケース	サンヨー	MPR-311D	細菌検査
遠心機	コクサン	H-19FM	細菌検査
全自動遺伝子解析装置	東洋紡	GENECUBE	細菌検査
クリーンベンチ	PHC	MCV-91BNS-PJ	細菌検査
バイオハザード対策キャビネット	PHC	MHE-S901A2-PJ	細菌検査

## 手術室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
外科用イメージ装置	カテックス	OEC MINI6800	手術部
手術台	マック・ゲティンゲ	アルファマックス 1133	手術部
手術台	マック・ゲティンゲ	アルファマックス 1133	手術部
手術台	マック・ゲティンゲ	アルファマックス 1133	手術部
手術台	マック・ゲティンゲ	アルファマックス 1133	手術部
手術用顕微鏡システム(眼科)	カールツァイス メディック	OPMI VISU210、MKC-305DR	手術部
手術用无影灯	東機質	6401 ACS/DF/VZ、PRVZOOM NTSC	手術部
手術用无影灯	東機質	6401 ACS/DF/VZ、PRVZOOM NTSC	手術部
手術用无影灯	東機質	6401 ACS/DF/VZ、PRVZOOM NTSC	手術部
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメデikalジャパン	Forta Life	手術部
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメデikalジャパン	Forta Life	手術部
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメデikalジャパン	Movita Warm	手術部
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメデikalジャパン	Movita Warm	手術部
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメデikalジャパン	Movita Warm	手術部
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメデikalジャパン	Movita Warm	手術部
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメデikalジャパン	スレーブモニターアーム	手術部
アーム式シーリングペンダント(手術室用)	ドレーゲルメデikalジャパン	スレーブモニターアーム	手術部
脳神経外科手術用顕微鏡	オリンパス	OME-8212-L-T、OME8C-NU 他	手術部
鏡視下手術画像集中管理システム	クリプトン		手術部
鏡視下手術システム シーリングタイプ	カール・ストルツ	IMAGE1コントロールユニット K2220011U14 他	手術部
鏡視下手術システム シーリングタイプ	カール・ストルツ	IMAGE1コントロールユニット K2220011U14 他	手術部
眼科用冷凍手術装置	マイラ社	AU-CR4000、AU-CR4010 他	手術部
ジヤテルミーセット	マイラ社	AU-TR4000、AU-TR4010 他	手術部
鏡視下手術システム トロリータイプ	カール・ストルツ	IMAGE1コントロールユニットK2220011U14 他	手術部
光学視管セット	カール・ストルツ	ホプキンス II テレスコープ 他	手術部
鏡視下鉗子呼吸器VATSセット	カール・ストルツ	GLICLINE把持鉗子 他	手術部
外来用膀胱尿道鏡セット	カール・ストルツ	ホプキンス II テレスコープ 他	手術部
手術用膀胱尿道鏡セット	カール・ストルツ	ホプキンス II テレスコープ 他	手術部
レゼクトスコープセット	カール・ストルツ	ホプキンス II テレスコープ 他	手術部
硬性尿管鏡セット	カール・ストルツ	尿管鏡 他	手術部
万能手術台	マック・ゲティンゲ	アルファスター 1132型	手術部
眼科・口腔外科手術台	マック・ゲティンゲ	アルファスター 1132型	手術部
脳べら固定器システム	ジョンソン・エンド・ジョンソン	グリーンバーゲトラクタープレート 他	手術部
関節鏡下電気手術装置	ジョンソン・エンド・ジョンソン	ジェネレーター、ハンドピース 他	手術部
超音波凝固切開装置	ジョンソン・エンド・ジョンソン	本体GEN04、カートCRT01、FSW01、HP054	手術部
超音波凝固切開装置	ジョンソン・エンド・ジョンソン	本体GEN04、カートCRT01、FSW01、HP054	手術部
開腹用拡張型開創器	マンソン	オムニクランプ 他	手術部
電動モーターシステム	ビー・ブラウンエースクラブ	エランECイリゲーション付GA835 他	手術部
手術用无影灯	東機質	4401SAD/DF/VZ、PRVZOOM NTSC	手術部
手術用无影灯	東機質	4401SAD/DF/VZ、PRVZOOM NTSC	手術部
電動式パワードリルシステム	日本ストライカー	基本セット 500-050-000-S1 他	手術部
高規格全身麻酔器	ドレーゲルメデikalジャパン	ファビウス GS	手術部
高規格全身麻酔器	ドレーゲルメデikalジャパン	ファビウス GS	手術部
高規格全身麻酔器	ドレーゲルメデikalジャパン	ファビウス GS	手術部
高規格全身麻酔器	ドレーゲルメデikalジャパン	ファビウス GS	手術部
体外衝撃波結石破砕装置	ドルニエドテックジャパン	Lithotripter D	手術部

腎盂鏡セット	エム・シー・メディカル	IMAGE1 3S 3CCDカメラヘッド 他	手術部
ヒステロレゼクトスコープセット	エム・シー・メディカル	IMAGE1 P1 1CCDカメラヘッド 他	手術部
耳鼻科内視鏡セット	エム・シー・メディカル	IMAGE1 3S 3CCDカメラヘッド 他	手術部
鏡視下鉗子婦人科セット	エム・シー・メディカル	IMAGE1 P1 1CCDカメラヘッド 他	手術部
ヒステロスコープセット	エム・シー・メディカル	IMAGE1 P1 1CCDカメラヘッド 他	手術部
鏡視下鉗子マーゲンセット	エム・シー・メディカル	IMAGE1 3S 3CCDカメラヘッド 他	手術部
鏡視下鉗子コロンセット	エム・シー・メディカル	CLICKLINE GROCE-OLM無傷性把持鉗子 他	手術部
頭部固定装置	欧和通商	メイフィールド型頭部固定装置	手術部
定位脳手術装置	瑞穂医科工業	駒井式CT定位脳手術装置	手術部
電動油圧式椅子	瑞穂医科工業	マイクチュア MC-B60	手術部
高出力半導体レーザー手術装置	長田電機工業	オリダライトレーザー3000 OSL-3000-3TC	手術部
顎関節鏡システム	日本スライカー	TMJ3ニスコブセット 他	手術部
手・足関節鏡システム	スミスアンドニューエントスビー	短身関節鏡 他	手術部
モジュラーハンドシステム	シンセス	MIS 共通器械セット 他	手術部
XPSドリルシステム	日本外ロック	XPSドリルシステム モデル3000 他	手術部
脳室ファイバースコープ	オリンパス	VEF-3、A5909	手術部
乳児・小児用泌尿器科内視鏡セット	オリンパス	光学視管、膀胱鏡用ケース 他	手術部
電気手術器(脳神経外科用)	日本エム・ディ・エム	EMF SYSTEM PAL-1	手術部
バイポーラ凝固止血器	ジョンソン・エンド・ジョンソン	マリスバイポーラ凝固切開装置OMCⅢ 80-1170 他	手術部
創外固定システム	日本スライカー	テクサー創外固定システム	手術部
ミニプレートシステム	日本スライカー	頰窩顎顔面用骨接合用プレートスクリューシステム	手術部
バッテリードライバーシステム	日本スライカー	システム 5 コードレスバッテリーパワーシステム	手術部
電気メス	タイコヘルスケアジャパン	フォース FX-C	手術部
電気メス	タイコヘルスケアジャパン	フォース FX-C	手術部
電気メス	タイコヘルスケアジャパン	フォース FX-C	手術部
電気メス	タイコヘルスケアジャパン	フォース FX-C	手術部
材料キャビネット	サカセ化学工業	MR64-AS301KTY	手術部
電動診察台	効ラヘルモト	EX-SP5P	手術部
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術部
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術部
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術部
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術部
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術部
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術部
システム作業台	サクラ精機	SD-150G	手術部
システム流し台	サクラ精機	SS-1502S	手術部
システム流し台	サクラ精機	SS-2402S	手術部
薬品保冷庫	サンヨー電機	MPR-414F	手術部
記録台	サカセ化学工業	RT-002KTY	手術部
記録台	サカセ化学工業	RT-002KTY	手術部
記録台	サカセ化学工業	RT-002KTY	手術部
記録台	サカセ化学工業	RT-002KTY	手術部
記録台	サカセ化学工業	RT-002KTY	手術部
作業台	サカセ化学工業	BS-WT2C1KTY	手術部
作業台	サカセ化学工業	BS-WT2C1KTY	手術部
展開補助作業台	サカセ化学工業	WT-T604KTY	手術部
展開補助作業台	サカセ化学工業	WT-T604KTY	手術部
高・低体温維持装置	JMI	ハイサームⅢ	手術部
内視鏡下椎間板切除システム	外ロックフアモアダネック	METRx	手術部

VVI体外式ベースメーカー	日本光電工業	VVI EDP-20A	手術部
搬送用モニター	日本光電工業	WEC-6003	手術部
鏡視下鉗子基本セット	エムシーメディカル	基本セット	手術部
鏡視下鉗子基本セット	エムシーメディカル	基本セット	手術部
鏡視下鉗子基本セット	エムシーメディカル	基本セット	手術部
鏡視下鉗子基本セット	エムシーメディカル	基本セット	手術部
鏡視下鉗子基本セット	エムシーメディカル	基本セット	手術部
ケント鉤牽引器	高砂医科工業	TKZ-F10328	手術部
ケント鉤牽引器	高砂医科工業	TKZ-F10328	手術部
外来用膀胱尿道鏡セット17Fr	エムシーメディカル		手術部
外来用膀胱尿道鏡セット17Fr	エムシーメディカル		手術部
外来用膀胱尿道鏡セット17Fr	エムシーメディカル		手術部
鏡視下鉗子泌尿器科セット	エムシーメディカル		手術部
結石破砕セット	エムシーメディカル		手術部
結石破砕セット	エムシーメディカル		手術部
手術用尿道切開刀セット	エムシーメディカル		手術部
軟性膀胱鏡セット	エムシーメディカル		手術部
イリゲーションボール	武井医科	TU-1058B	手術部
イリゲーションボール	武井医科	TU-1058B	手術部
関節鏡ポンプシステム	ArthroX社	コンティニアスウエーブⅡ	手術部
股関節手術時開創器	タクト医療	7450 他	手術部
股関節手術時支持器	タクト医療	4150	手術部
ドラム式ターマトーム	秋山製作所	Σ-111	手術部
メッシュグラフト	秋山製作所	Σ-112-31	手術部
ベンダーセット	シンセス		手術部
小骨用スクリュープレートセット	シンセス		手術部
折植スクリュー摘出器械セット	シンセス		手術部
ジンマーATS2000タニケットシステム	ジンマー		手術部
IMFスクリューシステム	日本スライカー		手術部
コンクレスト関節鏡手術器械	日本スライカー		手術部
パーソナルプロテクションシステム	日本スライカー	ステリール T4	手術部
創外固定器システム(ホフマンⅡ)	日本スライカー	ホフマンⅡ	手術部
創外固定器システム(ホフマンコンパクト)	日本スライカー	ホフマンコンパクト	手術部
創外固定器システム(モノチューブ)	日本スライカー	モノチューブ	手術部
エクストラⅡシステム	スミス&ネフュー		手術部
肩膝関節鏡システム	スミス&ネフュー		手術部
肩膝関節鏡システム	スミス&ネフュー		手術部
手術台用アクセサリ	マッケ・グディング	ボディストラップ 他	手術部
手術台用アクセサリ	マッケ・グディング	延長腰板	手術部
手術台用アクセサリ	マッケ・グディング	肩手術用背板 他	手術部
手術台用アクセサリ	マッケ・グディング	支脚器/上肢台 他	手術部
手術台用アクセサリ	マッケ・グディング	手用手術板 他	手術部
手術台用アクセサリ	マッケ・グディング	側臥位用上肢台 他	手術部
手術台用アクセサリ	マッケ・グディング	体側支持器 他	手術部
電気メス装置	タイコヘルスケアジャパン	サージスタットⅡ	手術部
電気メス装置	タイコヘルスケアジャパン	サージスタットⅡ	手術部
電気メス装置	タイコヘルスケアジャパン	サージスタットⅡ	手術部
ディンクマン氏開口器	第一医科	70-109-00	手術部
カセット式卓上型高圧蒸気滅菌器	サクラ精機	STAITIM S-5000	手術部
カセット式卓上型高圧蒸気滅菌器	サクラ精機	STAITIM S-5000	手術部



VISERA膀胱腎盂ビデオスコープ	オリンパス㈱	CYF-VA2	手術部
処置用光学視鏡0° ライトガイド付	オリンパス㈱	WA31000A・WA03200A	手術室
バーサカットシステム	ボストンサイエンティフィックジャパン㈱	840-890	手術室
サージトロンS5(低侵襲手術支援システム)	㈱エルマジャパン	IEC5-S30	手術室
外科用X線装置Clearscope1000	東芝メディカルシステムズ㈱	SXT-1000A/29	手術室
VISERA腹腔・胸腔ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ㈱	LTF-VP 他	手術室
超音波手術システム	オリンパスメディカルシステムズ㈱	SonoSurg-G2 他	手術室
エネルギープラットフォーム	コヴィディエンジャパン㈱	FORCETRIAD	手術室
エネルギープラットフォーム	コヴィディエンジャパン㈱	FORCETRIAD	手術室
ホプキンステレスコープ30°	エム・シー・メディカル㈱	KR26048BA	手術室
コンステレーション ビジョンシステムLXT	日本アルコン㈱	ビジョンシステムLXT	手術室
エンドコーン	エム・シー・メディカル㈱	K23010PA サイズ:34mm	手術室
エックスコーン	エム・シー・メディカル㈱	K23020PAサイズ:25mm	手術室
OES Pro レゼクトスコープシステム	オリンパスメディカルシステムズ㈱	K4630Aセット	手術部
IMAGE 1 HDビデオカメラシステム	エム・シー・メディカル㈱	KNDS90X0515他	手術部
外科用X線装置 Clearscope1000	東芝メディカルシステムズ㈱	SXT-1000A/29	手術部
耐火金庫 指紋認証式	キング工業㈱	KCJ53-2FPE	手術部
ケント牽引開創器	高砂医科工業㈱	TKZ-F10328-A	手術部
核医学装置用手持型検出器 ガンマ・ファインダー II	荏原実業㈱	ガンマ・ファインダー II	手術部
クランク型脳神経外科内視鏡	オリンパスメディカルシステムズ㈱	A81000A	手術部
IMAGE 1 HDビデオカメラシステム	エム・シー・メディカル㈱	KNDS90X0515 他	手術部
CLICKline KELLY把持鉗子	エム・シー・メディカル㈱	K33321ML	手術部
内視鏡下血管クリップ一式	エースクラップ	PL530R 他	手術部
ファイバー尿管鏡	エム・シー・メディカル㈱	K1127BA1	手術部
尿管鏡	エム・シー・メディカル㈱	K27001L	手術部
アイスタット1-DMATキット	扶桑薬品工業㈱	I10520	手術部
カミノアドバンスモニター	(株)東機質	CAM01	手術部
ヘッドフレームセット II 型	ミズホ	07-980-06他	手術部
ビジュレオモニター	エドワーズライフサイエンス㈱	MHM1	手術室
関節鏡/カニューラセット	スミスアンドネフューエンドスコピー㈱	4184他	手術部
トラクションタワー(外科用牽引手術台)	ジンマー	00-9905-A00-00	手術部
ジェネレーター GEN11 (カート有)	ジョンソン&ジョンソン	G11R(Renewalセット)	手術室
眼底観察システム Resight700	カールツァイスメディテック㈱	Resight700	手術室
超音波診断装置 Prosound α	日立アロカメディカル(株)	プロサウンド α 6	手術室
HDカメラヘッド	オリンパスメディカルシステムズ㈱	OTV-S7ProH-HD-L08E	手術室
手術用顕微鏡	カールツァイスメディテック㈱	OPMI PENTERO 900	手術室
インバータ・ヘマトクリット遠心機	久保田商事(株)	3220	手術室
サージカル ティシュー マネジメント システム THUNDERBEAT(サンダービート)	オリンパスメディカルシステムズ㈱	USG-400他	手術室
サージカル ティシュー マネジメント システム THUNDERBEAT(サンダービート)	オリンパスメディカルシステムズ㈱	USG-400他	手術室
レッグスプレッター	村中	I-LHPAMUR	手術室
尿管鏡 6Fr ウレテロレノスコープセット	ボストンサイエンティフィックジャパン㈱	841-420	手術室
手術顕微鏡 HDテレビカメラシステム	池上通信機㈱	MKC-700HD	手術室
脳神経内視鏡	オリンパスメディカルシステムズ㈱	A81002A	手術室
腎盂尿管ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ㈱	URF-V	手術室
MINIマークティニアスネフロスコープ	オリンパスメディカルシステムズ㈱	A37025A	手術室
システム7 ヘビーデューティパワーツール 1式	ストライカー	7205-000-000他	手術室
システム7 サジタル骨鋸ハンドピース	ストライカー	7208-000-000	手術室
ヘッドライトシステム	(株)アムコ	MLX	手術室
VISERA ELITE ビデオシステム	オリンパスメディカルシステムズ㈱	OTV-S190他	手術室
HDカメラヘッド	オリンパスメディカルシステムズ㈱	OTV-S7 ProH-HD-L08E	手術室

超音波手術器(治療用電気手術器)ジェネレーター	ジョンソン&ジョンソン	GEN11他	手術室
超音波吸引器 CUSA EXcel Plus	(株)アムコ	C37-1005他	手術室
脊椎外科用手術フレーム一式	イソメディカルシステムズ㈱	LT-1000LP	手術室
ベッドサイドモニター BSM-6701	日本光電工業株	MU-671R-Q20 他	手術室
STORZカメラシステム	カールストルツ	STORZ手術室カメラシステム	手術室
ハイスピードドリル Anspach EG1	ジョンソン&ジョンソン	EG1A他	手術室
コア電動マイクロドリルシステム 一式	ストライカー	6400-099-000他	手術室
手術顕微鏡用スリットランプ	カールツァイスメディテック㈱	VISULUX	手術室
ケイセイ神経刺激装置	ケイセイ医科工業㈱	KNS-1000 他	手術室
光学顕微鏡	カールストルツ	7229AA 他	手術室
手術支援システム Prime Gaie	日本光電工業株	PRM-7500	手術室
全自動軟水装置	サクラ精機(株)	SS-2D	手術室
側臥位用上肢台フレキシブルタイプ	ゲティンググループ・ジャパン㈱	1002.49A0	手術室
STORZカメラセット・光源装置・モニター付	カールストルツ	KCT200EN/KTC300/KTC301/KTL300/K9826NBJP	手術室
ENDO-EYE FLEX 先端湾曲ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ㈱	LTF-S190-5	手術室
電動手術用器械展開台車	村中	10023-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中	10023-02	手術室
電動手術用器械展開台車	村中	10023-02	手術室
頭部固定器DOROヘッドレストシステム	ユフ精器	3036-00他	手術室
マルチデブリッターシステム DIEGO ELITE	オリンパスメディカルシステムズ㈱	MDCONS100他	手術室
白内障手術装置	日本アルコン㈱	センチオリオン ビジョン システム	手術室
体外衝撃波結石破碎装置	エダップテクノメド㈱	ソノリスアイムーブ	手術室
結石破碎レーザー	エダップテクノメド㈱	Qanta Lithoレーザー	手術室
物質併用電気手術器 エルベVIO3 TUR/TCRモデル	(株)アムコ	VIO3(E125003)他	手術室
電動タニケット A.T.S 4000	ジンマー	60-4000-301-09	手術室
術中腫瘍観察モジュール	カールツァイス	手術用顕微鏡OPMI PENTERO 900用オプション	手術室
ワイナビューウイングフレームFモデルセット	キーラー社	YWF-M-II	手術部
ワイナビューウイングフレームFモデルセット	キーラー社	YWF-M-II	手術部
IMAGE1 S HX-P F1 1チップフルHD ベンチュラムタイプカメラヘッド	カールツァイスメディテック㈱	KTH113	手術室
IMAGE1 S HX-P F1 1チップフルHD ベンチュラムタイプカメラヘッド	カールツァイスメディテック㈱	KTH113	手術室
電動昇降式展開台車(省スペースタイプ)	村中	10023-02	手術部
電動昇降式展開台車(省スペースタイプ)	村中	10023-02	手術部
電動昇降式展開台車(省スペースタイプ)	村中	10023-02	手術部
超音波画像診断装置 Sonosite S II	富士フイルムメディカル㈱	Sonosite S II	手術室
万能手術台	ゲティンググループ・ジャパン㈱	1133.2B4	手術室
Allen レッグスプレッタージュニアバル	村中	A-10056他	手術室
麻酔器 Fabius GS Premium	ドレーゲル・メディカルジャパン	Fabius GS Premium 他	手術室
電動タニケットA.T.S4000	ジンマー	60-4000-301-09	手術室
血液保冷庫	PHC㈱	MBR-107T4-PJ	手術室
全身麻酔器	ドレーゲル・メディカルジャパン	Fabius GS Premium 他	手術室
手術顕微鏡	カールツァイス	OPMI Lumera 700	手術室
SPモータードリルセット	エス・アンド・ブレイン	SPD01他	手術室
ダイオニクスパワー II コントロールシステム	スミスアンドニューエンドスコピー㈱	72201030他	手術室
クウォンタム2システム一式	スミスアンドニューエンドスコピー㈱	28168	手術室
LED9500ヘッドライトシステム	アムコ	C419504	手術室
AEXジェネレーター	日本メトロニック	40-405-1他	手術室
超音波画像診断装置	日立製作所	ARIETTA65	手術室
フラットディテクター型 ミニCアーム	ガテリウス・メディカル	TAU15X15	手術室
ビデオ喉頭鏡セット	カールストルツ	9403KXC 他	手術部
高解像硬性鼻咽喉一式	オリンパスメディカルシステムズ㈱	WA4KS400 他	手術部

## 腎センター 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
透析部門中央監視システム	日機装	Future Net LX	腎センター
アフエーシス装置	旭化成メディカル	Plasauto EZ	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエスパーツ	CM3-010、PC-3060	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエスパーツ	CM3-010、PC-3060	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエスパーツ	CM3-010、PC-3060	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエスパーツ	CM3-010、PC-3060	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエスパーツ	CM3-010、PC-3060	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエスパーツ	CM3-010、PC-3060	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエスパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエスパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエスパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエスパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエスパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエスパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエスパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
3モーター電動ベッド	タチエスパーツ	TM3-800-N、UTM-80193、PB-3690、SG-010	腎センター
薬用保冷庫	サンヨー電機	MPR-214F	腎センター
血液凝固計(ACT測定装置)	平和物産	ヘモクロン401	腎センター
高精度体成分分析装置	株式会社バイオスペース	InBody720	腎センター
クリアリフトスケール(リフト式体重計)	パイオ・インターナショナル株式会社	CLS-320	腎センター
医用テレメータ	日本光電工業株式会社	WEP-5218他	腎センター
皮膚灌流圧測定器	株式会社カネカメディックス	PAD4000	腎センター
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド(株)	KA-8331他	腎センター
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド(株)	KA-8331他	腎センター
電動リモートコントロールベッド	パラマウントベッド(株)	KA-8331他	腎センター
人工腎臓装置	日機装株式会社	DCS-100NX他	腎センター
電解質分析装置	(株)常光	EX-G	腎センター
血液浄化装置	旭化成メディカル株式会社	ACH-Σ	腎センター
サクソン吸引式フットケア用ドリラー式	株式会社ジェイ・シー・ティ	O949JCT他	腎センター
生物発光式エンドトキシン計 ルミニッツ-ET	日機装株式会社	BLA01E	腎センター
透析装置通信システム一式	日機装株式会社	DCS-100NX他	腎センター
超音波診断装置	キャノンメディカルシステムズ株式会社	TUS-X100S/MX	腎センター
超音波診断装置	キャノンメディカルシステムズ株式会社	TUS-X100S/MX	腎センター
個人用逆浸透装置	日機装株式会社	AquaUNO	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエスパーツ	CM3-020他	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエスパーツ	CM3-020他	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエスパーツ	CM3-020他	腎センター



3モーター電動チェアー	タチエスパーツ	CM3-020他	腎センター
3モーター電動チェアー	タチエスパーツ	CM3-020他	腎センター
個人多用途透析装置	日機装	DBB-200Si	腎センター
個人多用途透析装置	日機装	DBB-200Si	腎センター
多用途透析用監視装置	日機装	DCS-200Si	腎センター

## 輸血室 備品一覧

機器名称	メーカー名	形状・寸法・構造・規格	設定場所
血液保冷库	サンヨー電機	MBR-506T4	輸血室
血液保冷库	サンヨー電機	MBR-506T4	輸血室
バイオメディカルフリーザー	サンヨー電機	MDF-U537D	輸血室
薬品保冷库	サンヨー電機	MPR-312D	輸血室
ヘモクイック	テルモ	ME-AC185	輸血室
ヘモクイック	テルモ	ME-AC185	輸血室
免疫血液学用遠心器セロマチックⅡ	久保田商事	KA-2200+ロータ	輸血室
免疫血液学用遠心器セロマチックⅡ	久保田商事	KA-2200+ロータ	輸血室
PCアジテーターチャンバー	荏原	EKC-6M	輸血室
輸血管理システム	バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)		輸血室
純水製造装置	オルガノ	PRA-0015-0V1	輸血室
カード用全自動輸血検査装置	バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)	IH-500	輸血室

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

1. 機器の共同利用（令和元年度実績）	CT	926件
	MR I	1,162件
	超音波検査	418件
	内視鏡検査	529件
2. 共同利用を行った医療機関述べ数		3,035件
3. これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数		3,035件
4. 共同利用に係る病床利用率		0%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

1. 共同利用の施設	研究室、会議室、図書室、講堂、登録医室、駐車場
2. 共同利用の装置・機器	コンピュータ断層撮影装置、磁気共鳴診断装置、超音波診断装置 内視鏡検査装置
3. 共同利用の病床	5床

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無  有・無  
 イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：松岡 正代  
 職種：事務（医療相談センター）

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙参照				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

## 共同利用運営規定

### (目的)

第1条 この規定は、川崎市立多摩病院登録紹介医（以下、「登録紹介医」という）が川崎市立多摩病院（以下、「病院」という）の施設および医療機器等の共同利用を推進することを目的とする。

### (共同利用に供する施設等)

第2条 本規定の共同利用に供する施設等は、下記に定める範囲とする。ただし、本規定に定めのない施設等について共同利用の要請があった場合は、病院長の認める範囲とする。

1. 共同利用の施設

研究室、会議室、図書室、講堂、登録医室、駐車場

2. 共同利用の装置・機器

コンピューター断層撮影装置、磁気共鳴診断装置、超音波診断装置、内視鏡検査装置

3. 共同利用の病床 5床

### (共同利用に関する庶務)

第3条 本規定の運用に関する庶務及び本規定の運用は、医療相談センター内の地域医療連携室（以下、「地域医療連携室」という）が担当する。

### (共同利用の申込)

第4条 共同利用を希望するときは、事前に「地域医療連携室」に申込み、病院長の許可を得るものとする。

### (その他)

第5条 その他、共同利用について必要な事項は地域医療連携室で協議し、地域医療支援病院運営委員会に諮る。

附則 この規定は、平成22年7月20日より実施する。

# 登録紹介医リスト

医療機関名	医師名	住所	主たる診療科
⑦ あいクリニック平尾	宮本 謙一	東京都稲城市平尾3-7-45-3111M1F	訪問診療 呼吸器内科
あい歯科クリニック	飯野 真樹	川崎市多摩区登戸2684-2 2F	歯科
アオキ歯科クリニック	青木 美喜夫	川崎市多摩区西生田3-7-22登坂ビル2F	歯科
青野診療所	青野 治朗	川崎市宮前区鷺沼1-11-6-406	内科 老年内科 循環器内科 消化器内科 老年精神科 皮膚科 整形外科
あおぼ内科クリニック	難波 康夫	川崎市高津区梶ヶ谷6-2-8	内科 呼吸器科 循環器科 アレルギー科
あおやぎ形成外科・皮フ科クリニック	青柳 和也	東京都狛江市元和泉1-4-47エントナ狛江2階	形成外科 皮膚科 美容外科
あおやぎ内科循環器クリニック	青柳 昭彦	川崎市宮前区菅生2-1-9	内科 循環器内科
秋山医院	秋山 寅	狛江市岩戸南2-11-9	内科 小児科
秋山歯科医院	秋山 賢一	川崎市多摩区三田1-10-10	歯科
あさい内科医院	浅井 洋貴	川崎市多摩区登戸538	内科 消化器内科
あさおクリニック	前波 輝彦	川崎市麻生区万福寺1-8-10第一優ビル	内科
あさお診療所		川崎市麻生区上麻生2-1-10	内科 小児科
あさお整形外科	香川 晃太郎	川崎市麻生区金程1-34-10	整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
あさお・百合クリニック	佐野 順子	川崎市麻生区虹ヶ丘1-10-1	内科
足立内科医院	足立 久信	世田谷区世田谷3-24-13	内科 小児科 レントゲン科
あなたのクリニック三島	小林 秀俊	静岡県三島市寿町2-16あなたのビル4F	内科 糖尿病内科
あべ内科クリニック	安部 徹	稲城市東長沼3107-1 2F	内科 消化器内科 小児科 皮膚科
アリーナ歯科クリニック	四戸 康隆	川崎市多摩区生田7-7-3-2F	歯科
有馬病院	伊東 信四郎	川崎市宮前区有馬3-10-7	外科
あ・ん・ど・うクリニック	安藤 裕康	世田谷区成城6-10-5 2F	内科 循環器内科
あんどろ眼鏡向ヶ丘遊園クリニック	安藤 一郎	川崎市多摩区登戸2130-27トラスター向ヶ丘遊園	眼科
安藤歯科医院	安藤 優	川崎市麻生区片平2-6-23	歯科 口腔外科
飯島歯科医院	飯島 一宏	川崎市多摩区登戸2158	歯科
イカリクリニック	猪狩 次郎	東京都調布市入間町3-9-23	
生田駅前歯科クリニック	大西 千英	川崎市多摩区生田7-9-3-1F	歯科
生田クリニック	内田 善敬	川崎市多摩区三田1-14-1	外科 胃腸内科 内科 皮膚泌尿器科 整形外科
生田クリニック	内田 敬之	川崎市多摩区三田1-14-1	消化器内科
井口歯科	井口 雅夫	神奈川県川崎市多摩区生田1-10-17	歯科
池内クリニック	池内 孝夫	川崎市麻生区栗平2-1-6	内科 消化器科
池田小児科医院	神吉 耕三	川崎市多摩区中野島3-15-15	小児科
石井歯科医院	石井 洋行	川崎市多摩区中野島3-14-37	歯科
いしだクリニック	石田 和彦	川崎市麻生区百合丘2-7-1	脳神経外科 整形外科 内科 リハビリ科
石田整形外科	石田 保夫	川崎市多摩区栗谷3-1-6	整形外科
いしだ内科外科クリニック	石田 孝雄	川崎市宮前区平4-4-1	内科 外科 消化器内科 皮膚科
和泉多摩川クリニック	喜多島 聡	狛江市東和泉3-3-9メゾン和泉多摩川1F	消化器内科 内科
和泉多摩川クリニック	喜多島 喜枝子	狛江市東和泉3-3-9メゾン和泉多摩川1F	内科
石戸谷小児科	石戸谷 尚子	狛江市中和泉1-1-1狛江YSビル4F	小児科
石原内科医院	石原 浩	川崎市多摩区宿河原3-10-3セルシオITO	内科 循環器科 消化器科
いずみ泌尿器科皮フ科	泉 博一	川崎市高津区千年301-17ランドコスモス千歳203	泌尿器科 皮膚科
一伸歯科医院	菊池 伸一	川崎市多摩区登戸3-402	歯科
一の橋内科皮フ科	萬納寺 栄一	狛江市岩戸南1-4-11	内科 循環器 胃 外科 皮膚科
伊藤医院	伊藤 幸雄	川崎市高津区久末1894	内科
伊藤医院	伊藤 達也	川崎市高津区久末1894	内科
いとう歯科医院	伊藤 準之助	川崎市高津区下作延6-4-10	歯科 口腔外科 小児科 矯正歯科
伊藤耳鼻咽喉科クリニック	伊藤 博喜	川崎市多摩区西生田3-9-3クレア読売ランド前	耳鼻咽喉科
稲城癒しの森内科クリニック	香川 昇	東京都稲城市大丸936-1	内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科
稲城診療所	岩田 章孝	東京都稲城市大丸118-1階	小児科 内科
稲城腎・内科クリニック	力石 昭宏	稲城市東長沼3106-1 1F	内科 腎臓内科
稲城わかばクリニック	関根 秀明	稲城市百村1604-7	内科 呼吸器内科 アレルギー科 小児科
稲田歯科医院	稲田 貴久	川崎市多摩区菅1-3-15-201	歯科
稲田小児科医院	大出 集	川崎市多摩区菅北浦2-2-24	小児科 アレルギー科
稲田堤駅前神経外科内科クリニック	荘司 光彦	川崎市多摩区菅稲田堤1-17-28-201	脳神経外科 内科 小児科 皮膚科
稲田堤メディカルクリニック	安彦 篤	川崎市多摩区菅2-15-5	内科 消化器内科 外科 肛門科
稲田堤メンタルクリニック	足立 淳	川崎市多摩区菅稲田堤1-17-28-204	精神科

稲田登戸クリニック	松本 秀平	川崎市多摩区菅北浦4-3-1	オークヒルズ10内科
いぬくら内科医院	島田 貴	川崎市宮前区犬蔵1-9-45	内科 循環器科 呼吸器科 アレルギー科
井上医院	井上 安子	川崎市麻生区白鳥3-6-12	内科 皮膚科 麻酔科
井上医院	井上 奈津彦	川崎市多摩区宿河原4-25-2	皮膚科
井上医院	井上 久美子	川崎市多摩区宿河原4-25-2	産婦人科
岩城整形外科	岩城 裕	川崎市多摩区菅1-5-15	整形外科 理学診療科(リハビリテーション科)
植木歯科	植木 博章	川崎市多摩区西生田2-4-20	歯科
上野眼科	上野 宏樹	川崎市多摩区南生田4-20-2	眼科
薄井胃腸科外科	薄井 武人	川崎市宮前区有馬1-1-18	胃腸科 外科 肛門科 皮膚科
内田医院	内田 健夫	川崎市麻生区百合丘1-2-1	外科 麻酔科 皮膚科
内田医院	内田 光枝	川崎市麻生区百合丘1-2-1	内科
内田内科	内田 和仁	川崎市高津区久地4-24-30グリーンスクウエ	内科 呼吸器科 アレルギー科
永研会クリニック	羽田 哲也	調布市仙川町1-11-8仙川F Tビル	内科 整形外科 リハビリ 形成外科 皮膚科
エンタニ歯科医院	圓谷 達朗	川崎市多摩区栗谷3-1-1井田ビル206	歯科
遠藤歯科クリニック	遠藤 慶一	川崎市高津区溝口1-20-8第2多田ビル1F	歯科
王禅寺公園クリニック	中原 広明	川崎市麻生区王禅寺西3-27-7	内科 神経内科 糖尿科 眼科
王禅寺歯科クリニック	三橋 健一郎	川崎市麻生区上麻生4-15-1山口台ビル4F	一般歯科 インプラント 審美歯科 予防歯科 訪問歯科
おおかめ歯科クリニック	大亀 泰久	川崎市多摩区菅1-2-317°ササクレイト202-A	一般歯科 小児歯科 矯正歯科
大串整形外科	大串 一彦	川崎市多摩区登戸1801-1瑞穂第一ビル 2F	整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
大久保歯科医院	大久保 雅嗣	川崎市高津区久地4-24-30 2F	歯科
大倉消化器科外科クリニック	大倉 聡	川崎市多摩区菅仙谷4-1-5	消化器科 胃腸科 外科 肛門科
おおしま喜多見駅前医院	大島 幸吉郎	世田谷区喜多見9-2-21	整形外科 リハビリテーション科 脳神経外科 リ マチ科
おおたけファミリークリニック	大竹 普	川崎市宮前区平1-1-4平橋クリニックガーデン	内科 循環器内科 小児科
おおぼ歯科クリニック	大場 晴一	川崎市多摩区宿河原3-12-6	歯科
おおぼ内科クリニック	大庭 治雄	川崎市宮前区土橋3-3-1ドゥーエ・アスレテ	内科 循環器内科 呼吸器内科 アレルギー科
大森医院	石川 信子	川崎市多摩区南生田7-20-21	小児科 内科
岡崎医院	岡崎 武臣	川崎市麻生区王禅寺東2-13-1	内科 胃腸科
岡崎医院	岡崎 貴美子	川崎市麻生区王禅寺東2-13-1	小児科
岡野内科医院	岡野 敏明	川崎市多摩区登戸1737	内科 小児科 消化器内科
岡野内科医院	岡野 七重	川崎市多摩区登戸1737	内科 小児科 消化器内科
おぎもと内科クリニック	荻本 剛一	調布市国領町2-13-8	内科
おくせ医院	奥瀬 紀晃	川崎市中原区上小田中1-26-1	内科 消化器内科 循環器内科
小澤歯科医院	小澤 正人	川崎市多摩区生田7-2-1	歯科一般
小田嶋歯科医院	小田嶋 千里	川崎市多摩区宿河原3-3-7伊東ビル2階	歯科
小野歯科	小野 正道	川崎市多摩区生田7-11-8	歯科口腔外科
小野田医院	小野田 昌一	川崎市宮前区馬絹6-22-14	外科 胃腸科 内科
小幡医院	小幡 知行	狛江市猪方3-23-1	
おばた小児クリニック	小幡 俊彦	川崎市麻生区千代ヶ丘4-13-12	小アレルギー
オーブ歯科	片瀬 洋	川崎市多摩区登戸1870PROSPER向ヶ丘101	歯科 矯正歯科 小児歯科 口腔外科
④ ガイアクリスタルクリニック	水間 哲郎	川崎市麻生区万福寺1-7-1TWビル2F	精神科内科
かえでファミリークリニック	櫛笥 永晴	川崎市多摩区長尾5-2-2-101	内科 小児科
かきお駅前さいとうクリニック	齋藤 光代	川崎市麻生区上麻生6-39-35	内科 呼吸器科 皮膚科 アレルギー科
柿生眼科	久城 初江	川崎市麻生区上麻生1-20-1小田急アコルゲ新百	眼科
柿生内科クリニック	菅田 文彦	川崎市麻生区上麻生5-38-10	内科 リウマチ科 リハビリテーション科
かさい歯科医院	河西 衛司	川崎市麻生区下麻生3-19-22エトワール柿生	歯科 小児歯科 矯正歯科 歯科口腔外科
葛西皮膚科医院	葛西 庸子	川崎市麻生区王禅寺東4-13-5	皮膚科
梶ヶ谷クリニック	羽生 仁	川崎市高津区末長1-23-17	内科 小児科 消化器科 内視鏡科 整形外科
かじわら内科泌尿器科クリニック	梶原 隆広	稲城市矢野口1541 1F	内科 泌尿器科 小児科 皮膚科
かじわらハートクリニック	梶原 秀俊	狛江市中和泉5-17-27-101	循環器内科 呼吸器内科 内科
かじもと整形外科	梶本 陽司	川崎市多摩区宿河原4-28-8エスタリアル宿河原1F	整形外科 麻酔科 リウマチ科 リハビリテーション科
柏田内科クリニック	柏田 和子	狛江市西野川1-15-19	内科 小児科 循環器
かとうクリニック	加藤 一彦	狛江市中和泉1-1-1狛江Y S ビル4F	内科 外科 消化器科
加藤歯科医院	加藤 昌美	川崎市多摩区三田4-5546	歯科
神奈川ひまわりクリニック	小野 龍太	川崎市宮前区宮前平3-3-26	内科 皮膚科 アレルギー科
かねこクリニック	金子 光延	川崎市宮前区馬絹1172-2	小児科 内科
かねこ眼科クリニック	金子 敏雄	川崎市麻生区王禅寺東3-26-6王禅寺メディア	眼科
鎌田クリニック	鎌田 正広	川崎市宮前区平2-11-3Y O Uビル 1階	内科 呼吸器内科 アレルギー科
上麻生内科	小関 新	川崎市麻生区上麻生2-11-21	内科
かやま眼科クリニック	嘉山 尚幸	川崎市高津区末長1-9-1カヤマ梶ヶ谷MALI	眼科
川崎市西部地域療育センター診療所	田野 稔郎	川崎市宮前区平2-6-1	精神科 神経小児科 整形外科 リハビリテーション科 耳鼻咽喉科
川崎北部在宅診療所	肌附 英幸	横浜市青葉区美しが丘西3-64-13	内科 精神科

カワシマ歯科医院  
川本整形外科  
菊池歯科医院  
岸歯科医院  
岸内科胃腸科医院  
岸内科胃腸科医院  
岸本歯科医院  
きしろメンタルクリニック  
きたじま内科・脳神経クリニック  
北浜こどもクリニック  
喜多見東山クリニック  
木下耳鼻咽喉科医院  
木村耳鼻咽喉科  
木山医院  
くさか整形外科クリニック  
くじこどもクリニック  
久地さとう医院  
久地歯科  
久地診療所  
国島医院  
堤田医院  
窪田医院  
久保田診療所  
久保田診療所  
くまざわ整形外科クリニック  
公文内科クリニック  
クラ矯正歯科クリニック  
くりう内科クリニック  
栗木台かわぐちクリニック  
クリニックのびのびキッズピア  
黒岩歯科医院  
K S Pクリニック  
Kークリニック  
恵泉クリニック  
小泉整形外科医院  
高クリニック  
こう内科クリニック  
コクボ診療所  
LOGO歯科クリニック  
こしじまクリニック  
小柴歯科医院  
五所塚診療所  
こすぎ駅前クリニック  
ことぶきクリニック  
こにし・もりざね眼科  
小林内科医院  
小林外科胃腸科  
小林外科胃腸科  
小林外科胃腸科  
コハル内科  
こまえ耳鼻科クリニック  
近藤歯科  
⊕ 在宅医療支援クリニック かえでの園 たま・かわさき  
斉藤歯科医院  
斎藤内科医院  
栄耳鼻咽喉科クリニック  
さかね内科クリニック  
鷺沼診療所  
作間歯科  
佐久間耳鼻咽喉科クリニック  
さくらい歯科

川島 和夫  
川本 守  
菊池 典男  
岸 高生  
岸 忠宏  
塩田 香  
岸本 七重  
木代 眞樹  
北島 和人  
北浜 直  
茅野 浩子  
木下 俊之  
木村 元俊  
木山 博夫  
日下 達夫  
丸山 啓子  
佐藤 浩則  
田川 義展  
喜瀬 守人  
國島 友之  
田中 美砂子  
永山 千絵子  
久保田 風生  
久保田 雅久  
熊澤 祐輔  
公文 通夫  
蔵 真由美  
栗生 和幸  
川口 文夫  
山本 弘子  
黒岩 良夫  
前田 壽哉  
河上 哲  
太田 祥一  
小泉 孝夫  
高 慎太郎  
洪 基哲  
国保 久光  
山本 郷  
越島 謙次郎  
小柴 博人  
浜島 秀典  
宮脇 誠  
前田 壽哉  
小西 美奈子  
小林 明文  
小林 達哉  
小林 美奈子  
小林 美弥子  
鈴木 春彦  
小林 健彦  
近藤 猛  
宮本 謙一  
斉藤 善司  
齋藤 茂治  
木村 栄成  
坂根 健志  
行形 毅  
作間 敏信  
佐久間 惇  
櫻井 章

川崎市多摩区登戸1803たけやビル1F  
川崎市宮前区宮前平2-1-3  
川崎市多摩区枳形2-24-9  
川崎市麻生区高石1-2-10  
川崎市多摩区西生田2-2-5  
川崎市多摩区西生田2-2-5  
川崎市宮前区平2-4-10山田ビル3F  
川崎市多摩区登戸2710-6第2ネスト向ヶ丘1  
川崎市宮前区東有馬5-1-2ガレ'イカブ'ラダ'東有  
川崎市高津区下作延3-3-10-2F  
東京都世田谷区喜多見9-10-3  
川崎市高津区下作延1911-5  
川崎市多摩区中野島6-26-1フジヨシハイム2  
川崎市宮前区けやき平8-1  
川崎市宮前区平1-1-4平橋クリニックガーデン  
川崎市高津区久地4-24-30ガ'リ'ソスクウェア1  
川崎市高津区宇奈根637-5  
神奈川県川崎市多摩区堰3-7-13保谷ビル2階  
川崎市高津区久地4-19-8  
川崎市高津区下作延3-22-7  
川崎市高津区二子5-10-1  
川崎市高津区二子5-10-1  
川崎市多摩区宿河原4-21-23  
川崎市多摩区宿河原4-21-23  
調布市下石原2-32-2 さわやMBC 1F  
川崎市多摩区登戸1792-2アムクレスト向ヶ丘F  
川崎市多摩区登戸新町101  
川崎市宮前区神木2-2-1宮崎台メディカルブ  
川崎市麻生区栗木台1-2-3  
川崎市宮前区宮前平2-15-3ダイチビル201  
川崎市多摩区登戸2501  
川崎市高津区坂戸3-2-1K S Pビル西503  
川崎市宮前区宮前平2-1-6  
東京都世田谷区上祖師谷1-35-15シオン山  
世田谷区宇奈根3-13-21  
東京都稲城市平尾1-54-20  
川崎市多摩区登戸2766-5SKビル1F  
川崎市多摩区長尾7-3-9  
川崎市多摩区中野島3-15-40  
狛江市岩戸北3-12-13-101  
川崎市高津区上作延485-7三田ビル1F  
川崎市宮前区五所塚1-21-4  
川崎市中原区新丸子東2-925  
川崎市多摩区菅仙谷4-1-5  
川崎市麻生区上麻生1-3-2巻番館ビル7F  
川崎市麻生区上麻生1-9-10  
川崎市宮前区神木本町2-2-17  
川崎市宮前区神木本町2-2-17  
川崎市宮前区神木本町2-2-17  
川崎市多摩区菅4-1-1-1コントライ10  
狛江市中和泉5-1-1  
川崎市多摩区登戸2043-3F  
川崎市多摩区三田1-8-9-106号  
川崎市高津区二子2-8-10  
川崎市麻生区上麻生3-13-1-912  
東京都稲城市百村1624-1  
川崎市中原区宮内2-12-1  
川崎市宮前区有馬1-22-16  
川崎市高津区溝口1-11-2  
川崎市宮前区菅生2-1-6日向園ビル1階  
川崎多摩区登戸2102-1 第2井上ビル2F

歯科 小児歯科 口腔外科  
整形外科 リハビリテーション科  
歯科  
一般歯科 小児歯科 矯正歯科  
内科 消化器内科 呼吸器内科 循環器内科  
内科 消化器内科 呼吸器内科 循環器内科  
一般 小児歯科  
心療内科 精神科  
内科 神経内科 リハビリテーション科  
小児科 アレルギー科 予防接種  
血液透析内科  
耳鼻咽喉科  
耳鼻咽喉科  
整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科  
小児科  
内科 脳神経内科 皮膚科  
歯科一般 口腔外科 矯正歯科  
内科 小児科 整形外科 婦人科  
内科 循環器科 胃腸科 呼吸器科 小児科  
内科 小児科 (循環器 糖尿病 代謝)  
内科 小児科 (循環器 糖尿病 代謝)  
小児科 内科 アレルギー科  
内科 胃腸科  
整形外科  
内科 呼吸器科  
矯正歯科  
内科 呼吸器内科 循環器内科 アレルギー科  
内科 小児科 外科 小児外科  
小児科 アレルギー科  
歯科  
泌尿器科 内科  
訪問在宅診療 総合診療 整形外科 心療内科  
整形外科  
内科 小児科  
内科 循環器科 呼吸器科  
神経内科  
小児歯科 矯正歯科 歯科口腔外科  
内科 小児科  
歯科一般 小児歯科  
内科 小児科  
内科 消化器内科  
内科 老年内科  
眼科  
内科 小児科  
外科 胃腸科 皮膚科 内科 放射線科  
外科 胃腸科 皮膚科 内科 放射線科  
外科 胃腸科 皮膚科 内科 放射線科  
内科 アレルギー科  
耳鼻咽喉科  
一般外科 矯正歯科 口腔外科  
内科 緩和ケア科  
歯科 小児歯科  
内科  
耳鼻咽喉科  
内科 循環器内科 呼吸器内科  
内科 皮膚科 泌尿器科  
歯科  
耳鼻咽喉科  
一般歯科 審美歯科 口腔外科

桜クリニック	岡野 公一	川崎市多摩区登戸3292グランシャリオ1F	内科 小児科
桜クリニック	岡野 晶子	川崎市多摩区登戸3292グランシャリオ1F	内科 小児科
ささき歯科クリニック	佐々木 信行	川崎市多摩区菅2-10-23-3F	歯科
ささき腎泌尿器クリニック	佐々木 秀郎	川崎市多摩区登戸2566-1	泌尿器
佐藤診療所	阿部 健二	狛江市東和泉1-3-14	内科 小児科
里村整形外科	里村 俊彰	川崎市宮前区有馬4-12-14	整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
さるや歯科医院	藤本 記代	川崎市高津区溝口3-10-38 2F	一般歯科 小児歯科
猿谷耳鼻咽喉科医院	猿谷 昌司	川崎市高津区溝口3-10-38	耳鼻咽喉科
シイヤ歯科	糟谷 行義	川崎市多摩区登戸3175	歯科
潮見台植木クリニック	植木 茂年	川崎市宮前区潮見台6-7グリーンヒルズ潮見	脳神経外科 内科 小児科
歯科林医院	林 泰宏	川崎市多摩区菅1-2-28	一般歯科
ししどファミリー歯科 稲田堤駅前	宍戸 孝太郎	川崎市多摩区菅2-2-35ルミエール安田1階	歯科
しのづか眼科	篠塚 康英	稲城市矢野口380-2-103	眼科
柴本内科	柴本 昌昭	世田谷区八幡山3-32-25	内科 循環器科 小児科
嶋崎内科医院	嶋崎 美奈子	川崎市麻生区千代ヶ丘8-1-1	内科
嶋崎内科医院	滝田 孝之	川崎市麻生区千代ヶ丘8-1-1	内科
清水小児科クリニック	清水 晃	川崎市多摩区菅6-13-20	小児科
しもやまこどもクリニック	下山 丈紀	川崎市麻生区百合丘1-5-4米山ビル1F	小児科
白岩耳鼻咽喉科医院	白岩 恒男	川崎市多摩区登戸1917第5井出ビル	耳鼻咽喉科
しんたに耳鼻咽喉科クリニック	新谷 敏晴	川崎市多摩区登戸3356-1ルークス2F	耳鼻咽喉科
神保クリニック小児科	神保 修	狛江市和泉本町1-2-13	小児科 内科
新ゆり大塚レディースクリニック	大塚 博光	川崎市麻生区上麻生1-3-4WAKAビル6F	産婦人科
新百合ヶ丘池内クリニック	池内 信人	神奈川県川崎市麻生区万福寺1-1-2シテイモール4	内科 消化器内科
新百合ヶ丘ステーションクリニック	高橋 啓泰	川崎市麻生区上麻生1-20-1小田急アコガテ新百合ヶ丘5F	内科 婦人科
新百合ヶ丘龍クリニック	龍 誠之助	川崎市麻生区古沢7	内科 小児科
新百合ヶ丘龍クリニック	龍 綾子	川崎市麻生区古沢7	小児科
新ゆりクリニック	小野田 肇	川崎市麻生区万福寺1-8-7	内科 胃腸科 外科 整形外科
新ゆり整形外科	野崎 博之	川崎市麻生区上麻生1-3-5	整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
新ゆり武内クリニック	武内 宏之	川崎市麻生区上麻生1-3-5ドレイクビル5F	泌尿器科 性病科 内科
新ゆり内科	高橋 央	川崎市麻生区王禅寺西4-3-8	内科 感染症内科
新百合山手ファースト歯科	永田 達也	川崎市麻生区万福寺3-1-1	歯科 口腔外科 矯正歯科
新百合山手福本内科	福本 学	川崎市麻生区万福寺6-7-2メディカルモリノ	内科
菅野耳鼻咽喉科	菅野 澄雄	川崎市宮前区東有馬3-5-29KUMANOビル1階	耳鼻咽喉科
菅野耳鼻咽喉科	黒田 寿史	川崎市宮前区東有馬3-5-29KUMANOビル1階	耳鼻咽喉科
杉医院	杉 俊二	川崎市多摩区中野島2-7-12	産科 婦人科
すこやかこどもクリニック	小野木 恵子	川崎市麻生区白鳥3-5-2ガーデンヒルズ白鳥	小児科
鈴木産婦人科	鈴木 真	川崎市多摩区登戸3355	産婦人科
鈴木耳鼻咽喉科医院	鈴木 毅	川崎市麻生区上麻生5-38-5	耳鼻咽喉科
鈴木歯科医院	鈴木 忠人	川崎市多摩区西生田1-8-1-201	歯科
鈴木内科医院	鈴木 雅之	川崎市多摩区登戸新町188	内科 消化器科
すずき内科クリニック	鈴木 健吾	川崎市多摩区登戸2130-27トラスター向ヶ丘遊園	内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科
須田メディカルクリニック	須田 直史	川崎市多摩区南生田4-20-2	内科 消化器内科 (内視鏡科) 大腸肛門外科
スマイルデンタルクリニック 堤ヶ谷	小泉 憲弘	川崎市高津区下作延4-27-10 1F	歯科
住永クリニック	住永 雅司	川崎市高津区溝口2-6-26アズマヤ栄橋ビル	内科 人工透析
成城内科	野村 明	世田谷区成城6-22-3	内科
清泉メディカルクリニック	野口 淳	世田谷区代沢2-36-30-3F	訪問診療
清泉メディカルクリニック	本村 知一郎	世田谷区代沢2-36-30-3F	訪問診療
関口内科医院	関口 信哉	川崎市多摩区菅2-8-27第1平山ビル1階	内科・婦・泌尿器・呼吸器内科
センタービル歯科医院	南 裕之	川崎市高津区久地4-24-5	歯科
セントラル整形外科	笹尾 三郎	川崎市麻生区万福寺1-1-2シテイモール4階	整形外科
ソフトタウン歯科医院	磯村 富蔵	川崎市多摩区三田1-13-1-103	歯科
そめや内科クリニック	染谷 貴志	川崎市高津区末長45-1	内科 消化器科
⑤ 高倉内科クリニック	高倉 英典	世田谷区喜多見9-1-7-2F	消化器内科 循環器科
たかはしクリニック	高橋 俊光	川崎市宮前区宮崎2-13-1ドンジョン宮崎台1階	
高橋クリニック	高橋 章	川崎市多摩区堰3-5-14	外科 小児外科 整形外科 内科
高橋内科医院	高橋 重人	川崎市高津区諏訪1-9-1諏訪平巻番館101	内科 リウマチ科 アレルギー科
たくこどもクリニック	橋本 卓史	川崎市麻生区上麻生5-6-18-201	小児科
武井クリニック	武井 裕	川崎市高津区下作延2-7-26-101	内科 循環器科 心臓血管外科 外科
たけもとレディースクリニック	竹本 由美	川崎市多摩区登戸2566-1クランリュウ登戸302	産婦人科
たけやま呼吸器・内科クリニック	武山 廉	川崎市多摩区登戸2427-5-3F	呼吸器内科 内科 アレルギー科
たちばな耳鼻咽喉科	橋 伸哉	川崎市多摩区登戸2130-27トラスター向ヶ丘遊園	耳鼻咽喉科



田中クリニック  
谷平医院  
たま稲田堤眼科  
玉城歯科医院  
多摩クリニック  
多摩クリニック  
タマ歯科  
たま耳鼻咽喉科  
多摩脳神経外科  
多摩泌尿器科クリニック  
たま皮フ科  
多摩ファミリークリニック  
たまふれあいクリニック  
地域ケアこころの診療所  
ちとせクリニック  
千年診療所  
千谷歯科医院  
調布沼江ファミリークリニック  
塚本医院  
つかもと整形外科醫院  
つじこどもクリニック  
つじ内科クリニック  
津田整形外科  
津田山クリニック  
土屋医院  
つちや内科・循環器内科  
堤耳鼻咽喉科  
椿クリニック  
鶴田歯科医院  
つるや内科クリニック  
出川眼科  
手塚歯科医院  
てづか内科・循環器クリニック  
てるた歯科クリニック  
田園都市クリニック  
田園都市道の口 つつじ内科クリニック  
田園二子クリニック  
土井医院  
東京医院  
東横恵愛病院  
トータス往診クリニック  
土橋クリニック  
ともクリニック  
ともこ皮ふ科  
豊田クリニック  
ないとう歯科医院  
永井歯科医院  
なかお内科クリニック  
中込内科クリニック  
中島医院  
永島歯科医院  
長瀬クリニック  
(中野島北口) ニガワクリニック  
中野島歯科医院  
中野島小児科クリニック  
中野島診療所  
中野島たきぐち耳鼻咽喉科  
中野島糖尿病クリニック  
長峰クリニック  
長峰クリニック  
中村医院

田中 柳水  
谷平 茂  
棚橋 玲子  
玉城 恒  
桜井 端彦  
桜井 淳  
大嶋 基司  
及川 貴生  
諫山 和男  
野村 榮  
村上 正之  
大橋 博樹  
鈴木 忠  
武田 充弘  
金井 文彦  
大関 一郎  
千谷 康世  
松浦 秀憲  
塚本 房江  
塚本 理一郎  
辻 志穂  
辻 正人  
津田 敦彦  
横山 護  
土屋 広明  
土屋 勝彦  
堤 康一朗  
野中 勇志  
鶴田 達郎  
鶴谷 孝  
出川 慎之  
手塚 貴信  
手塚 尚紀  
城田 照太  
横田 雅史  
竹野 景海  
山岡 桂太  
土井 義之  
佐々木 健一  
西本 雅彦  
大橋 晃太  
土橋 雄二  
鈴木 知子  
大塚 知子  
豊田 博史  
内藤 仁司  
永井 春樹  
中尾 裕  
中込 健郎  
中島 太一郎  
永島 久美子  
長瀬 良彦  
古河 哲哉  
米山 慶  
池上 香  
高橋 伸之  
滝口 修平  
大津 成之  
武井 滋  
武井 牧子  
中村 全

川崎市高津区東野川2-36-5久末マ'イビル'レックス脳整リハ  
東京都稲城市矢野口277-2 整形外科 形成外科 内科 リハビリ科  
川崎市多摩区菅1-2-31プラザクリエイト103眼科  
川崎市高津区二子5-2-5井上ビル2F 歯科  
川崎市多摩区布田2-24 内科  
川崎市多摩区布田2-24 内科  
川崎市多摩区菅稲田堤1-13-25 一般歯科  
川崎市多摩区登戸1842 1F 耳鼻咽喉科  
川崎市多摩区登戸1654 脳神経外科  
川崎市多摩区登戸3056ライフビューア手塚B 泌尿器科  
川崎市多摩区栗谷3-1-1井田ビル208 皮膚科  
川崎市多摩区登戸新町337エニービル1F 内科 小児科 外科  
川崎市多摩区枅形2-24-6エスエフ'アザ'枅形101 訪問診療(内科 精神科)  
東京都世田谷区砧8-5-18砧シヨ'ビル'202 精神科 心療内科  
東京都世田谷区南島山4-9-14南島山ビル1F 訪問診療  
川崎市高津区千年新町29-5 内科 胃腸内科 呼吸器内科  
川崎市多摩区菅1-4-5野村ビル2F 歯科  
東京都狛江市岩戸北2-12-12 内科 リハビリテーション科  
川崎市麻生区栗木台2-15-5 内科(糖尿病)  
東京都世田谷区千歳台2-14-7千歳クリニックビル2 整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科  
東京都世田谷区砧6-33-5 2階 小児科 小児外科  
川崎市多摩区菅仙谷4-1-5 内科 循環器科  
調布市国領2-13-5 内科 外科  
川崎市高津区下作延1910 内科 胃腸科 循環器科 外科 小児科  
川崎市多摩区南生田1-12-2 内科 循環器内科  
川崎市中原区上小田中5-2-7ク'レシア'武蔵中 耳鼻咽喉科  
東京都中野区本町2-42-15 訪問診療  
川崎市高津区下作延2-4-6溝口鈴木歯科ビル 訪問診療  
川崎市麻生区白山4-1-1 内科 消化器科 肝臓科  
川崎市高津区久本1-6-5 眼科  
東京都稲城市東長沼800-1 歯科  
川崎市多摩区長沢4-2-9'グ'リン'ハ'レ'松澤206号 歯科  
川崎市多摩区菅1-5-12エピ'ドール'稲田堤1A 歯科 小児歯科  
川崎市多摩区西生田4-12-1 内科 糖尿病内科 呼吸器科 アレルギー科  
川崎市宮前区鷺沼1-22-7カー'サ'エステレー' 内科 糖尿病内科 代謝内分泌内科  
川崎市高津区新作3-1-4 内科 整形外科 皮膚科 (訪問診療)  
川崎市高津区二子5-8-1第3井上ビル2階1号室 内科 呼吸器科 消化器科  
川崎市多摩区菅北浦4-11-25 漢方内科 整形外科 内科 皮膚科  
川崎市宮前区小台2-6-2ラ'ポ'ール'宮前平3F 精神科 内科  
川崎市宮前区有馬4-17-23 訪問診療  
東京都狛江市岩戸南4-22-7-102 内科 産科 整形外科 婦人科  
世田谷区祖師谷4-23-18 内科  
川崎市麻生区上麻生5-6-8 皮膚科  
川崎市多摩区菅仙谷4-1-5 小児科 内科  
川崎市多摩区登戸3200 産科  
川崎市多摩区西生田4-1-4 2F 産科  
川崎市多摩区菅馬場2-26-5 産科  
東京都稲城市東長沼3107-4京王リ'ット'稲城3 内科 消化器内科 内視鏡内科  
川崎市多摩区生田7-2-13SKビル2F 内科 消化器科 糖尿病  
世田谷区大原2-16-7 1F 内科  
川崎市麻生区千代ヶ'丘'2-4-12 内科 消化器内科 肝臓内科 内視鏡内科  
川崎市高津区下作延3-3-10スル'バリ'エ'棍'ヶ' 内科 消化器科  
川崎市多摩区中野島6-26-2 2F 内科 消化器科  
川崎市多摩区中野島3-14-1イ'グ'レ'ック'2'F' 産科 小児歯科  
川崎市多摩区中野島6-22-9 小児科  
川崎市多摩区中野島4-9-1 内科 小児科 皮膚科 整形外科 精神科  
川崎市多摩区中野島3-13-8 耳鼻咽喉科  
川崎市多摩区中野島1-9-2チャ'コ'BLDGII 糖尿病内科 内科  
東京都稲城市長峰2-2-2 内科 アレルギー科  
東京都稲城市長峰2-2-2 小児科 アレルギー科  
川崎市多摩区登戸新町358-1 内科 消化器科

中村クリニック	中村 健	川崎市多摩区生田6-6-5カ-ビル 11F	内科 外科
なかむらこどもクリニック	中村 俊紀	川崎市多摩区登戸2428番地Noborito Gate Building4階	小児科 アレルギー科
中村歯科医院	中村 吉宏	川崎市多摩区登戸新町365-2	歯科 小児歯科
なでしこ耳鼻咽喉科	葵澤 えり子	世田谷区千歳台5-18-10-1F	耳鼻咽喉科
にじいろ子どもクリニック	瀧山 亮平	神奈川県川崎市麻生区万福寺1-1-2シティモール4	小児科
西根医院	西根 晃	川崎市多摩区枳形1-8-38	内科
西村クリニック	西村 真	川崎市多摩区菅2-4-2-202	内科 胃腸科 外科 肛門科 整形外科 皮膚科
日本橋かきがら町クリニック	松尾 準雄	中央区日本橋蛸薬町1-10-4宮田ビル2F	内科 老年内科 循環器内科 消化器内科 老年精神科 皮膚科 小児科
根岸耳鼻咽喉科医院	根岸 達郎	川崎市宮前区宮前平2-1-5	耳鼻咽喉科
のぼりとキッズクリニック	武藤 淳一	川崎市多摩区登戸2566-1イル・マーレ3F	小児科 アレルギー科
登戸クリニック	友廣 忠寿	川崎市多摩区登戸2569田中ヒマワリビル1F	内科
登戸歯科医院	小林 伸	川崎市多摩区登戸2262-201	歯科
登戸内科・脳神経クリニック	加茂 力	川崎市多摩区登戸新町434	内科 神経内科 循環器内科 リハビリテーション科
登戸なかにたに消化器・糖尿病内科	中谷 行宏	川崎市多摩区登戸2565-1イル・マーレ2F	消化器内科 内臓臓内科 糖尿病内科 内科
登戸きむら皮フ科クリニック	木村 聡子	川崎市多摩区登戸3356-1ルークス1F-A	皮膚科
登戸ハナミズキ内科	根本 憲一	川崎市多摩区登戸2428登戸ゲートビルディング4F	内科 糖尿病内科
野村眼科	野村 征敬	川崎市麻生区上麻生1-4-1小田急新百合ヶ丘エポックビル6F	眼科
① はじかの医院	初鹿野 誠彦	川崎市高津区北見方3-6-35-A	内科 小児科
花村歯科医院	花村 裕之	川崎市高津区下作延3-16-26	歯科
原医院	原 亨	川崎市宮前区宮崎2-10-9オーミヤ宮崎台ビル	胃腸(内)科 外科 肛門科 皮膚科
原クリニック	原 俊雄	川崎市宮前区鷺沼4-10-5	内科 消化器科
原クリニック	原 眞由美	川崎市宮前区鷺沼4-10-5	眼科
原島歯科クリニック	原島 大	川崎市多摩区菅5-10-25	歯科
原田内科クリニック	原田 契一	川崎市多摩区西生田4-16-24	内科
はるひ野歯科	中田 伸一	川崎市麻生区はるひ野1-15-1-101	歯科 小児歯科 歯科口腔外科
はるひ野内科クリニック	荒木 康史	川崎市麻生区はるひ野4-4-1はるひ野ビル	内科 循環器内科 呼吸器内科 アレルギー科
林整形外科	林 央介	神奈川県川崎市麻生区百合丘1-5-19	整形外科 リハビリ 皮膚科
東長沼クリニック	中島 一生美	稲城市東長沼1726-16 1F	内科 消化器科 外科 小児科
光中央診療所	小幡 純一	川崎市麻生区万福寺1-8-7	内科 リウマチ科 アレルギー科 小児科
ヒトミ歯科	関矢 徹	川崎市高津区千年2-1	歯科 小児歯科
平井歯科	平井 順	川崎市多摩区中野島6-25-1 第2フジモトビル	歯科
平尾内科クリニック	竹田 有為子	東京都稲城市平尾3-7-26	内科
ひろまつデンタルクリニック	廣松 伸一	神奈川県川崎市多摩区中野島5-2-37	一般歯科 矯正歯科 小児歯科
ひらやま耳鼻咽喉科クリニック	平山 裕	川崎市麻生区万福寺6-7-2メディカルモリノ	耳鼻咽喉科 アレルギー科
ひろわたり眼科	廣渡 崇郎	川崎市麻生区百合丘1-5-1 1階	眼科
ファースト歯科クリニック	松本 高順	川崎市多摩区中野島6-24-18	歯科
ファミリー歯科医院	石川 知治	川崎市高津区上作延490-1	歯科 矯正科 小児歯科
福島内科医院	福島 芳彦	川崎市宮前区宮前平2-19-9	内科 呼吸器 循環器 消化器科
福島内科医院	福島 淑隆	川崎市宮前区宮前平2-19-9	内科 消化器科
福住医院	福住 亮雄	川崎市高津区末長1055-7	整形外科 胃腸内科
福住医院	山口 由太郎	川崎市高津区末長1055-7	脳神経外科
福西内科クリニック	福西 康夫	川崎市高津区東野川1-7-9メディカルクリア野川	脳神経外科
藤井整形外科	藤井 壯一	川崎市多摩区登戸3375-1第2TSSビル2F	整形外科 リハビリテーション科 麻酔科
ふじえ眼科	藤江 敬子	川崎市多摩区中野島3-27-34ビル7番館1	眼科
藤川医院	藤川 雅彦	狛江市和泉本町2-16-5	内科 循環器科
藤木内科医院	藤木 博昭	川崎市麻生区王禅寺東1-9-3	内科
藤田クリニック	藤田 毅	川崎市多摩区中野島3-14-37	内科 胃腸科 外科
ふじなみ歯科医院	藤波 淳	川崎市多摩区菅2-1-1-3F	歯科
藤波歯科医院	藤波 洋	川崎市多摩区登戸83	歯科
藤波歯科クリニック	藤波 一典	川崎市多摩区登戸1845シェモアビル1F	歯科
二子クリニック	山田 恭司	川崎市高津区二子1-11-15	内科 消化器内科 外科 肛門外科
二子玉川齋藤メディカルクリニック	齋藤 賢一	世田谷区玉川2-5-8 齋藤メディカルビル	内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 胃腸内科 アレルギー科 小児循環器内科 脳神経外科 一般外科 美容内科
府中みどりクリニック	青野 嘉道	府中市分橋町1-12-1-101	内科 老年内科 循環器内科 消化器内科 老年精神科 皮膚科 小児科
古畑泌尿器科クリニック	古畑 壮一	横須賀市衣笠栄町1-27花宮ビル2F	
ベルズレディースクリニック	鈴木 由美	川崎市多摩区登戸3351-203	婦人科
保坂産婦人科クリニック	保坂 真	狛江市東和泉1-21-3	産婦人科
本田医院	本田 朱麗	川崎市宮前区白幡台1-7-8	外科 乳腺外科
北部市場クリニック	藤野 喜理子	川崎市宮前区水沢1-1-1川崎市中央卸市場	内科 外科 皮膚科
② 前田医院	前田 暢彦	川崎市多摩区布田10-8	外科 呼吸器科

前原医院	前原 真司	川崎市多摩区菅馬場1-1-27	内科
またい歯科医院	又井 由紀子	川崎市多摩区宿河原6-38-3 1F	歯科
まちだ耳鼻咽喉科	川上 猛敬	東京都町田市木曽西2-17-26 2F	耳鼻咽喉科
松本脳神経外科内科クリニック	松本 正博	狛江市和泉本町1-2-10	
的場歯科医院	的場 利紀	川崎市麻生区王禅寺西7-27-26	
村松小児科医院	村松 芳子	川崎市麻生区王禅寺東3-29-3	小児科
馬目整形外科・内科クリニック	馬目 晃匡	川崎市宮前区野川本町1-3-1	整形外科 内科 リウマチ科 リハビリテーション科
馬目整形外科・内科クリニック	馬目 聖子	川崎市宮前区野川本町1-3-1	内科
ミオ医院	三尾 英之	川崎市麻生区王禅寺東5-1-5	整形外科 リハビリテーション科
水上内科医院	水上 純一	川崎市多摩区西生田3-9-26ミノルビル2F	内科
溝のロクリニック	井出 真弓	川崎市高津区溝口1-12-20ウエストキヤノンビルⅡ-2皮肉科	
溝のロクリニック	井出 肇	川崎市高津区溝口1-12-20ウエストキヤノンビルⅡ-2内科	
溝のロステーションビル歯科	山本 成允	川崎市高津区溝口2-9-26 HARUKA BLDG4階	歯科
みぞのくちファミリークリニック	高木 博	川崎市高津区久本3-14-1-1階	内科 小児科 皮膚科
光永医院	光永 忍	川崎市麻生区百合丘1-2-2	産婦人科 皮膚科
みねき内科クリニック	峯末 仁志	川崎市麻生区東百合ヶ丘2-29-10	内 歯 港
宮川クリニック	宮川 弘一	川崎市高津区諏訪1-3-15	内科
宮崎台クリニック	泉 正紀	川崎市宮前区宮崎3-14-23	内科 循環器内科 呼吸器科内科 胃腸科内科 小児科
宮崎台耳鼻咽喉科	細井 広道	川崎市宮前区宮崎2-10-8トラペズ宮崎台2F	耳鼻咽喉科 気管食道科
宮沢クリニック	宮沢 章子	世田谷区成城6-16-6 1F	麻酔科 心療内科 精神科
みやびクリニック	中田 雅弘	川崎市宮前区南平台3-1-7	内科 小児科 外科
宮部耳鼻咽喉科医院	宮部 聡	川崎市多摩区生田7-2-7	耳鼻咽喉科 アレルギー科
宮前平グリーンハイツ診療所	橋本 眞佐子	川崎市宮前区けやき平1-16-209	内科 小児科
宮前平すがのクリニック	菅野 雅彦	川崎市宮前区小台2-6-6 3F	内科 消化器内科・外科 心療内科 精神科
宮前いとうクリニック	伊東 優	川崎市宮前区菅生2-1-6日向園ビル2階	皮膚科 形成外科
宮前平医院	青山 弘毅	川崎市宮前区土橋2-1-30	整形外科 形成外科 理学療法
宮前平徳栄クリニック	出川 寿一	川崎市宮前区小台2-6-2宮前平ハイツ2階	
宮前平整形外科クリニック	田中 達朗	川崎市宮前区小台2-6-6宮前平テイクモール2F	整形外科
みよしこどもクリニック	三吉 智子	川崎市宮前区土橋6-15-1宮前平パームハウ2小児科	
三好歯科クリニック	三好 敬三	川崎市多摩区宿河原2-4-16	歯科 矯正歯科 小児歯科 口腔外科
三好歯科クリニック	西山 敦	川崎市多摩区宿河原2-4-16	歯科
向ヶ丘胃腸・肛門クリニック	櫻井 丈	川崎市多摩区登戸2662-1プラザ向ヶ丘遊園3階	
向ヶ丘整形外科	山本 穰	川崎市宮前区犬蔵1-23-7	整形外科 リウマチ リハビリ
向ヶ丘メンタルクリニック	柏田 勉	川崎市多摩区登戸2663東洋ビル3F	精神科 心療内科
向ヶ丘久保田内科	久保田 章	川崎市多摩区登戸2708-1YMビル3F	
向ヶ丘久保田内科	岡崎 伸夫	川崎市多摩区登戸2708-1YMビル3F	
向ヶ丘PEDスポーツクリニック	町田 浩通	川崎市多摩区登戸2141	婦人科
むとう小児科クリニック	武藤 真二	川崎市宮前区土橋3-2-17	小児科
村山歯科医院	村山 真人	川崎市多摩区登戸2719 りんく2F	歯科 小児歯科 矯正歯科
メディックスクリニック溝の口	南 陸彦	川崎市高津区下作延5-11-12	内科 呼吸器科 アレルギー科 消化器科 精神科
メダグリクリニックせたがや	菊野 隆明	世田谷区瀬田5-3-7	内科 外科 精神科 訪問診療
もぎ循環器科内科医院	茂木 純一	川崎市宮前区宮崎5-14-19	内科 循環器科
もぎたて耳鼻咽喉科	茂木立 学	川崎市高津区久本1-2-5関口第1ビル401	耳鼻咽喉科
本橋内科クリニック	本橋 信博	川崎市多摩区宿河原3-1-6	内科 循環器科 消化器科 呼吸器科
森クリニック	森 久美子	川崎市高津区久末9-1	
もりこどもクリニック	森 直行	稲城市若葉台4-18-4	小児科
森歯科医院	森 理	川崎多摩区菅北滯4-11-29	歯科
森戸歯科医院	森戸 弘行	川崎市多摩区栗谷3-1-6レ・ウイスタリアビル1F	一般歯科 小児歯科
モンブランデンタルクリニック	上橋 健一	川崎市多摩区登戸2434-1フェリーチェ1F	歯科 小児歯科 矯正歯科 口腔外科
ヤガサキ歯科医院	矢ヶ崎 隆信	川崎市多摩区菅4-3-32ベルヴィル2階	歯科 小児歯科 矯正歯科
矢野医院	矢野 健太郎	世田谷区池尻3-4-5	内科 在宅医療
矢野ロクリニック	清水 雅英	東京都稲城市矢野口380-2-101	
柳川歯科医院	柳川 敏夫	川崎市多摩区布田3-1	一般歯科 小児歯科 口腔外科 矯正歯科
山下歯科医院	山下 哲司	川崎市高津区溝口1-24-5	歯科
山口歯科医院	山口 一美	川崎市高津区二子2-2-6	歯科
山口内科小児科医院	山口 開	世田谷区三軒茶屋2-6-5	内科 小児科
山崎クリニック	山崎 晴義	川崎市多摩区西生田3-26-7	内科 小児科
山根歯科医院	山根 一之	川崎市多摩区西生田3-26-7	歯科
やまもとクリニック	山本 勝	神奈川県川崎市多摩区中野島3-14-29	内科 呼吸器内科 循環器内科 小児科
山本内科クリニック	山本 一哉	川崎市多摩区登戸新町404古谷ビル3F	内科 小児科
ゆうクリニック	木村 孝	川崎市宮前区白幡台1-9-10	
		川崎市麻生区王禅寺東5-2-9	

エム内科小児科ファミリークリニック  
 ゆめこどもクリニック  
 百合が丘すみれクリニック  
 百合が丘すみれクリニック  
 百合丘水野クリニック  
 横山歯科医院  
 横山歯科医院  
 耳鼻咽喉科よしだクリニック  
 吉澤歯科医院  
 吉田内科  
 吉田皮膚科  
 吉松クリニック  
 よつば診療所  
 米田胃腸科外科  
 読売ランド前すわクリニック  
 ⑦ ライズ訪問診療クリニック  
 レオ歯科クリニック  
 ⑧ 若葉台眼科  
 渡辺耳鼻咽喉科  
 渡辺小児科医院  
 渡辺クリニック  
 渡辺クリニック  
 渡辺内科消化器科医院

石川 結美香  
 林 毅陸  
 遠藤 友美恵  
 松浦 健太郎  
 水野 泰彦  
 横田 嘉郎  
 横山 茂平  
 吉田 高史  
 吉澤 利之  
 吉田 博美  
 吉田 秀也  
 吉松 信彦  
 御影 秀徳  
 米田 禮之  
 諏訪 敏之  
 工藤 敏和  
 穴倉 俊介  
 佐藤 功  
 渡辺 昭司  
 渡辺 明子  
 渡辺 茂  
 渡邊 丈芳  
 渡辺 義郎

川崎市麻生区上麻生5-40-1鈴木ビル103 内科 小児科  
 川崎市高津区東野川2-36-5久末アパルメントクリニック小児科  
 川崎市麻生区細山2-8-7 1F 内科 呼吸器内科 アレルギー科  
 川崎市麻生区細山2-8-7 1F  
 川崎市麻生区百合丘1-16-22 内科 外科 消化器科  
 川崎市多摩区登戸21787ソビエツ1階 産科  
 川崎市麻生区百合丘1-6-20 産科  
 川崎市麻生区百合丘1-2-1-201 耳鼻咽喉科  
 川崎市多摩区中野島6-22-1 一般産科 小児歯科 口腔外科  
 川崎市多摩区登戸2710-6第2ネスト向ヶ丘20 内科  
 川崎市宮前区鷺沼1-18-1 皮膚科  
 川崎市麻生区百合丘1-16-2-301 内科 外科 胃腸科  
 川崎市多摩区南生田5-24-9生田テラスハウス 訪問診療  
 川崎市麻生区王禅寺西1-24-1 胃腸科 外科  
 川崎市多摩区西生田1-8-1-102 内科 消化器内科・外科  
 東京都狛江市岩戸北2-12-12チェアテラス5号 内科 訪問診療  
 川崎市高津区溝口1-18-6 2F 産科 小児歯科 口腔外科 矯正歯科  
 東京都稲城市若葉台2-4-4-3階 眼科  
 川崎市多摩区宿河原4-25-2 耳鼻咽喉科  
 川崎市多摩区栗谷3-1-1井田ビル207 小児科 アレルギー科  
 川崎市高津区下作延2-9-10 小児科 内科 循環器科  
 川崎市麻生区上麻生7-22-11 内科 脳神経外科 人工透析  
 川崎市麻生区上麻生4-34-5 内科 消化器科

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙参照
------

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	登録医への動画配信9回	Web開催5回
(2) (1)の合計研修者数	動画配信は視聴数詳細不明	Web開催参加者203名

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有  有 ・ 無  
 イ 研修委員会設置の有  有 ・ 無  
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
奥瀬 千晃	医師	消化器・肝臓内科	副院長	29	教育責任者
井上 ふみ子	看護師		副院長	31	看護部長
桐生 久美子	看護師			22	医療相談センター師長
大内 幸敏	臨床放射線技師			33	画像診断部技術課長

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設 備 概 要
講 堂	152.36 m <sup>2</sup>	(主な設備) マイク音響設備・プロジェクター・PC 施設・別紙参照
会 議 室	21.32 m <sup>2</sup>	(主な設備) ホワイトボード・会議用テーブル・イス 施設・別紙参照
研 究 室	13.81 m <sup>2</sup>	(主な設備) プロジェクター・PC 施設・別紙参照
図 書 室	15.60 m <sup>2</sup>	(主な設備) 図書棚 11連・PC 施設・別紙参照
会 議 室 2	15.45 m <sup>2</sup>	(主な設備) 会議用テーブル・イス・PC
	m <sup>2</sup>	(主な設備)

# 2020年度 川崎市立多摩病院 地域医療従事者向け研修会

資料4

開催日	名称	講師(敬称略)	内容	参加者	
1	7月	多摩病院 動画配信 第1回	脳神経外科 大塩 恒太郎	水頭症について	登録紹介医
2	7月31日	第17回 多摩病院 生涯教育研修会 (Web開催)	薬剤部 山田 健太郎	がん化学療法における当院の取り組み 1.副作用対策 2.抗癌剤曝露対策 3.連携充実加算の取り組み	院外薬剤師36名、 法人内薬剤師34名
			薬剤部 森 みず穂		
			薬剤部 藤重 瑤子		
3	8月	多摩病院 動画配信 第2回	血液内科 玉井 勇人	日常診療に潜む血液疾患	登録紹介医
4	9月4日	川崎北部医療連携推進の会 WEB講演会	埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科 教授 大西 秀樹	がん緩和ケアに欠かせない疼痛治療とこころのケア	法人内関係者26名、 院外4名
5	9月	多摩病院 動画配信 第3回	循環器内科 宮崎 秀和	心疾患と循環器内科外来	登録紹介医
6	10月	多摩病院 動画配信 第4回	整形外科 大沼 弘幸	人生100年時代の膝関節治療	登録紹介医
7	11月	多摩病院 動画配信 第5回	病院長 長島 悟郎	当院の新型コロナウイルスクラスター対応について	登録紹介医
8	12月	多摩病院 動画配信 第6回	消化器・一般外科 朝倉 武士	消化器・一般外科外来と膵癌について	登録紹介医
9	1月	多摩病院 動画配信 第7回	総合診療内科 本橋 伊織	診療科案内	登録紹介医
10	2月	多摩病院 動画配信 第8回	消化器・肝臓内科 中村 紗里香	診療科案内	登録紹介医
11	2月3日	第17回 化学療法講習会	美容ジャーナリスト 山崎 多賀子	アピアランスケアについて	法人内関係者47名、 院外24名
12	2月25日	第18回 多摩病院生涯教育研修会 (WEB開催)	薬剤部 宿谷 光則	心房細動の病態と抗凝固療法	法人内関係者27名、 院外5名
			薬剤部 藤重 瑤子	肺血栓塞栓症 深部静脈血栓症と抗凝固療法	
13	3月	多摩病院 動画配信 第9回	産婦人科 安藤 歩	診療科案内	登録紹介医
14	3月15日	川崎北部医療連携講演会	循環器内科 足利 光平	心不全に合併する貧血は治療すべきか？	WEB配信
			東京大学医学部附属病院 腎臓・高血圧内科 田中 哲洋	腎性貧血における今後の治療展望	

(様式第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 長 島 悟 郎
管理担当者氏名	医療情報部長 宮 崎 秀 和

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報部	一患者一元番号法による永久保存 文書ファイルはターミナルデジット収納 病名：ICD-10 術式：ICD-9-CM Kコード
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	医療相談センター	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	医療相談センター	
	閲覧実績	医療相談センター	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医療相談センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	病院長 長島 悟郎
閲覧担当者氏名	医療相談センター 松岡 正代
閲覧の求めに応じる場所	登録医室
閲覧の手続の概要 ・ 諸記録の閲覧を希望するときは、事前に医療相談センター地域医療連携室に申し込み、病院長の許可を取る。 ・ 諸記録の閲覧は登録医室とし、医療相談センターの職員が同席する。 ・ 諸記録の閲覧時間は、原則として外来診療時間内とする。 ・ 諸記録は印刷、複写、撮影等を含め病院外に持ち出すことを禁止する。	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件



(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回	
委員会における議論の概要		
<ul style="list-style-type: none"><li>・開催日 令和2年6月10日(水)～令和2年6月25日(木)</li><li>・出席者 委員8名</li><li>・議論の概要 詳細別紙 ※書面開催</li> <li>・開催日 令和2年9月2日(水)</li><li>・出席者 委員8名</li><li>・議論の概要 詳細別紙</li> <li>・開催日 令和2年12月9日(水)</li><li>・出席者 委員6名(2名欠席)</li><li>・議論の概要 詳細別紙</li> <li>・開催日 令和3年3月31日(水)</li><li>・出席者 委員7名(1名欠席)</li><li>・議論の概要 詳細別紙</li></ul>		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

## 第 35 回 川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会 議事録

開催期間 令和 2 年 6 月 10 日（水）～令和 2 年 6 月 25 日（木）

開催方法 書面による開催

\*COVID-19 感染拡大の影響により前年度 3 月開催分を中止し、今回、中止分も含めて書面開催するに至った。委員全員から報告資料の確認票に署名いただき回収。開催期間中 4 名より意見・質問が寄せられ、病院長より回答した。

(別紙参照)

参加者

委員 O, K, S, Y, K, T, Y, K

病院(事務局)

医師 N, O, M, A

看護師 S, K

事務職 K, A, M, I, M, K

(川崎市病院局) T, I

配布資料(資料 1～4 は令和元年度分と令和 2 年度 4 月分)

- ・第 35 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会次第
- ・救急災害医療センター患者来院数・・・・・・・・・・・・・・・・(資料 1)
- ・川崎市立多摩病院 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率・・・・・・・・(資料 2-1)
- ・登録紹介医施設からの紹介件数の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・(資料 2-2)
- ・高額医療機器の共同利用・・・・・・・・・・・・・・・・(資料 3)
- ・川崎市立多摩病院地域医療従事者向け研修会・・・・・・・・(資料 4)
- ・資料 1～4 の解説文書
- ・川崎市立多摩病院における COVID-19 診療と感染対策に関する取り組み

今年度日程(別紙参照) 次回 9 月 2 日(水)13:30 於 川崎市立多摩病院 2 階講堂

以上

第35回地域医療支援病院運営委員会(書面開催)

委員氏名	意見・質問内容
○	<p>地域になくてはならない病院の外来が激減し病床稼働率が低下、民間病院なら閉鎖もあり得る数字が示されています。</p> <p>地域の診療所は「受けともらえない」、「帰国者・接触者センターへ」と言われ全く機能していないセンターに電話するくらいならと、発熱者すら診ないクリニックが増え、多摩区の病診連携は互いに期待すらしなくなっていると言わざるを得ません。</p> <p>補助金があるから、との意識が潜在しているのかと考えてしまいます。</p> <p>せめて登録医療機関にはもっとオープンに情報を流していただき、どの程度の患者さんなら受け入れるのかをしっかりと伝えなければ、種々の数字回復は無いと思います。</p> <p>これだけ重要な報告をいただきましたが、直接皆様からの意見や質疑応答ができないことが残念です。人数が少ないのであればWeb会議(Zoom)なりできれば良いのではないかと思います。</p> <p>何でもかんでもコロナ対応が非公開になっており、どのような受入であれば可能なのかすらわからず、紹介しても断られるだろうと考え、患者さんがたらい回しになっています。</p> <p>医師会常会も休会しており、必要な情報が回らない過敏反応に疑問を感じています。</p>
【N回答】	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>多摩病院は、すでに武漢でパンデミックが発生した昨年12月から、病床の約1割に相当する30床程度をコロナ対応とすることを決めていました。しかし、ご存じのようにコロナ患者を1例受け入れることによる医療従事者の負担は計り知れないものがあります。</p> <p>疑い例ではなく陽性例ですので、わずかな気のゆるみや体制の不備が深刻なクラスターに繋がり、さらには医療従事者の死にすら直結する状況でした。もともと行政のシナリオでも、コロナ患者に対する外来診療と入院診療ははっきりと区別されていました。当院でも、入院症例を扱う以上、発熱外来を含め、開業の先生方からコロナ肺炎の診断目的でご紹介を頂くことは、人員上もリスクの上でも困難と判断し、コロナ患者の入院診療に特化して対応しておりました。</p> <p>外来診療については、開業の先生方または入院診療を行わない医療機関に委ねるべきと考え、再三、多摩区保健所からの要請には、当院の立場を明示してご理解いただくよう努力してまいりました。このことは、ホームページにも掲載し、地域連携室からも登録紹介医の皆様にご案内しております。</p> <p>しかし、当然ながら発熱者の直接来院や、通院中の方の呼吸器症状合併もあり、こうした方は敷地内にコンテナを設置し、他の患者と分けて診察する体制としています。</p> <p>内科医がコロナ陽性の入院患者対応で手いっぱいである時も、眼科等の外科医を含めたすべての診療科で対応しておりました。</p> <p>コロナ陽性患者や疑い症例に対応する医療者につきましても、基本的には希望者のみとし、小さな子どもがいたり、妊娠する可能性のある伴侶がいる教職員は除外し、家に帰ることを躊躇する医療者のためには宿泊場所を担保し、また、職員食堂の利用も躊躇する可能性があることから、朝・昼・晩の食事にお弁当を提供、そして被服が汚染されないよう、すべて病院が準備した着衣で診療するなど、様々な対応を行っています。</p> <p>ご指摘の通り、他の医療機関同様、外来受診、入院診療は様々なレベルで制限が必要となり、一人一人の患者に掛ける時間も増え、電話診療、FAX処方にかかる事務の負担も増大しています。</p> <p>今後、第二波、第三波も予想されています。当院は引き続き入院対象となる症例を中心に、地域の中核病院としての役割を果たしていきたいと考えています。</p> <p>行政や医師会とも連携しながら、よりよい体制整備ができればと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。</p>

第35回地域医療支援病院運営委員会(書面開催)

委員氏名	意見・質問内容
S	<p>多摩区唯一の地域医療支援病院として、私たちの医療を支えていただきありがとうございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症につきましては、神奈川県重点医療機関として対応され、患者さんの受け入れ・診療にあたっていただき感謝いたします。</p> <p>私たち歯科医院もコロナ感染の影響で大打撃を受けました。歯科口腔外科の皆様も歯科医療に対する逆風の中、きちんと対応していただきありがとうございました。</p> <p>私の出身大学の歯学部附属病院は2ヶ月全面的に診療を休止してしまいました。</p> <p>地域医療連携室の加藤様のおかげで、多摩区歯科医師会全員が登録医になりました。</p> <p>今後とも多摩区歯科医師会との連携をどうぞよろしくお願いいたします。</p>
【N回答】	<p>ありがとうございます。</p> <p>非歯科医師会員の先生方が、より積極的に歯科医師会に入会され、登録紹介医として当院とよりよい関係が築ければと思っております。歯科医師会の活動に対しまして、今後も強い後押しをしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>

第35回地域医療支援病院運営委員会(書面開催)

委員氏名	意見・質問内容
Y	<p>新型コロナ感染拡大に伴い救急災害医療センターへの来院数が大幅に減っており、運営に影響が出ているのでは、と心配です。</p> <p>COVID-19対応については、早期より多摩区では川崎市立多摩病院で受け入れていただくと行政より伺っておりましたが、実際の取り組みについて資料で拝見し再確認できました。YouTube等で聖マリアンナ医大での重症患者への取り組み等を視聴しましたが、多摩病院と感染症に特化した聖マリアンナ医大の連携が身近に存在するので大変心強いです。</p> <p>まだまだCOVID-19を完全に封じ込めるには時間が必要かと思しますので、今後ともよろしくお願いたします。</p> <p>COVID-19感染拡大で住民の不安が増大し始めた頃、すぐに予約患者に電話受診対応をしていただき、処方薬においては薬剤部の先生方から個別に連絡され、大変連携が取りやすく助かりました。</p> <p>幸い多摩区でのCOVID-19患者は市内でも一番少なく抑えられましたが、特に多摩病院のスタッフの皆様の活躍があったからだと考えます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
【N回答】	<p>新型コロナウイルス感染症に特化した治療薬が開発されない限り、新しい生活様式に則った新しい診療体系を模索しなくてはなりません。その中で、当然として電話診療、リモート診療、FAX処方、処方薬のデリバリーという話が出てくるはずですし、それにしっかりと対応する必要があると考えています。さらに、院内薬局の外注という話も出てくる可能性があると思っています。</p> <p>今後とも力強いご支援を、どうぞよろしくお願いたします。</p>

第35回地域医療支援病院運営委員会(書面開催)

委員氏名	意見・質問内容
K	<p>昨年は台風19号により、多摩区で三百数十件の床上・床下浸水の被害が発生しました。今後も大きな水害が生じる可能性は高く、多摩病院が水害で地下の浸水があると患者への被害も甚大と考えられます。</p> <p>早いうちにハード面・ソフト面の対応についてご検討ください。</p>
【N回答】	<p>登戸駅での多人数刺傷事件、台風、今回のコロナ禍と、昨年度は様々な災害がありましたが、地域医療支援病院として、こうした災害には真摯に対応してきたつもりでございます。しかしながら、ご指摘の通り、すでに開院から14年が経過し、施設の老朽化も進んでおり、昨今の災害に十分に対応できない部分も出てきております。この点につきましては、地域の災害拠点病院としての整備を強く川崎市に働きかけています。</p> <p>是非、地域に住まわれている方々からのご意見として、行政、そして政治へも働きかけて頂ければと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>

第 36 回 川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会 議事録

日 時 令和 2 年 9 月 2 日 (水) 13 時 30 分～14 時 30 分

場 所 川崎市立多摩病院 2 階講堂

出 席 者

委 員 O, K, S, Y, K, T, Y, K

病 院 (事務局)

医 師 N, O, M, A

看護師 S, K

事務職 K, A, M, M, K

(川崎市病院局) T, I

配布資料

- ・ 第 36 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会次第
- ・ 第 36 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会座席表
- ・ 救急災害医療センター患者来院数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (資料 1)
- ・ 川崎市立多摩病院 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率・・・・・・・・ (資料 2-1)
- ・ 登録紹介医施設からの紹介件数の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・ (資料 2-2)
- ・ 高額医療機器の共同利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (資料 3)
- ・ 川崎市立多摩病院地域医療従事者向け研修会・・・・・・・・・・・・ (資料 4)
- ・ 当院の COVID-19 をめぐる状況
- ・ 動画配信について

1) 開会

多摩病院医療相談センターMより開会が宣言された。

\*前年度 3 月開催分は新型コロナウイルスの影響で中止となり、今年度初回の 6 月開催分は書面会議となった。一堂に会しての開催は昨年 11 月以来となる。

\*委員交代について

4 月から就任した Y の紹介があった。委嘱状は既に病院から Y へ郵送済である。

Y の就任挨拶後、議事に入った。

2) 議事

N の提案により、本日の最初の議事は時勢に鑑み多摩病院の COVID-19 対応についての報告となった。

(1) 当院のCOVID-19をめぐる状況について

(N)

〔資料1枚目〕

このグラフは多摩病院にコロナで入院した患者の症例数で、グラフの青は確定患者数、赤がコロナの診断はついていないが隔離して管理が必要なコロナ疑いの症例数になります。グラフの最初の日付が3月12日からになっていますが、これ以前にダイヤモンドプリンセス号からの症例が1名入院しています。第一波に合わせてコロナ陽性の患者が増え、第一波がある程度収まった頃から疑似症患者が増えてきました。4月7日に7都府県で緊急事態宣言が出て、4月12日に緊急事態宣言が全国に拡大され、5月25日に解除されましたが、それに合わせてグラフの青（確定患者数）と赤（疑似症患者数）が増えているのがおわかりいただけると思います。横軸は3月12日から最後が8月31日になっています。6月末に県を跨いでの移動の自粛が解除され、当院ではコロナ専用病床を設置していましたが、7月1日付でこれを解除し一般診療体制に戻りました。しかしその後、Go to キャンペーン等で7月下旬くらいからコロナと疑似症患者が増え始め、8月1日から5階東病棟（48床）をすべてコロナ対応としております。8月13日に神奈川警戒アラートが発動されましたが、本来であれば発動された時点で即応病床のオープンを促されるのですが未だ通知が無く、各医療機関の判断と努力で対応しています。

〔資料2枚目〕

当院が病床をどのようにコロナ対応にしたかが書かれています。資料右上のICU（10床）を、2月1日のダイヤモンドプリンセス号からの患者を受け入れるために、緑は通常の患者、黄色は疑似症（9番）、赤がコロナ陽性患者を受け入れる病床（10番）として9番と10番の2床で疑似症と陽性患者を受け入れる体制にしました。また、資料左端の5階東病棟では、相模原の養護施設でクラスターが発生して受け入れ要請があり、3月6日から4つの個室（566号から569号）をコロナ対応病床にしました。その後、第一波により急速に症例数が増えたことを受け、4月7日から看護部の大きな協力と犠牲の上で5階東病棟48床のうち16床をクローズし、32床をすべてコロナの病床として運用しました。この病棟で働く看護師は、妊娠している人やこれから妊娠するかもしれない人、小さい子供がいる人、お年寄りと同居している人など、コロナ病棟では働くことができない人を除外し、当時は罹患したら死ぬかもしれないという雰囲気もあったため、手を挙げてもらい協力してくれる医療者を集めてコロナ病棟をつくりました。一人のコロナ陽性患者に通常の3~4倍の医療者が必要になるので、医療者確保のため3階東病棟（19床）をクローズし、ここの医療者を5東病棟に投入し運用してまいりました。

〔資料3枚目〕

その時の具体的な状況を写真で掲載しています。スタッフステーションと病棟の間は本来オープンカウンターとなっているのですが、ここにシールドをして中と外の空気が入れ替わらないようにしています。左上の写真にある白いカーテンのようなものですが、「ミンティ」という陰圧装置を設置して病棟全体を陰圧にする作業をしているところです。急遽やらなくてはいけなくなり、川崎市立井田病院のものをお借りしましたが、色々な施設や部署にご協力いただいた突貫作業でした。



〔資料4枚目〕

同じ病棟のカンファレンスルームですが、透析患者を受け入れる施設が無いということで、急遽2部屋あるカンファレンスルームをつなげ、片方を準備室、もう片方をコロナ陽性患者と疑似症患者の透析ができるように造り替えました。

〔資料5枚目〕

これはICUで、イエローゾーン（疑似症）が1つとレッドゾーン（陽性）1つで、ピンクのカーテンの向こう側に8番ベッドがありましたが、ここは予防着の着脱スペースにしています。ピンクのカーテンの左側の9番は陰圧の個室で、きちんと空気感染予防ができる陰圧の個室になっています。ICUを分離してコロナ陽性患者に対応できるようにしました。

〔資料6枚目〕

これは外来診療のスペースです。PCR検査自体が100パーセントの感度ではないので、PCRが陰性でも院内に疑い症例が紛れ込んでくる可能性があります。できるだけそのようなことを排除するため、発熱している人・上気道症状がある人・ハイリスクな地域にいたことがある人はこのコンテナで診療する形をとり、写真ではコンテナが2つありますが、当初は3つあり2つが待合室で1つが診察室として使っています。これについては紆余曲折があり、最初はテントを設置しましたが風で飛ばされそうになり、すぐ近くに南武線が通っているので線路に飛んで行ったら大変な事になるのでテントはダメということで他を検討しました。例えば大型バスを1台借りて待合にしたり、トイレが無いので工事現場用の簡易トイレの設置などの案が出ましたが、レンタカーやレンタル会社では「コロナのことで使用するなら貸さない」とのことで、コンテナを半分購入するような形で救急出入りに置き、空調のために穴を開け冷暖房を完備するなどの対応をしています。コンテナ設置に関しては病院局にご協力いただき、多摩病院は建造物をこれ以上置いてはいけないことになっていたのを、国会でも質問していただき、コンテナを置く許可をいただいてこのような形で運用ができています。今年の夏はかなり暑かったので熱中症の危惧があり、極力外で待つ方がいないようコンテナを3つから4つへ増やして対応していました。

〔資料7枚目〕

当院は急性期病院・地域医療支援病院なので他の診療もしっかりやっていたにもかかわらず色々対応しましたが、様々な制約や制限があり、4月から6月は紹介患者や救急の入院患者も減り、総額で4億円以上の減収となっています。このグラフは外来患者数を表しており、当院は1日900人から1,000人くらいの外来患者がいましたが、コロナの蔓延と共にどんどん減って一時は通常の半分の450人くらいまで減っています。コロナの第一波が収まってから7月に入り患者が少しずつ増えてきたのですが、また8月に減り始めているのが現状です。紹介医の先生方のところも患者の受診控えにより来院しないとなると、当院への紹介患者数も減少します。また、もう一つ問題なのは各診療科で出ているガイドラインで、私の診療科は脳神経外科ですが、脳神経外科学会では4月に「鼻からの手術や予定手術は延期する」というガイドラインが出され、恐らくそれは開業医にも通知されていると思います。7月に入ってから「ハイリスク地域でなければ少しずつ始めても良い」とガイドラインが改訂されましたが、根本になっているガイドラインに準拠しているのがアメリカのガイドラインで、例え

ば5月時点で岩手はコロナの患者がゼロですが、そのような地域であっても予低手術延期というガイドラインが当て嵌められています。歯科口腔外科は3月にガイドラインが作られましたが未だ改訂されていません。眼科は7月にガイドラインを改訂しましたが、緊急性のない白内障の手術はやめるということについては変更がありません。このようなガイドラインが登録紹介医の先生方に周知されているので、当然登録紹介医の方々からご紹介いただかず患者も来ません。こういった問題がしっかり解決されないと、病院が安全な環境を整えどのような手術でも対応できる体制を取っていても、患者を紹介していただけない状況が続いているというのが現状です。

〔資料8枚目〕

2020年1月から8月の入院患者数と病床数の推移を表しています。登録紹介医の先生方にお集まりいただきお話しさせていただいたり、それぞれの区の医師会長を訪問して現状報告と安全性をアピールしたり、救急隊を訪問するなど様々な努力をしております。これらが功を奏しての事だと思いますが、少しずつ入院患者数が回復しています。当院は376床で、1月は300人を超える入院患者がいて、最も少ないときでその半分くらいにだったのが、少しずつ改善されている状況です。5階東病棟と3階東病棟が閉鎖したままなので、376床のうち実際に動ける病床は330くらいですが、このような中で一生懸命医療者に働いてもらい稼働率を上げる努力をしております。

〔資料9枚目〕

救急車来院数の推移を表しています。病院運営にネックになっており、去年1年間の救急車の搬入台数は5千台を超え、月に400台から500台の救急搬送がありました。今はやっと300台くらいで最も少ないときは200台くらい、1月から1日20件くらい搬入されていたのが、コロナが蔓延して4月に入り10件以下で3件や4件という日もありました。徐々に回復はしていますが、8月に入ってもなかなか改善しません。

〔資料10枚目〕

令和2年7月分手術件数の前年同月比較表で、ガイドラインの影響が非常に大きく眼科はマイナス60件となっており、耳鼻科がマイナス11件、形成外科もマイナス11件で、これらの診療科はなかなか回復してこないのが現状です。

〔資料11枚目〕

色々な対策を講じておりますが、今私達が抱えている問題点をいくつか列挙しております。診療については、コロナ対応する上で非常に多くの医療資源が必要になります。皆様ご存じのとおり、医療機関は通常の診療をギリギリの状況で運営しており、プラスアルファでコロナが追加になると、それに対応するための医療者を含めた医療資源を集めることができない状況があります。例えばコロナの外来診療をやる場合、発熱フローで熱や上気道症状がある患者をコンテナで診察していますが、1日15件から20件くらいあり、診察してCTを撮りPCR検査・抗原検査をして診断・治療をするとかなりの手間が生じます。暑い中、予防着でCT室に搬送するなどしており医療資源を割かなくてはなりません。また、例えば神経内科の場合、医師がコロナ対応している時は神経内科をクローズせざるを得ず、なかなか医療資源を十分コロナ診療に充てることができない状況です。現在6名の陽性患者が入院していますが、通常の3倍以上の医療者が必要で、陽性・疑似症患者の受入に制約が生じることは事実です。

経営面においては大幅な収入減となっています。また、現在政治は感染制御と経済の両立を図っている中、私ども医療者は家族以外との会食を禁止されています。県を跨いで移動もできる限りしないことになっています。当法人においては収支悪化に伴い全ての予算執行を停止し、学会や研修会への参加費用を支給することができない状況です。医療者は、自分の周囲の医療者ではない方達が Go to キャンペーンで出かけても行くことが叶わず、ストレスを抱えながら医療を守るために日々診療しております。このような人達に何かインセンティブを与えたくても、今の医療機関はボーナスが出せなくなるかもしれない状況です。

もう一つ、医療者の心の重荷となっているのが倫理的な課題で、現在面会禁止にしていますが、亡くなる患者や具合が悪い患者、また家族がいないと不穏になる患者であっても面会を許可できません。亡くなる場合な家族に来ていただきますが、コロナ陽性の方の家族は中に入れないので家族の面会が無いまま亡くなった方が何人かいらっしゃいます。このような倫理的な課題の解決が難しいです。

川崎市は医師会長がしっかり対応してくださり、PCRが川崎市全体で1日300件以上、またPCRができる開業医がどんどん増えて20件を超え、インフルエンザが流行しても開業医の方々がインフルエンザの抗原検査とコロナの検査をやっていた上です。必要であれば当院へ紹介いただけるようになると思います。インフルエンザとコロナ診療をしっかりできる体制を構築していかなくてはならず、今後どのような形にするかこの地域医療支援病院運営委員会でもお話ししながら進めていかなくてはならないと考えています。

多摩病院からの現状報告は以上でございます。ありがとうございました。

(○)

ありがとうございます。今回の委員会には救急患者数や紹介患者数などと共に、地域医療支援病院という意味でもコロナの話題が必要ではないかと提案をさせていただきました。そのような中、Nから説明いただきありがとうございます。

医師会側としての対応ですが、川崎市医師会が5月8日から川崎市内の3か所に集合検査所を開設しております。順次ここでの診療の回数を増やしており1週間のうち10コマ休日診療所を利用しています。休日診療所には診療所長がおり、それぞれの区の会長になっていただいております。二重開設になることから、診療所が休診の時間帯しかできません。例えば多摩区ですと、Kの休診の時間帯である12時半から15時、他は13時から15時までの間に開設しています。1施設1回あたり、だいたい8人から15人くらいの患者のPCR検査を行っています。3か所程度ですとアクセスの悪い地域もあるのでそこをカバーするため、7月20日過ぎから対応できる市内の開業医を増やそうと説明会を開催しました。50人ほどの傍聴者に来ていただき、実際自分のところで対応できそうだというのは20名ほどでした。お盆の前に20数件でスタートしました。さらに、インフルエンザを控え、インフルエンザの場合にも飛沫のリスクを背負いながら診療しなくてはならず、それならば抗原検査やPCR検査もできるのではないかとということで、先週木曜日に2回日の説明会を開催しました。70名ほど来ていただきましたが、実際にスタートするのはおおよそ市内で50件ほどではないかと思っています。

先生方がそれぞれの患者を診るだけではなく、市内の自分のところでできない先生には、川崎市医師会の相談センターに電話をしていただくと集合検査所や近隣で対応している医師を紹介するなど、医師会がコーディネートして割り振りしています。医師によって抗原検査をする方、PCRの鼻から採る方、唾液だけでやる方がいますが、7月下旬からこれまでに500件以上やっていただいています。診療所における陽性率は11パーセントで、東京都では5から6パーセントと言われており、ある程度適応を絞って行うとしっかりとした陽性率を示すというのが感想です。昨日保健所長と相談させていただきましたが、感染症学会に基づき、インフルエンザのシーズンに入ったとき、各診療所でコロナの抗原検査ができる体制を作らなくてはならないという話をいただきましたので、医師会で対応を練っていきたいと考えています。

経営の話になりますが、各区の休日診療所も日曜日の診療の患者が従来の七分の一から十分の一に減っています。人材を確保しているので赤字が出ますが市から補助金をいただきながら何とか運営しているのが現状です。今後病院とうまく連携を取って模索しながら対応していきたいと思います。このような意味から私達も多摩病院がどのような状況なのかということを知っておきたい、今日は貴重なお話をいただきました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

ただ今の件で何かご質問等がありますでしょうか。

(T)

集合検査所の場所は明示しておりませんのでご理解いただきたいと思います。

(O)

医療機関も集合検査所も公表しておりませんが、これは「あの医療機関に行けば検査してもらえる」という気休め的な来院を排除するためです。ご理解いただければと思います。また、川崎市医師会では濃厚接触者の対応もしております。患者が1人出れば濃厚接触者も出ますので必ず対応していかなくてはなりません。保健所と医師会と連携を取っており、保健所から濃厚接触者について医師会に連絡をいただきます。医師会は本日はどこで検査してもらえる、とすべてコーディネートして濃厚接触への対応もしております。

他にご質問はありますか。

(K)

お亡くなりになる方の比率は、全国平均と比べていかがでしょうか。また、多摩病院に人工呼吸器は何台あるか、エクモを備えているのでしょうか。

(N)

当院は重点医療機関であり高度医療機関ではないので、人工呼吸器やエクモが必要な患者さんは大学へ転送しています。当院には人工呼吸器が30数台あり、エクモも1台あります。通常の診療であればそれらを使用できますが、コロナ陽性の患者さんに気管挿管し人工呼吸器をまわすにはそれなりのトレーニングが必要で感染リスクもあるため大学へ依頼しております。死亡率については、神奈川県や川崎市、全国平

均と比べ大きな違いは無いと思いますが、当院では人工呼吸器やエクモを希望せずそのまま看取りを希望する方が亡くなっていて今まで2例あります。葬儀屋さんやご家族にウイルスが伝播しないよう、亡くなった方を特殊なやり方でお見送りをしております。

(O)

色々質問をいただきありがとうございました。それでは議題を進めさせていただきます。

(2) 救急災害医療センター患者来院数について (資料1)

(N)

資料1をご覧ください。上の表はウォークインで救急外来を受診された方と救急車でいらっしゃった方の4月から7月の実数で、それぞれどれくらいの方が入院したかを表しています。緑の枠は紹介され来院した救急患者数で、その内入院した方的人数が下に載っています。下の表は前年度対比を表しており、右側の数字が2019年度の平均と2020年度の4月から7月の平均差となっております。(B)救急車来院数ですが▲197.3で、救急車の搬入が月当たり200台近く減っています。救急患者全体で476減少し、救急への紹介患者数も108の減少で、救急自体がかなり減少しています。

(O委員長)

ありがとうございました。ただ今の説明に対して何かご質問等ありますでしょうか。質問が無いようですので、次に進めさせていただきます。

(3) 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率について (資料2-1)

(N)

紹介率・逆紹介率は資料に掲載している計算式に基づいて算定しています。分母は同じで分子が異なります。2019年度の4月から7月の紹介率と2020年度の4月から7月の紹介率を見ていただくと、どちらも紹介率は70パーセント前後で、逆紹介率は2019年度は55パーセント前後で、2020年度は60パーセント超えの数字となっております。率で表すと2019年度から2020年度はあまり変化がありません。地域医療支援病院の紹介率と逆紹介率には規定があり、この規定をクリアしないと地域医療支援病院の承認を取り消されます。折れ線グラフ上の赤線が規定値の逆紹介率40パーセントと紹介率65パーセントを表し、それを超える事が診療報酬上の規程ですが、いずれもクリアしております。

資料2-2ですが、登録紹介医施設からの紹介件数とそれ以外も含めた紹介件数です。2019年度と2020年度を比較すると、今年度は4月から7月の全ての月が前年度比マイナスで、特に4月と5月は非常に落ち込んでいます。7月はやや回復傾向にありますが登録紹介医施設からの紹介件数はマイナス245件、全ての紹介件数はマイナス383件という状況です。

上の円グラフは紹介いただいた患者さんの内訳です。多摩区の登録紹介医施設からの紹介が半分くらい、非登録紹介医施設からの紹介が38パーセントくらいです。右

側の円グラフは登録紹介医施設の内訳で、多摩区が8割くらいでそれ以外に高津区・麻生区・宮前区の登録紹介医施設からも紹介いただいていることがわかります。

(O)

ありがとうございました。ただ今の件につきましてご質問等はありませんでしょうか。無ければ議事を進めさせていただきます。

(4) 高額医療機器の共同利用 (資料3)

(N)

CT・MRI・超音波・内視鏡の4つを高額医療機器として登録紹介医の先生方と共同利用をさせていただいています。登録紹介医の方々からMRIの撮影依頼で画像診断にご紹介いただくとそれが紹介率に反映されます。4月に病院長に就任後、画像診断と色々話し、登録紹介医の方々が少しでも予約を入れやすいように、CTやMRIの予約枠を増やしていることと、当院ホームページからCTとMRIの予約枠の空きが確認できるシステムを5月くらいから始めています。それらの甲斐もあり、コロナのパンデミックも収まってきたことから回復基調にありますが、今後どうなるか予断を許さない状況なので、注視していかなくてはならないと考えております。

(O)

ありがとうございました。ただ今の件につきましてご質問等はありませんでしょうか。多摩病院で診ている患者さんについては画像や内視鏡検査するのは比較的問題無いと思いますが、他の医療機関から来て実はコロナ疑いがあるという方や、十分な検査がされないまま内視鏡の検査をしなくてはいけなくなるなど、病院としてご苦労されるのではないかと思います。トリアージについて何か策はありますか。

(O)

内視鏡では患者さんがいらしたら、もう一度しっかりアナムネをとらせていただいたり、バイタルを確認して感染症疑いときは検査を延期するなどしています。4月5月と内視鏡の件数が非常に低いのは、学会から検査を控えるよう通知が出ていたため、規制が少し緩やかになって以降、今はコロナ禍になる前のおよそ7割から8割くらいの件数となっております。

(O)

ありがとうございました。ただ今の件に関してよろしいでしょうか。

(N)

手術につきまして、Aからよろしいでしょうか。

(A)

全例について事前に抗原検査を行ってから手術室に入るよう、9月中までにはしたいと考えております。

(O)

ありがとうございました。ただ今の件に関してよろしいでしょうか。  
それでは次の議題に進めさせていただきます。

(5) 地域医療従事者向け研修会 (資料 4)

(N)

大変申しわけありませんが、7月31日にがん化学療法に関してはできるだけ参加者を増やさない形でやっておりますが、多摩病院自体が業者も含めて院内への立ち入りを禁止しているため、地域医療従事者向けの研修会が開催できない状況にあります。Web開催を考えて機材の整備をしながら少しでも皆さんと勉強できる機会がつけられたらと考えていますが、もう少しお時間をいただければと思います

(O)

ありがとうございました。今は‘集まる’ことに関して皆さん慎重に対応していますので開催が難しいと思います。医師会でもWeb会議を取り入れるようにしていますが、これからまた少し様子が変わってくるのではないかと感じております。

ただ今の件に関して他にありますか。では、次に進めさせていただきます。

(6) その他

(O)

今回、動画配信に関する文書が追加となっております。Nより説明をお願いしたいと思います。

(N)

色々と対策を講じている中で、6月から新たに日本医科大学出身の血液内科の医師を招いて、当院で血液疾患の方々の治療ができるようにしました。少しずつ稼働が上がり入院症例も増えております。このような院内の情報を少しでも登録医の先生方にお届けしたく、QRコードをつくりました。後ほどスマホで見いただくとおわかりいただけますが、QRコードを読み込むと10分くらいの動画が流れます。動画で自己紹介や血液疾患の説明をしています。

～ 動画：血液内科 T部長「日常診療に潜む血液疾患」放映 ～

月に1回、外来担当医師一覧表を登録医の方々にお配りしていますが、そこにQRコードを付けています。来月は循環器内科、その次は整形外科で進めていきますのでぜひよろしく願いいたします。

(O)

ありがとうございました。多摩病院のホームページの中で登録紹介医のページにあるというわけではないのですか。

(N)

YouTubeなので、これをホームページに載せることについては病院局と調整しながら考えたいと思います。

(O)

ありがとうございました。ただ今の件について何かご質問ご追加等ありますか。

(K)

本院から血液内科に紹介しないでくれとアナウンスが出て、その後受入のお知らせが出ていないので大変助かります。今までは白血病の方がいると大学では診てくれないのでトリアージしていただきたく総合診療内科に送っていました。今度から便利になって助かります。よろしくお願ひします。

(O)

その他何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(K)

PCR検査ですが、黒岩知事がお話していたポータブルのものが多摩病院に入ったということですが。

(N)

スマートアンプはまだ入っていません。東横病院にはもう入っています。当院はジーンキューブというもう少し性能が良いものが1台あり、9月中旬には大学と同じLAMPという機械が入ります。ですからその後でスマートアンプが入ると3台機械が動くこととなりますので、順番に使いまわして運用することができます。

(K)

インフルエンザ流行時の、インフルエンザとコロナを診る上でのトリアージは決まっているのでしょうか。

(N)

今調整中ですが、コロナの検体と同じ検体でインフルエンザの抗原検査を行い、多分インフルエンザの方が早く10分くらいで結果が出て、結果がマイナスであればコロナの結果を待ってそれに対応し、インフルエンザが陽性であればタミフルを処方し帰宅させ、後でPCR検査の結果を確認して患者に連絡するという流れになると思います。

(K)

開業医ではインフルエンザは咽喉からやるので、飛沫が怖いということできなくなる医療機関もこれから出てくるのではと思います。また、高熱のある患者のインフルエンザの結果がネガティブですとコロナを疑うので医師会ということになる



のでしょうか。

(N)

そのあたりは〇とお話ししながら調整するようになろうかと思います。

(O)

多摩病院は基本的に帰国者・接触者外来は設けていないということですか。

(N)

設けていません。

(O)

我々としては、多摩病院に疑い患者さんを紹介するのは一般の患者さんとして紹介するしかルートは無い、という認識でよろしいでしょうか。

(N)

はい。そして入院が必要な症例です。陽性で重症管理が必要な場合は大学になりますが、そうでなければ当院で引き受けることになりまして、疑似症による病床が6床で限りがあったときはなかなかお受けできなかったのですが、今は全部で30床あり今後の運用を検討していきます。

(O)

今後は機械も3台になるとのことですが我々は機械をフルに利用させていただくことができず、何か体制が変わるのかと思いましたが、基本的なスタイルは外来の中で必要な患者さんを検査するという考え方で変わらずということでしょうか。

(N)

はい。そのつもりでおります。また社会状況の変化とともに考え直さなくてはならないこともあろうかと思しますので、ご相談させていただきたいと思っております。

(O)

ありがとうございます。その他に何かございますでしょうか。

(K)

冒頭に院長からご報告いただいたコロナに対する医療提供体制についてですが、ご協力いただきましてまことにありがとうございます。併せてコロナ禍における市民への地域医療の提供について創意工夫をされながらご尽力いただいていることにつきましても感謝いたします。

本市においては、多摩病院も含めた3つの市立病院や民間病院など、現時点で8つの病院でコロナの患者を受け入れて神奈川県認定を受けています。役割分担をしておりまして、マリアンナ本院や市立川崎病院は高度医療機関の位置づけで重症

者を受け入れています。多摩病院やその他の病院は重点医療機関として中等症のいわゆるエクモや人工呼吸器を必要としない患者さんを受け入れる役割となっています。また、重点医療機関協力病院という位置づけで主にコロナ疑似症者を受け入れる病院があります。高度医療機関は市内で2病院、重点医療機関は市内で6病院、疑似症を受け入れる病院が5病院の13病院があります。日々の病床コントロール・入院調整をする川崎市医療調整本部を健康福祉局内に設置し、医療崩壊に陥らないようにしております。市内の各医療機関には機能別の役割がありますが、現在270床を確保しているものの、270床をフル稼働する状況には至っていません。本日は270床のうち83床を即応病床として確保しており、疑似症者と陽性確定者の合計63名が市内の病院に入院されています。このようなことを日々リアルタイムで把握し受入調整を行い、市民の皆様の命を守る体制をとっております。先ほど病院経営がどれほど厳しいかを示す非常に貴重なデータを拝見しましたが、このことにつきまして病院支援のニーズは二通りあると考えております。一つはコロナの医療提供体制を整えるためのコロナ受入病院に対する空床保障、そして今後の地域医療を守るために全体的な医療機関への経営支援の二つに大別できると思っております。前段については国や神奈川県・本市も取り組んでおりますが、ここに来てようやく経営支援についての国の動きが見えてきております。現状二次補正予算まではどちらかというと前者に関するものでしたが、安倍首相が退任され新政権の中でどのような方向で動くか我々も注視しておりますが、医療機関への経営支援にも注力していくようです。地域医療とコロナ医療の両立は大きな命題と考えておりますので国や県共々取り組んでいきたいと思っております。これから県内3政令市の市長、福田市長と横浜市長・相模原市長が県知事に緊急要請をします。これは、医療提供体制をきちんと整えるための公的支援の強化と、地域医療の維持について国への要望や県独自のしくみを考えるなどしていただきたいというものです。間もなく神奈川県から二次補正までの支援のスキームを出すと聞いておりますので、もう少しお待ちいただきたいと思っております。

今現在までの川崎市の状況と、総論的なことをご説明させていただきました。

(○)

ありがとうございました。ただ今の件につきましてご質問はありませんか。それでは特に無いようですので、事務局から何かありますでしょうか。

### 3) 閉会

(事務局より)

本日の議事録は委員長の確認後、各委員に配布させていただきます。  
また、次回開催日時を令和2年12月9日(水)13時30分からとし、14時30分、○の閉会の辞をもって終了とした。

第 37 回 川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会 議事録

日 時 令和 2 年 12 月 9 日 (水) 13 時 30 分～14 時 30 分

場 所 川崎市立多摩病院 2 階講堂

出 席 者

委 員 O, K, S, Y, K, K

病 院 (事務局)

医 師 N, O, M

看護師 S, K

事務職 A, M, M, K

(川崎市病院局) T, I

配布資料

- ・ 第 37 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会次第
- ・ 第 37 回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会座席表
- ・ 救急災害医療センター患者来院数 . . . . . (資料 1)
- ・ 川崎市立多摩病院 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率 . . . . . (資料 2-1)
- ・ 登録紹介医施設からの紹介件数の内訳 . . . . . (資料 2-2)
- ・ 高額医療機器の共同利用 . . . . . (資料 3)
- ・ 川崎市立多摩病院地域医療従事者向け研修会 . . . . . (資料 4)
- ・ 多摩病院におけるクラスター報告

1) 開会

多摩病院医療相談センター Mより開会が宣言された。

2) 議事

最初にNより、当院を取り巻く種々の話題についての報告があった。

(1) Nより報告事項

[入学試験に関する問題]

大学のホームページ等で皆さんご存知だと思いますが、一昨年度以前の入学試験に関する問題で、第三者委員会の報告では、差別的な選別は行われていない、と結論付けられました。残念ながら文科省ではこれを認めてもらえず、不適切と判断されております。法人としては文科省の判断を厳粛に受け止め、更なる入試改革を進めていくこととしております。色々ご心配をおかけいたしました。

[選定療養費について]

当院では10月から選定療養費を算定するようになっております。開業医の先生の紹介状が無い初診患者さんから、5,500円を徴収するかたちです。10月から運用し2ヶ月経ちますが、特に大きなトラブルは無く運用できている、と報告を受けております。地域の皆様には不便かもしれませんが、ぜひご理解いただければと思います。

[満足度調査について]

本来であれば、今回満足度調査の結果をご報告するのですが、クラスター問題で遅れており、明日満足度調査を行います。次回、受診した方々や入院した方々の満足度調査の結果を皆様にご提示出来ると思います。

[With コロナ下における診療体制の整備について]

様々な面から診療体制を整備しております。1つは面会制限で、11月からご入院された患者さんは残念ながら面会できません。手術の説明など重要なお話する時はご来院いただきますが、原則面会は禁止です。現在、医療情報や施設と協議しながら院内のネット環境を整備しており、できるだけウェブでの面会ができるよう整備している途中です。

皆様も院内にお入りになる時にチェックを受けたと思いますが、正面玄関入り口で来院される方全員に問診と発熱のチェックをしており、職員で対応するシステムを作り上げています。朝外来が始まる前の8時半や9時くらいですと、患者さんが外まで並ぶような状況となっております。ご不便をおかけしていますが、安全な医療を提供するためにはやむを得ないと考えております。

入院患者に関しては、全症例でPCRもしくは抗原定量検査をして、陰性確認後に入院するかたちにし、院内の安全確保に努めています。入院後熱が出た方にも適宜抗原検査を行い、陰性の確認をする体制をとっております。

今後の見通しですが、社会で前回5月に緊急事態宣言が出た時のような事をやらないとパンデミックは収まらないのではないかと考えております。東京都や神奈川県も感染者が増加している状況で、川崎・横浜も医療機関の崩壊や逼迫状況が顕著になってきています。推移を見極めながら、当院も医療者が不足している中厳しいところもあります。少しでも陽性者の受け入れができるよう、場合によっては病棟閉鎖も含めて検討していかなくてはならないと考えていますので、よろしく願いいたします。

[資料 多摩病院におけるクラスター報告について]

上のグラフのオレンジ部分は10月28日となります。10月26日の月曜日に「発熱したので休む」と言った医師が、28日水曜日になっても熱が続いているということで病院に来てLAMPというPCR検査を行ったところ、新型コロナウイルス陽性ということがわかりました。外科の医師でしたので、当院の外科の医師8名を全員自宅待機とし、接触者の洗い出しを行いました。2日後の30日に外科の医師がもう1名陽性となりました。それ以外に内科の研修医、小児科の医師、研修医がローテーションをしていた内科病棟の看護師3名の陽性が確認されました。内科の同一病棟から4名出ていますのでここがクラスターと判断し、直ちに内科病棟を閉鎖しました。中の患者

さん全員の抗原検査を行いました。7名の患者さんの陽性が判明しこの後記者会見を行っています。この内科病棟をダイヤモンドプリンセスと同じように完全に閉鎖して中から外に出さないようにし、中に入るためには最も精度の高いN95マスクをしないと中に入れないようにし、看護師達も中にいる限りはそのマスクを装着して診療を継続しました。内科病棟でクラスターがあり、外科の医師と小児科の医師から陽性者が出て、内科だけでなくそれ以外のところにも陽性者がいる可能性が高いということで、この時点で病院全体を閉鎖しています。新規入院患者は入れず、救急搬送も診みせんでしたが、発生していたのは病棟だったので、外来だけは安全であろうと診療を継続しました。幸いそれ以降は囲い込みをかけたところ以外には陽性者は出ず、眼科の視能訓練士と別の内科病棟の看護助手の2名が陽性になりましたが、ここも囲い込みができて、囲い込んだ中での入院患者や退院患者、医療者等々の陽性者の封じ込めができました。

上の図が陽性が確認された日を表すのに対し、下の図は症状が出た日を表します。一番左の青の棒線は10月23日ですが、先ほど申し上げた外科の医師は10月28日に陽性が確認されていますが、その5日前に症状がある人が3名いました。その内2名が看護師で、23日に熱が出て2日間休んでいました。その2名が10月30日に新型コロナウイルス陽性と判明しました。恐らく10月23日に症状が出た人達がインデックスケースになり、院内で感染を広げたであろうと考えています。

グラフ下の箇条書き1から6は現状における課題です。1つめは、一般的に解熱後24時間経過したら就労可と言われており、それに則っていましたが、新型コロナウイルス感染症は一旦発熱し解熱しても、二峰性に熱が出るということだと思います。ですから現状では解熱後24時間経過し、かつ抗原検査もしくはPCRで陰性を確認してからでないでないと就労させていません。

2番目は検査精度ですが、LAMP法、PCR法、抗原定量検査、抗原定性検査など色々な方法がありますが、いずれの検査でも陰性で大丈夫だと思っていたら、次の日は陽性になっている方がいます。陽性になった方は数日前からウイルスをばら撒いていて、検査が陰性であっても伝播の源になり得るということをしかりと考えておかななくてはなりません。

3番目は2番目と同じで、4番目は不顕性感染者による持ち込みですが、症状が無い方でもコロナが陽性で人にうつす方がいらっしゃるのでもし医療者や患者さんに不顕性感染者がいると当然持ち込みを防げないということです。

5番目は、3密を防ぐ・避けると言われていますが、今の病院は患者さんの療養環境を優先させるために、医療者が使う共用部分のスペースが非常に狭くなっています。とても3密回避などできない環境で休憩したり業務を行なっています。その辺の改善をしなくてはならず、場合によっては病床を削減しその部分に医療者の居室を作る、もしくはマンションなどを借りて院外に仕事場を移すなどを考えていかないと、来年以降のWithコロナに対応できないかもしれないということです。

6番目の換気についても、冬に窓を開けて換気をしなくてはならないとなると、療養環境が悪くなるなど色々なことがありますので、課題を解決していかなくてはなりません。

[多摩病院における隔離解除、終息基準]

これは行政と相談しながら決めたもので、陽性の職員については発症から10日が経過し、かつ72時間無症状を確認後就労可としています。入院患者さんは発症から10日が経過し、かつ72時間無症状を確認後であれば陰性ということで隔離解除して良く、そして通常の稼働は最期の陽性者が確認されてから14日後とし、終息の基準は倍の28日後に終息宣言を出して良い、と行政の方から指示を受けました。これに基づき内科病棟の隔離解除は11月17日、予定入院・予定手術の解禁も11月17日、救急を含めた通常診療への復帰は11月20日、12月5日土曜日にホームページ上に終息宣言を掲載しています。最終的に終息宣言をした12月5日時点で、クラスター発生による陽性者は医療者以外の方が18名のうち患者さんが15名、ご家族が3名、医療者が21名でした。唾液による職員全員のPCR検査を1,100名に行っています。資料に掲載がある症例以外は全て陰性を確認しました。

以上が今回のクラスターの経過になります。関係者の皆様には大変ご心配をおかけしましたことをあらためてお詫び申し上げます。

(O)

ありがとうございました。Nからの報告をお聞きし、本当に大変だったことがひしひしと伝わってまいりました。ご質問やご追加、何かございますでしょうか。

(K)

医師会の会員から、検査を縮小した時は登録紹介医宛にFAXで一斉配信して欲しいという意見がありましたのでお知らせしておきます。検査予約を入れようと電話したら「止めています」と言われたとのこと。止めることを決めた時点で登録紹介医に一斉配信して欲しかったです。

(O)

申しわけありませんでした。今後そのようなことが無いようにしたいと思います。

(O)

その他、ご質問やご追加ありますでしょうか。それでは次の議題に進めさせていただきます。

(2) 救急災害医療センター患者来院数について (資料1)

(O)

資料1をご覧ください。上段と下段に分かれており、上段が2020年度救急災害医療センター患者来院数を示しております。左端の(A)はウォークイン患者数の推移をあらわしています。10月のウォークイン患者の総数は377名で、その下の白抜きの入院のところで36パーセントにあたる134名が入院したということがわかります。

(B)は救急車で来院した患者数の推移をあらわしています。10月は325名が救急車で来院し、その下の白抜きの入院のところで34%にあたる110名が入院したことが

わかります。

(A) と (B) を足したのが一番上の救急患者取扱数 (A+B) となり、10 月は合計 702 名が来院され、うち 35 パーセントにあたる 244 名が入院したということになります。

表の緑色のハイライトで示しているのが救急災害医療センターへの紹介患者数の推移です。10 月ですと 125 名の患者が紹介されて救急災害医療センターを受診され、その内の 63%にあたる 79 名がご入院に至りました。それぞれの項目の 10 月までの合計が表の右端に示されています。

前年度との比較ですが、下段の救急災害医療センター患者来院数 年度別月平均患者数をご覧ください。上段のデータの月平均患者数を、一昨年度・昨年度・今年度で比較できるのですが、今年度にご説明したすべての項目において大きく下回った数値となっております。表の右側のサマリーに記載があるように、救急の患者数はウォークイン・救急車問わず全般的に落ち込んでいるのが現状です。

(O)

ありがとうございました。ただ今の説明に対し何かご質問、ご追加ありますでしょうか。救急車来院での入院が 34 パーセント、ウォークインで入院となったのが 36 パーセントで、救急車の方が必ずしも入院の確立が高いわけではなかったようですね。

(O)

従来、傾向としては救急車の方が高いというのがあったのですが、ここしばらくは絶対数が減っていることもあり、例年通りの傾向を示していないと思います。

(O)

ありがとうございます。その他に何かございますでしょうか。

(K)

入院率というのは上がっているのでしょうか。ある程度重くなってから来院する人の割合が増えた、ということですか。

(O)

2020 年度は各項目の入院された方のパーセンテージが 32 パーセントとなっており、例年に比べて高くなっています。来院される方の数は減っていますが、その中でも入院に至らないような軽症から中等症の患者さんの数も減り、受診控えのような状態にもなっていると思います。

(O)

良くとればコンビニ受診が減ったということですね。救急に来る患者さんが減った分、医師会でやっている休日急患診療所に来ているかということ、休日急患診療所も 10 の 1 とか 3 分の 1 とか、それくらい減っていますから、明らかに比較的軽い患者さんが受診控えをしているようです。

(K)

ウォークインでのCOVIDの患者数はいかがでしょうか？

(O)

ウォークインの患者さんでCOVIDだった方の数もウォークイン患者数に含んでいます。来院患者の振り分けで、熱や気道症状がある方は発熱フローに回され検査しています

(O)

神奈川県各郡市医師会で行っているPCR検査を行う集合検査所の陽性率は、県全体で4.5パーセントです。川崎の場合は集合検査所が3か所ありますが、すべて医療機関を1回通しているの、選別されて検査が必要とされた患者さんの陽性率がだいたい10.5パーセントです。ここでのウォークインで来た患者さんが、どれくらいの陽性率かわかりになれば教えていただけますか。

(O)

1か月くらい前で3パーセントくらいだったと思います。当院もそれほど高くはないのですが、日によっては10名検査をして3名陽性だったりすることもあります。

(O)

毎日中央検査所の結果がこの時間帯に出てきます。その結果を確認し各医療機関へ報告するのですが、今日は13件のうち2件が陽性でした。

年末年始ですが、多摩区でいえば休日急患診療所と多摩病院と、恐らくこの2カ所だけになってしまうと思われます。ほとんどの診療所が31日・1日・2日・3日とお休みを取ってしまうので、休日急患診療所が何とか対応しなくてはいけないだろうということで試行錯誤しつつ、少なくとも抗原検査、PCR検査ができるかたちをとっています。ただ、区によって多少温度差はあるのですが、今、川崎市全体の1日の行政検査の対応件数は400~600件の間を推移しています。1つの区に100名ぐらいの検査依頼がきた場合、それに対応する一つとして休日急患診療所もお手伝いさせていただいております。もし入院となった場合は保健所を通しますけども、そのときはよろしくお願ひしたいと思います。

それでは議事を進めさせていただきます。

### (3) 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率について（資料2-1）

(O)

資料2-1は今年度および昨年度の地域医療支援病院の紹介率・逆紹介率を示しております。紹介率と逆紹介率の算定方法は表の下に算定式を掲載しておりますのでご参照ください。当院の施設基準になっている紹介率は65パーセント、逆紹介率は40パーセントですのでこの数値以上をもって施設基準をクリアしたということになります。実線で示しておりますのが今年度、点線で示しておりますのが前年度の推移になります。今年度10月までの紹介率は平均で70.6パーセントとなっております。10月まで



の逆紹介率の平均は62.8パーセントとなっており、いずれも現状は施設基準を満たしております。今年度は救急患者数と共に初診患者数も大きく減少していますので、この算定式に当てはめると紹介率・逆紹介率は若干低下しているものの、数値的にはあまり大きな影響を受けておらず推移しているのが現在までの状況です。

(O)

ありがとうございました。率ですので、絶対数が増えている減っているというのは特に関係なくこのような紹介率・逆紹介率になっています。この結果について何かご質問やご追加ありますでしょうか。安定した紹介率・逆紹介率で基準を十分クリアしているということによろしいかと思えます。

(O)

資料2-2について説明させていただきます。11月末時点での登録紹介医件数は436件で、医科が345件・歯科が91件です。多摩区では163件で医科が100件・歯科が63件の登録があります。今年度の当院への紹介件数は10月までで9,648件でした。そのうち多摩区の登録紹介医施設からは4,805件で全体の約50パーセントで、多摩区以外の登録紹介医施設からは1,292件で約15パーセント、非登録紹介医施設からは3,551件で36.8パーセントの紹介をいただいております。例年同様に多摩区の登録紹介医施設からのご紹介は半数を占めておりました。ご紹介件いただいた件数は、9月までは昨年度と比較して低い数値で推移していましたが、9月10月くらいから昨年度並みに盛り返してきている状況でした。今回のクラスターの影響を受け、11月に関してはまた厳しい数字になることが想定されます。現状までの推移は以上です。

(O)

ありがとうございます。こちらは全体数、数になりますが、ただ今の説明に対しご質問、ご追加はありますでしょうか。なければ高額医療機器の共同利用についてお願いいたします。

#### (4) 高額医療機器の共同利用 (資料3)

(O)

高額医療機器の共同利用ですが、CT・MRI・超音波・内視鏡の4つが対象となっています。10月までの推移を見ていただきますと、全医療機器の利用件数は昨年度と比較し大きく下回っております。そのような中でも、9月10月くらいになりますと春先に比べてご利用いただく件数が比較的順調に回復し、MRでみると昨年度を上回る数値になっています。これについても先ほど申し上げたように、11月以降はCOVIDの影響で例年よりも下回ることが想定される状況です。

(O)

ありがとうございました。CTやMRIに関してはだいぶ例年並みに数が戻っていますが、口の中に入れる内視鏡が多少下がってくるのは仕方ないかと思えます。ただ今の件に関しまして何かご質問やご追加ありますでしょうか。

(K)

フルでの件数はどのような状況でしょうか。例えばCTですが、フルで運用するとどれくらいまでの件数が入るのでしょうか。

(O)

MAXまで予定を入れると何件になるかというご質問ですが、細かい数値は把握しておりませんので、後日調べて対応させていただきます。

(O)

病院として対応できる数、入院患者さんと外来患者さんを含めてということでしょうか。

(K)

入院患者さんと外来患者さんを含めて病院としてMAXどれくらいまで対応できるかということですか。

(O)

1か月に予約枠をどれくらい準備しているかということでしょうか。

(K)

機器の使用率が分かると思います。

(N)

だいたいですが1日20~30件くらいで、月にすると600件くらいになると思います。

(O)

院内の入院患者さんと外来患者さんの予約枠は8割くらいとか、おおよその目安を立てているのでしょうか。

(N)

目安はありますが、予約枠以外でCTは緊急で入ることが多く、総数を出すと月に700くらいになると思います。

(O)

CTに関しては電話1本で緊急に撮影依頼をしていただくことが可能です。院内の医師も診療中に必要があればその場でどんどん予約を入れていきますので、決まりがあつて無いような数の設定になっています。

(K)

参考に、MRや超音波、内視鏡の数値もおわかりになりますか。

(N)

管理運営会議の資料から、本日中にお答えできます。

(O)

ありがとうございます。それでは先に議事を進めさせていただきます。地域医療従事者向け研修会についてよろしくお願いたします。

(5) 地域医療従事者向け研修会 (資料 4)

(O)

今年度は全てがWeb開催となり、新たな取り組みとして登録紹介医の方々へ向け、各診療科から動画を用いた情報提供を開始しました。ご案内ですが、毎月登録医宛に医療相談センターから外来担当医表と共にQRコードをお送りして、動画をご覧いただけるようになっていきます。第1回が7月で脳神経外科が担当し、続いて血液内科、循環器内科、整形外科が担当し、最新では病院長が今回のクラスター対応についての動画を発信しました。今後も外科や総合診療内科などから配信予定です。

(O)

ありがとうございました。ただ今の件について何かご質問やご追加はありますでしょうか。新型コロナウイルスクラスター対応についての動画ですが、登録紹介医と共に、近隣の薬局や歯科医などにも配信しているのでしょうか。

(O)

直接薬局には配信していないと思います。

(Y)

薬剤師会の理事向けに来たものを薬剤師会員に回すかたちになっています。

(O)

視聴回数はいかがでしょうか

(O)

100件前後です。

(O)

ありがとうございます。その他何かございますでしょうか。

(N)

先ほどのご質問についてですが、10月のMRIの件数が737件、CT1,880件、超音波検査が1,128件、内視鏡の検査はいろいろ細かく分かれています。上部内視鏡検査が305件、下部内視鏡が196件、ERCPが18件となっています。

(O)

院内で行われているそれらの検査の総数ということでしょうか。

(N)

全ての件数です。

(O)

ありがとうございます。その他ご質問はよろしいでしょうか。

(K)

院内にいと現場の実態が見えないというのがありまして、せっかくの機会ですので多摩病院の方や先生方に教えていただきたいのですが、先ほどコンビニ受診や受診控えといったことが話題に上がりました。受診を控えることによってどれだけ悪化してしまうのかが行政としては非常に気になるところです。コンビニ受診が無くなるというのは悪いことではありませんが、コロナ禍における不安から受診を控え、重症化してしまうのは看過できないと考えております。現場の傾向として、率は高まっているのですが、数的にそのようなことが原因として重篤化しているような傾向はありますか。

(O)

特に変わった印象はありません。救急で来院する患者さんに極めて重症化した方が多くなったという印象はなく、通院患者さんにしても結構きちんと来院していて、中にはFAX処方に変更したりする方もいますが、それなりにドロップアウトすることなく通院されています。

(K)

ありがとうございます。Kいかがでしょうか。

(K)

いらっしゃる方は今までどおりいらっしゃるのですが、皆さん1か月処方を嫌がり、2か月処方や3か月処方などの長期処方を好まれる傾向にあります。ですので延べ人数は減ります。来る方は来ますし、来なくなった方はそう多くはないように思います。糖尿病で服薬せず血糖値が上昇してしまうというような方もいますが、それほどひどくはないと思います。

(K)

ありがとうございました。必要な方に必要な医療が比較的行き渡っているということが確認でき、安心いたしました。

(N)

病院の中で入院患者が減っている割に単価が増えています。重症な方の入院が残り、

軽症の方の入院が減っていて、その軽症の中に白内障などの患者さんがたくさん入ってくるのであろうと思います。重症に関しては恐らく超過死亡というかたちで将来的にはどれくらい超過死亡が増えたか、その中でコロナがどれくらいいるのかといったところ出てくるだろうと思います。‘今受診しなくてはいけない病気’ではない、例えば高血圧や糖尿病のような方の受診控えの結果があらわれてくるのは、恐らく1年後や2年後、5年後くらいとなってくるのであろうと思われ、その辺の影響をどのように捉えていくのか、なかなか難しいと思います。現場の感覚としてはそれほど受診控えの人が増えているという印象はないと思います。

(K)

わかりました。ありがとうございます。

(O)

僕の感覚ですが、COVIDの第一波のときは死亡率が高く、重症化率も非常に高かったと思います。疑わしいという患者さんがいても検査体制に結びつかず、そのうちに重症化したりしていましたが、一つには簡単にアクセスできないということがあったのではないかと思います。いよいよ具合が悪くなり、入院適応のある人だけがPCRの適応だという時期もありました。それが今は自費の部分も少しはあるようですが、検査体制がだいぶ充実したことで早期発見・早期対応ができるようになり、さらに広げないことに大いに役立ったのではないかと、重症化するまで放っておかれてしまうというのは無くなったかと思えます。

また、実際にご老人たちを診ていて、2月くらいまでニコニコして歩いて来ていた一人暮らしの方が春先から段々と来なくなり、来た時にあざを作っていて、そのうち認知症が始まり、「うちに一人でおいておけません」と家族が連れてきたというような方をもう3人ほど施設に送りました。一人暮らしが無理だから老人ホームに入りますという方もいらっしゃいました。これらは実際に受診控えの影響もあるのかなと思います。特に独り暮らしの老人に対し、息子さんなどが「医療機関に行ったら病気をもらっちゃうから出ちゃだめだよ」と言うので来れなかったという方もいました。

検死をやっていて、COVIDが始まって3か月間、心不全で定期的に病院に通院していたのを通院せず、薬がなくなり服用せずに自宅で亡くなっていた、というような検案は確かに増えているような気がします。ですから見えないところでは受診控えの影響は確かに出ていていると思います。

(K)

ありがとうございます。

(K)

人間ドックを受ける比率ですが、コロナに関連してだいぶ減っているような気がするのですが、そうすると多分何年後かに成人病の患者が増えてくる可能性があるように思うのですが、このへんについてデータはお持ちでしょうか。

(N)

多摩病院は川崎市の健診を中心に展開をしています。4月5月あたりはほとんどキャンセルになりました。脳ドックを含めた健診を受ける方達が減っているのは事実ですが、それが今後どのように影響するかはわかりません。

(O)

各企業健診や学校健診など、春先は皆中止や延期措置が取られていたようです。

(S)

先ほどのKからのご質問ですが、歯科に関しては明らかに受診控えが多く、重症化する率が高いです。半年に1回の定期健診いわゆる歯石除去や歯周病予防に関し「今回は止めよう」と延ばした結果、明らかにひどくなった症例が見られますので、影響は大きいと思います。

多摩病院に要望なのですが、11月から12月かけて当院の患者を口腔外科に3名ご紹介しました。至急で送り、診ていただくのが1月です。コロナの時節柄難しいとは思いますが、早く診ていただけるようにしていただきたいと思います。新百合ヶ丘総合病院はユニットを5台に増やしたそうです。こちらは2、3台で、スペースの問題もあるかとは思いますが、もう1台増やしていただきたいと要望いたします。

(N)

ユニットを増やすことについては、スペースの面を含めて検討させていただきます。ありがとうございます。

(S)

親族のNICUの医師がコロナ患者の対応をしており、話を聞くたびに本当に大変だということがわかります。東京の病院では12月に都や市から職員に特別手当が支給されたという話を聞きました。頑張っている多摩病院の方々へも県や市から支給されることを希望いたします。

(Y)

10月下旬のクラスターということで電話受診に変更されました。春先もそのようなケースが結構あったのですが、薬剤部の方から丁寧な連絡を受け、処方箋の授受がうまくできまして大変助かっています。情報提供が丁寧で、お忙しいとは思いますが今後ともよろしく願いいたします。

(N)

FAXではなく、今後はぜひ電子お薬手帳を川崎市で普及させていただきたいと思えます。

(Y)

川崎市薬剤師会ではh a r m o (ハルモ) を使っておりまして、こちらに入院され

た方がハルモの電子お薬手帳を薬剤部にしっかり見ていただけて、とても助かっております。ありがとうございます。

(O)

電子お薬手帳ですと携帯電話に情報が入っているのは確かに便利ですが、患者に見せていただいて移すことを考えるとお薬手帳の方がやりやすいように思うのですが。

(N)

ハルモはアダプタがあり、それを使えば情報を電子カルテの中に情報を取り込めます。アイン薬局や日本調剤は別々のソフトを持っていますが、川崎市でそれらを統合しすべて端末に取り込めるようにしていただければうれしいのですが。

(K)

3年くらい前に電子お薬手帳の普及啓発を図る目的で、1年間の期間限定でハルモと川崎市で協定を締結しました。市内の医療機関や薬局などにご紹介し、さらにそこを通じて市民にご紹介し普及啓発をするといったことを社会実験として行いました。当時ハルモが無償で端末等々を貸し出しし、公益性が高いということで川崎市と一企業で行った経緯があります。現在は協定期間も切れ、一企業と提携してはおりません。ハルモやそれ以外の業者さんが電子お薬手帳に取り組んでいる中、国の方でもいわゆる保険医療情報の一元化ということで、どこの病院でどのような治療を受け服薬しているかを共有し医療の効率化を図ろうと、2020年中にプラットフォームを作り第一段を動かすというスケジュールが示されておりました。ところがコロナ禍によりその動きが止まっております。スケールが大きい一自治体でできる話ではなく、国の動向を踏まえながらどのようなバックアップができるかを検討していきたいと思っております。

(O)

ありがとうございました。何かその他ご質問はありませんか。  
それでは特に無いようですので、事務局から何かありますでしょうか。

### 3) 閉会

(事務局より)

本日の議事録は委員長の確認後、各委員に配布させていただく。  
また、次回開催日時を令和3年3月3日(水)13時30分からとし、14時30分、Oの閉会の辞をもって終了とした。

第38回 川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会 議事録

日 時 令和3年3月31日(水) 13時30分～14時30分

場 所 川崎市立多摩病院2階講堂

出席者  
委員 O, K, S, T, Y, T, K

病 院 (事務局)

医 師 N, O, M, A

看護師 I, K

事務職 A, M, I, M, K

(川崎市病院局) T, I

配布資料

- ・第38回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会次第
- ・第38回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会座席表
- ・病院長報告資料
- ・救急災害医療センター患者来院数・・・・・・・・・・・・・・・・(資料1)
- ・川崎市立多摩病院 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率・・・・・・・・(資料2-1)
- ・登録紹介医施設からの紹介件数の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・(資料2-2)
- ・高額医療機器の共同利用・・・・・・・・・・・・・・・・(資料3)
- ・川崎市立多摩病院地域医療従事者向け研修会・・・・・・・・(資料4)

1) 開会

多摩病院医療相談センター Mより開会が宣言された。

2) 議事

最初にNより、当院の種々の話題に関する報告があった。

(1) Nより報告事項

〔COVID対応病床確保のための病床再編と利用方法について〕

最初にコロナ病床の確保状況について説明させていただきます。資料の表は7月1日からの状況を表しております。7月1日からGo Toキャンペーンが始まり、かなり収束した状況であったため、5階東病棟を48床から30床に減らしコロナ対応することを決めておりましたが、8月に入る前から患者数が急速に増加しました。第3波収束後、神奈川県から患者数が少ないので病床を元に戻すよう言われていますが、いつ



コロナ患者が急増してもおかしくない状況ですので、当院ではコロナ病床をそのまま確保しています。5階西病棟（48床）と3階東の成人病棟（19床）を全て空け、これらの病棟の看護師をコロナ専用病床である5階東病棟に割り当てています。当院は376床ですが稼働しているのはコロナ病床を含め280床で、100床近くを空床にしコロナ対応に備えています。

5階西病棟と3階東病棟の空いたところに関しては、医療従事者の密を避けるため職員の休憩室にしたり、臨床工学室を移動させ感染制御室を拡張するなど様々な工夫をして職員の密をできるだけ減らし、これから起きるであろう第4波への対策を進めています。

（資料 多摩病院入院症例数より）青色がコロナの陽性患者数で赤色が疑似症患者数です。3月14日までの表ですが、これ以降もコロナ陽性患者は6~8人くらいで推移しています。緊急事態宣言が3月21日に解除され、今の人出を考えると、4月になる明日以降1週間くらいで、第3波の時と同じくらいかそれを上回るペースでコロナ患者が増えてくるのではないかと考えております。

#### [新型コロナワクチンについて]

多摩病院は国の指定する基本型接種施設に認定され、4箱（3千人から4千人分くらい）のワクチンが搬入されました。医師と看護師は1回目の接種が終了し、来週から2回目の接種が始まります。国のスキームによると、本来は基本型接種施設から連携型接種施設（医療従事者等接種）とサテライト型接種施設（住民への接種）へワクチンを振り分けることになっていましたが、神奈川県が医療従事者等の連携型、川崎市がサテライト型になり、スキームと変わっていて、現状はそれぞれの詳細がわからない状況です。

ファイザーのワクチンに関してですが、The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE のデータに基づいて接種されています。有効率が80パーセントから90パーセントと言われていますが、発症した・しないの区分けについては熱の有無・新たな咳の発症・呼吸障害の有無などの項目があります。恐らく熱というのは38度以上の熱のことだと思いますが、38度に満たない場合は非感染者にわり振られていて、日本の場合は37.5度を超えると感染者として検査するのでワクチンの有効率が少し下がると思います。

諸外国の10日前のワクチン接種率ですが、韓国の1回目の接種率は全国民の1.3パーセント、2回目接種は0.1パーセントに満たない状況で、第3波のピークが下がっているのはロックダウンの効果に他ならないということになります。日本は2回接種が0.1パーセントに満たず、最も先行していると言われているイスラエルは50パーセントで集団免疫の獲得には至っておらず、感染者が減っているのはロックダウンや緊急事態宣言に準じるような政策をとっているからだだと思います。米国は2回接種率が13パーセント、英国は2回接種率3.4パーセントでかなり厳しいロックダウンを行っています。フランスもロックダウンをしています。2回接種率が3.6パーセントで国民性からか若者が従わず街に出て、コロナ陽性患者が上昇傾向にあります。日本に振り返って考えてみると、感染状況はワクチンの接種状況からもなかなか収まらないのではないかと、来年度前半くらいでは収まらず、多分1年くらいはコロナウイルスと

の戦いは続き、対応していくことになると思います。

#### [令和三年度 当院の目標について]

令和2年度の目標は、ポストコロナ時代のV字回復を目指して色々な目標を立てていました。残念ながらコロナ問題が落ち着くことはなく、3年度の方が2年度よりもさらに状況が悪くなると予測しております。ウイズコロナ社会の中でどのように医療体制を確保し働き方改革を進めていくか、ということを中心に据えています。

「病棟再編の検討」ですが、地域包括ケア病棟と緩和ケア病棟を作ること为目标にしております。来年度後半には完成し、がんで緩和ケアが必要な方や、在宅療養している方でそれほど重症ではないが救急での入院が必要な方を対象とします。

他に「入院稼働の効率化」「外来診療の効率化」「教育面の拡充」「安心・安全な医療の実践」「救急災害医療センター・総合診療センターの機能維持」に関しては2年度と同じです。

#### [手術支援ロボット「da Vinci」の導入について]

da Vinciを購入し、3月27日土曜日に手術室に搬入されました。これにより川崎市立の3病院全てにda Vinciが導入されたこととなります。運用スケジュールですが、4月中旬くらいにワーキンググループのキックオフをし、高難度新規医療技術ですので施設要件を満たすことをしつつ、10月くらいからda Vinciを使用した手術が始められればと思います。ホームページやタウンニュースへの掲載など様々な方法で登録紹介医の方々へ広報していきますので、よろしく願いいたします。

#### [川崎保健医療プランと当院の対応について]

平成30年3月に5ヶ年計画で作成されたものです。この中の「病床機能の確保」や「感染症対策」ですが、先ほど申しあげましたとおりCOVID-19病床をしっかりと確保して今後のパンデミックに備えていくこととなります。「病床機能の分化及び連携」と「地域における医療・介護の連携体制の構築」については地域包括ケア病棟を新設し対応していきます。「がんの医療体制」については緩和ケア病棟を新設し、地域に適切な医療を提供していくこととなります。「認知症対策」ですが、川崎市には認知症疾患医療センターが日本医科大学武蔵小杉病院と聖マリアンナ医科大学の2カ所がありますが、あと2カ所新設することになっていて、多摩病院は手上げております。北部は多摩病院と川崎記念病院、新百合ヶ丘総合病院が手上げし、南部は川崎市立川崎病院が手上げしていると聞いております。認定いただきましたら、認知症ケアの北部地域の中核になっていければと考えています。

#### [当院ホームページのリニューアルについて]

ホームページのリニューアル作業に入っており、約1か月後に皆さんの目に触れることになると思います。そもそもホームページは何のためにあるのか、多くの情報が掲載されているホームページではなく、使いやすくアトラクティブな新しい概念のホームページを作ろうと、現在バンダーと共に作業をしています。

私からは以上となります。

(O)

ありがとうございました。病院長報告でございますが、何かご質問はありますでしょうか。

(N)

本来であれば前回で患者満足度調査の結果を提示をしなくてはならなかったのですが、調査を前回の会議直後に行ったため提示できませんでした。それについて、今ご説明させていただいてよろしいでしょうか。

お手元の資料の外来患者満足度調査結果報告書ですが、満足度調査に参加していただいた方の年齢や当院にいらした背景などの属性と、「外来の待ち時間」や「会計の待ち時間」、「プライバシーの配慮」といった様々な項目についてのアンケートを行っています。それをまとめたものが資料のVI. ベンチマーク分析 1/2 で、折れ線グラフは50 病院で実施しての平均値、棒グラフは当院の実数です。「待ち時間」や「情報提供の適切さ」「駐車場の利便性」について、低いことは低いのですが、全国のベンチマークに比べると当院は全ての項目で良い状況であることがこのグラフからわかると思います。

VI. ベンチマーク分析 2/2 は偏差値グラフで、平均値を 50 にして相対的にどうかを見ています。会計の待ち時間はほぼ全国平均ですが、それ以外は全国平均を上回っている状況にあります。

VI. 経年変化は前回の当院の値と今回の当院の値の比較になっています。前回の値が折れ線グラフで今回の値が縦の棒グラフになります。悪化しているものと改善しているものがあり、悪化しているのが「会計の待ち時間」「プライバシーの配慮」「待合の雰囲気」「駐車場の利便性」です。逆に「当院の受診」「当院の紹介」「事務の信頼」「事務のわかりやすい説明」「事務の質問や相談のしやすさ」が良くなっています。

入院患者の満足度調査も同様に実施させていただいており、VI. ベンチマーク分析 1/2 では 46 病院のベンチマークと比較した結果をご覧ください。「入退院の手続き」「面会の時間帯」が平均よりも低く、これは新型コロナウイルスの問題で面会をすべて禁止にしていることの影響があります。少しずつ体制を整備して現在希望者には病院にお入りいただき、以前カフェがあった場所でネットを使い病棟の患者さんと面会できるシステムにしております。コロナの状況下で入院患者さんの満足度を上げるのは難しいですが、比較的良いデータであると考えております。

VI. ベンチマーク分析 2/2 は、先ほどと同じく全国平均を 50 とした場合の当院のデータです。今まで「食事について」は良い評価は出なかったのですが、今回は全国平均よりも良くなっています。

VI. 経年変化ですが、前回 2020 年 3 月と比べて今回はどうであったかを表しています。これも「入退院の手続き」「面会の時間帯」が前回よりも悪くなっています。コロナのパンデミックは今後 1 年くらいは続くと思われ、患者の利便性や満足度を上げていくためにさらに色々な対策を講じなくてはならないというのが、今回の外来患者および入院患者満足度調査の結果からわかります。

私からは以上です。

(O)

ありがとうございました。満足度調査について何かご質問・ご追加はございますか。

(K)

食事について結果が良くなっていますが、何か食事の採点でもしたのですか。

(N)

食事の料金は診療報酬で規定されていますが、その範囲で収めようとせず少しでも超えても構わない、患者さんにとって入院食は一番の楽しみになるので何とか改善して欲しいと日々厳しく言っておりますので、色々工夫されているところです。

(K)

入院患者の「面会の時間帯」の項目ですが、多摩病院の場合は他の病院の平均と比べて少し低くなっている理由は何でしょうか。

(N)

全国の色々な病院が含まれており、感染の状況は一都三県が最もひどいのですが、鳥取や山梨といった感染者がほとんどいないようなところだと普通に面会ができます。当院は一切面会をできなくしてしまいました。

(O)

全国平均は、この年度の平均になっているのでしょうか。この全国平均はコロナ問題が大きくなる前の、前年度の平均ということではないでしょうか。

(N)

基本的に1年に1回以上の満足度調査を行っている病院がベンチマークとして入ってきているので、恐らくコロナ禍の中でのものなのですが、行っているタイミングが第1波の最中なのか第3波の最中なのか、それとも収束している時期かで当然変わってくると思います。

(O)

ありがとうございます。我々も外来診療を行う中で色々な制約を設けさせていただいているので、満足度を上げるのは難しいであろうと思います。外来部門における安全安心な医療の提供に関する項目など、元々設定された項目で調査していて、今年だけの新しい項目を設定しているわけではない、ということでしょうか。

(N)

項目を追加して自由意見のようなかたちで記載いただくことはできるので、それは別途集計しています。

(O)

患者さんから門前トリアージで相当時間がかかるということをお聞きしました。最終的には、入館した人達にとってはそれだけやっていただけているという安心感があると思いますが、そのあたりをどのように受け取められているのか評価が気になりました。

それでは議題2に進めさせていただきます。

(2) 救急災害医療センター患者来院数について (資料1)

(O)

資料1をご覧ください。上段と下段に2つ表があります。上談の表ですが、2020年度救急災害医療センターの患者来院数を示しております。表の中で(A)と(B)の項目に分かれております。(A)はウォークイン患者数で、自家用車など救急車以外の手段で来院した患者数を示しています。本年2月のウォークイン患者数は328名いてその内29パーセントに当たる94名が入院しています。(B)は救急車で来院した患者数で、2月で見ると287名が救急車で来院され、その内30パーセントに当たる87名が入院されているということになります。救急で取り扱ったすべての患者数が1番上の救急患者取扱数(A+B)で示され、2月は615名でその内の29パーセントに当たる181名が入院されました。右端に1月から2月までの総数が示され、ウォークイン患者と救急車で来院した患者は合計で7,185名が来院しその内の32パーセントに当たる2,304名が入院されました。2019年度と比べかなりの患者数の落ち込みがあります。

この表の一番下・緑色のハイライトの部分は救急災害医療センターへの紹介患者数の推移を表しています。2月は70名が紹介状を持ち来院され、その内の約半数である54パーセント・38名が入院されました。やはり紹介患者さんの入院に占める割合は多くなっています。救急患者さんの取り扱い実数は、3月を残し前年度をかなり下回る結果になりました。

下段の表は、救急災害医療センター患者来院数を年度別に月の平均患者数で比較しております。一番上が取扱総数、その下が内訳で(A)がウォークイン患者数、(B)が救急車で来院した患者数ですが、今年度はすべての項目において昨年度と一昨年度を大きく下回っております。このような結果になりましたのは、やはりコロナの影響が強いと考えられます。重点医療機関としてコロナの患者さんを多数受け入れておりますので、先ほど病院長のお話にもありましたように、一般病床を縮小して280床前後での運用となっておりますので、受け入れる患者さんの数も制限されてしまい、救急の応需率が下がっているのも大きな要因の一つではないかと考えております。また、当院でクラスターが発生したことから、患者さん側から受診控えがあるかもしれませんし、年間の統計の中でそのようなことも関与しているかもしれません。

(O)

ただ今のところまでで、何かご質問やご追加はありますか。

(K)

コロナ下での救急車の応需率はどれくらいでしょうか。

(O)

把握している範囲では40パーセントから50パーセントくらいです。

(T)

多摩区の救急指定病院は市立多摩病院のみで、多摩区の救急隊のほとんどは第一選択が多摩病院になります。活動報告書を見るとCOVIDが関係してか応需不能が多いです。今、手持ちの資料がありません。断られる理由や件数が報告されていますので、次回までに用意してお答えできるようにしたいと思います。

(O)

この一年間にクローズの期間も何度かあったと思いますが、どの月で何日間くらいでしたか。

(O)

10月後半から11月にかけて3週間程度、救急を閉じている期間がありました。

(O)

1回だけでしたか。

(O)

完全に閉じているのは1回です。

(O)

一般外来とは別で救急を閉じたのはこの1回ですか。

(O)

はい、そうです。

(O)

そのようなことが影響して数字が多少変わるかと思います。この病院は三次救急ではないので、三次相当の場合は多摩病院が第一選択にならないということはあるかもしれませんが、ショックなどこの病院では対処が難しい項目もいくつかあると思います。

(O)

意識障害については比較的応需していますが、ショックや重症度の高い外傷系は応需できないことが多いと思います。

(O)

一般の方達は「応需率が低い」とお聞きになると、「いけないこと」と思われるかもしれませんが、病院はしっかり機能分類をしています。三次相当である場合や専門スタッフの必要性などを考え聖マリアンナ医科大学へ持っていくという選択もあるかも

しれません。お断りする理由により考え方も変わってきますので、数字だけではなくご理解いただければよろしいかと思います。

(N)

第3波のときは非常に厳しい状況におかれ、コロナ診療だけで手一杯で救急患者さんが取れないのは東京だけではなく神奈川県でも同じで、当院もそうでした。断らざるを得ず、断らないできちんと診察させていただくために、皆さん飲み会に行かないでくださいと心からの思いで発信していたのは、そういうデータもあってのことでした。

(O)

救急車応需の3,273というのは出動の回数に対しその40~50パーセント台とすると、年間の救急車出動件数はおおよそ6千台弱と考えてよろしいでしょうか。

(O)

数値はこちらが記録している範囲となります。

(O)

ありがとうございます。その他何かございますでしょうか。

(K)

今年度2月までの合計と昨年度のデータを比べると、入院する比率が少し高くなっていますが、コロナ絡みでの受診控えということでしょうか。

(O)

受診控えかどうかは定かではありませんが、恐らく軽症の患者さんの救急への来院が少なくなっていると思います。入院に至らない軽症患者さんの救急の受診数低下が、入院患者さんの率の上昇に結びついていると考えています。

(K)

それは病院にとって良い傾向なんでしょうか。悪い傾向なんでしょうか。

(O)

良い傾向だと思います。本来、救急では急な重症疾患を診るので、結果的に適正な救急受診につながっていると思います。

(K)

そうすると病院ではなく、一般の診療所の患者が増えているのでしょうか。

(O)

いわゆる‘コンビニ受診’が確実になくなりました。そして本当の急性および重症

な方は受診して、初期はOCT・ドラッグストアの市販薬でまずは様子を見ようという患者さんが増えています。現に、川崎市には各区に休日急患診療所があり多摩区には365日やっている夜間診療所がありますが、全体的に受診数は平年に比べて20パーセントまで減っていて約8割減です。ですので、多摩病院に患者が来院しなくなったからといって休日急患診療所に患者が行っているかというところではありません。診療所の方も急性疾患の患者さんは明らかに減っています。慢性疾患の患者さんはそれほど変わりはありません。長期処方になるので当然ある程度の数は減りますが、急性疾患がほとんどを占める小児科等に関しては相当な数の患者さんが減っています。どこか増えたところというのは、ほとんど無いと思います。

(N)

健康診断や恐らく歯科の受診も減っています。要は早めに受診した方が良いのに病院に来ない方達が増えてしまっているという印象です。コロナ下ではありますが、何か気になる症状があったら積極的に医療機関に受診していただきたい。目が見えにくい・字が読みにくくなったなどの症状があるのに放っておくと、白内障が進行してからは手術しても良くならないかもしれません。川崎市と多摩区の医師会長もおられることですし、多摩病院と共に何かキャンペーンを張るなどして受診控えをなくそうとしっかり社会に訴えていった方が良いのではないかと思います。治療ができないほどに悪化させるまで我慢する方が多く、ぜひ何とかしたいと思っております。

(O)

年間150から180体くらいの検死検案で警察に行きますが、高齢者が親族からコロナを恐れて医療機関への受診を止められ、持病のお薬を3、4か月間飲まずに在宅死するというケースが去年後半くらいからとても多いと思っていたので、高齢者の受診控えが数字に表れていると感じました。メディアに対し様々なかたちでコメントすることがありますので、必要以上に怖がらず、受診控えの問題も積極的にコメントしていきたいと思います。

(3) 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率について（資料2-1 資料2-2）

(O)

資料2-1は今年度および昨年度の地域医療支援病院の紹介率・逆紹介率を示しております。資料の下に紹介率と逆紹介率の算出方法を記載しています。当院の施設基準となっている紹介率は65パーセント以上、逆紹介率は40パーセントで、折れ線グラフの表の赤い線が40パーセントと65パーセントのラインです。折れ線グラフの実線は今年度で点線が昨年度の紹介率と逆紹介率を表しています。今年2月までの紹介率の平均は71.4パーセント、逆紹介率の平均は64.7パーセントになっています。3月を残して2月の段階では紹介率・逆紹介率とも施設基準を上回っております。今年度は救急車で来院数が減っていますが、紹介状を持たない初診患者さんの数も減少しています。そのため、先ほどの算出式にあてはめると紹介率と逆紹介率の値に大きな影響を及ぼしていないという結果でした。



資料 2-2 は登録紹介医施設からの紹介数の内訳を示しております。今年度 2 月までの登録紹介医数は 436 件で、内科が 346 件・歯科が 90 件です。多摩区内は 163 件で、内科が 101 件・歯科が 62 件という状況です。下段の表の右端にある合計をご覧ください。今年度の当院の紹介件数は、2 月末までで 14,347 件です。その内、多摩区の登録紹介医施設からは 7,136 件で全体の 49.7 パーセントでした。多摩区以外の登録紹介医施設からのご紹介は 1,827 件で、12.8 パーセントをしめています。法人内の紹介を含む非登録紹介医施設からは 5,384 件で 37.5 パーセントの割合でした。例年同様に多摩区の登録紹介医施設からのご紹介が半数を占めております。前回 9、10 月でやや紹介患者数の回復の兆しがあることをお伝えしましたが、11 月以降はクラスターの影響や第 3 波の影響を大きく受けて、例年と比較し減少のままでの推移となっております。

(O)

ありがとうございました。紹介状無しの方の受診が減っているとのことですが、無い場合は自己負担分が発生すると思います。現在はおいくらですか。

(O)

五千元です。

(O)

2,3 年前はおいくらですか。

(O)

2,160 円です。

(O)

この金額の変化は大きく影響していますか。

(M)

倍以上の金額になっていますので、控える方もいるかもしれません。

(O)

総合案内で対応している者のあくまでも印象ですが、別途 5 千円かかる事を説明すると「違う医療機関へかかります」とおっしゃってお帰りになる方がいるそうです。

(O)

「かかりつけに行ったら紹介状をもらってきます」という方もいるということですか。

(O)

はい。5 千円という金額はある程度のハードルになっていると思われます。

(O)

病院としては、コロナ禍の中で本当に医療が必要な方がしっかり選別されているという事なのかと思います

資料 2-2 にある非登録紹介医施設からの紹介件数ですが、一度紹介してくれた先生方に「登録医になって欲しい」といったアプローチをしていますか。

(K)

一度ご紹介いただいた医療機関にはアプローチさせていただきますが、あくまでも医師会との契約というかたちになるので、川崎北部 4 区・東京都の狛江市・稲城市・世田谷区の医師会会員に限らせていただいております。医師会に入会されていない先生とは登録医の協定を結んでおりません。

(O)

ありがとうございました。その他何かございますでしょうか。無ければ議題を先に進めさせていただきます。

#### (4) 高額医療機器の共同利用 (資料 3)

(O)

本年 2 月までの累計ですが、残念ながら全医療機器のご利用件数は昨年度よりも大きく下回っております。共同利用につきましても、今年度初めに低かったものが 9、10 月で回復傾向にありましたが、11 月のクラスターを契機にそれ以降のパンデミックの影響と、当院も内視鏡の件数を絞らせていただくなどしたことが大きく落ち込んだ要因となっております。まだ回復せずそのまま推移し伸び悩んでいる状況です。

(O)

ありがとうございました。特に内視鏡に関してはコロナの影響でストップしたり、抑制がかかったといった影響があるかと思います。他に何かこの点についてご追加やお気付きの点はございますでしょうか。無ければ先に進めさせていただきます。

#### (5) 地域医療従事者向け研修会 (資料 4)

(O)

今年度は全てが Web 開催および動画配信としております。新たな取り組みとして、登録紹介医の方々に向けて各診療科から動画を用いた情報提供をしております。現在までに脳神経外科・血液内科・整形外科・循環器内科・消化器一般外科・総合診療内科・産婦人科・消化器内科を配信しております。今後も新たな診療科で同様の取り組みをしてまいります。ご案内については、毎月医療相談センターから外来担当医表等々と共に動画の QR コードをお送りしております。

資料に出ておらず医療従事者向けではありませんが、市民向けの公開講座についてせつかくの機会ですのでお話しさせていただきます。今年度は市民向けの講座も開催

できませんでしたので、こちらについてもY o u T u b eの川崎チャンネルで腎臓病や糖尿病、糖尿病の栄養管理といった10分程度の動画を配信しております。

(O)

今は集会や研修会が自粛・中止となる中、定期的に動画配信が行われているということです。ただ今の件について何かご注文等がありますか。

(K)

市民向けの公開講座がY o u T u b eで2、3件配信していただいているとのことだと思います。これらの視聴数はどれくらいでしょうか。もし少ないようであれば、皆さんに「ぜひみてください」とお願いするのですが。

(O)

少し前ですが、腎臓病については500~600件の閲覧数があったと思います。糖尿病と糖尿病の栄養管理については100程度であったと記憶しております。行政機関にチラシを設置していただいたり、タウン誌にQRコードを掲載し宣伝しておりますが、ぜひもっと多くの方にご覧いただきたいと思います。

(O)

ありがとうございます。チラシなど、各医療機関に配るのも一つの方法かなと思います。他に何かございますか。

(K)

5月くらいからコロナワクチンの接種が始まると思いますが、多摩区は多摩区民館と各医療機関で行うということで調整中です。万一アナフィラキシーが出た場合、ボスミンを打ち酸素投与をした後、多摩区の場合は多摩病院にダイレクトに紹介して診ていただくことをお願いできるでしょうか。

(N)

調整いたします。やっている時間帯は決まっていますので、その時間帯は必ず受けるというかたちにしたいと思います。

(K)

それほど多くは無いと思いますので。

(O)

今、川崎市は集団接種場・個別接種・施設接種・巡回などいくつかの案を練っているとところです。個別接種に十分な数が確保できないと、とてもではないですが一定期間で進んでいかないということで、集団接種場へ医師が出向くことももちろんですが、なるべく多くの先生方に個別接種に協力して欲しいです。今、マスコミなどでも騒がれているアナフィラキシーという言葉をとにかく皆非常に警戒しております。エビペ

ンを打てば基本的に落ち着くとか、救急隊にお願いしなくてはならないこともあろうかと思います。それ以前に自律神経性の単純なめまいや急なふらつきまでもがアナフィラキシーと捉えられ、報道されていることに皆が過度に警戒しているところがあります。その辺の問題も含め我々としてはアナウンスしていきたいと思います。いずれにしても急にゼーゼーヒューヒューしだした場合は救急車をお呼びすることになると思います。本日は救急隊の方もいらしていますので、その節はご理解いただきたいと思います。一般的に開業医が救急隊を呼ぶと、登り搬送の受け皿と「連絡取れていますよね」とよく言われるのですが、ショックに近い状態ですと開業医もそこから手が離せず、電話をするというのはなかなか難しいです。

(T)

救急隊が現着してから病院を探すのに時間がかかります。連絡しておいていただけると、病院到着までに時間がかからないというのがあります。手が離せないときは仕方がないと思いますので、そのような状況であることを言っていただければこちらで対応します。

(O)

多摩病院が三次救急ではないので、アナフィラキシーという言葉を使ってしまうと受けてくれないのではないかと危惧するのですが。

(N)

今までの事例をみているとエピペンを打てば回復し、ステロイドが切れてくるとまた同じような発作を起こす人がいるということなので、当院にご連絡いただき入院して経過観察するのが一番かと思います。

(O)

「循環器系でショックを起こしています」と言うよりは、「ワクチンを打った後のことで、今ボスミンを打ったのだが」と言えばご理解いただけると。そこまで説明をした方が良いでしょうね。

(O)

食事性や薬物のアナフィラキシーショックは当院でも初期治療をし、遅発性のアレルギーも含めた経過観察をおこなっております。

(O)

ありがとうございます。ただ今の件についてはよろしいでしょうか。次の議題に進めさせていただきます。

(6) その他

(N)

4月1日付で新たに執行部に入る者が数名おります。S看護部長が本日で退任し、I副看護部長が看護部長に上がります。K事務部長が本日で定年退職し、A参与が事務部長になります。一言ずつご挨拶させていただきます。

(I)

4月から看護部長に就任させていただきます。私は多摩病院が開院したときから医療相談センターで地域連携に携わってまいりました。これからも多摩病院が地域に貢献できるよう尽力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(A)

4月1日から事務部の部長を拝命いたします。よろしくお願いいたします。当院での経験は浅いのですが、このような場に参加させていただいて色々なご意見を頂戴し、より良い病院にしていければと思います。

(O)

ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。何かご追加ありますでしょうか。

(Y)

地域包括ケア病棟に関して周りの期待がとても高まっております。コロナの関係で少し遅くなっているのかもしれませんが、ぜひ次年度に向けて進めていただきたいと思っております。

YouTube配信をやっていたらと伺いましたが、認識できておりませんでした。患者さん方は、よく知っている先生の動画配信をありがたがるというのがあり、患者さん方に広げられたらと思っておりますので、ぜひそちらの情報提供もよろしくお願いいたします。

(O)

ありがとうございました。何かご追加ありますでしょうか。

(T)

多摩病院には日頃たいへんお世話になっております。多摩区では緊急事態宣言解除後、徐々にコロナの患者さんが増えております。変異株ですが、これは神奈川県が管理するので川崎市の患者数は出ないのですが、ちらほらと出ているようです。現時点の国の考えでは変異株の方は基本的に入院という話があります。患者さんが増えつつある中、どうなるのか不安ではありますが、今後とも引き続き多摩病院のご協力を得ながら地域の公衆衛生の向上に努めて生きてきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

(○)

ありがとうございました。何かその他ご質問はありませんか。  
それでは特に無いようですので、事務局から何かありますでしょうか。

### 3) 閉会

(事務局より)

本日の議事録は委員長の確認後、各委員に配布させていただく。  
また、次回開催日時を令和3年6月2日(水)13時30分からとし、14時30分、  
○の閉会の辞をもって終了とした。

(様式例第 19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	患者相談窓口、相談室、病棟面談室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	・医療福祉相談部門(ソーシャルワーカー) 宮川 恵子、川上 加奈、田中 晴香、小林 千佳、 安重 泉、阿部 真理恵 ・看護相談部門(看護師) 桐生 久美子、郡 さゆり、石岡 昭代、 八巻 陽子、川名 志乃、江間 真理子、 本谷 由貴、田中 秀典、三原 香奈子
患者相談件数	18,615 件
患者相談の概要	
<p>◎心理的・社会的問題の調整援助</p> <p>◎退院援助</p> <p>◎社会復帰援助</p> <p>◎受診・受療援助</p> <p>◎経済的問題援助</p> <p>◎社会制度活用援助</p> <p>◎人権擁護</p> <p>◎その他</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 財団法人 日本医療機能評価機構、平成 31 年 2 月受審 認定期間：令和元年 6 月 5 日～令和 6 年 6 月 4 日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ホームページ(医療機関向けお知らせや催し物案内、患者向け受診案内等) 診療のご案内(年 1 回更新) 外来担当医表(毎月地域医療機関へ送付) 地域医療連携室より(毎月検査の予約状況の案内を地域医療機関へ送付) 各診療科より(毎月各診療科からのお知らせを地域医療機関へ送付)	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 医療相談センター看護相談(在宅医療相談) 医療相談センター医療福祉相談 ソーシャルワーク係(転院、入所相談)	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 「脳卒中」	